

業績目録

診療センター

救命救急センター

(論文)

1. 小山敬、龍知歩、吉富有哉、甘利香織、松本康、岩村高志. ジスルフィラム-アルコール反応に合併し虚血性心筋障害を呈した一例. 九州救急医学雑誌. 2023; 22(1): 25-28.

(学会発表)

1. 藤田尚宏、甘利香織、松本康、岩村高志. シミュレーション教育を取り入れた研修医勉強会の現状と課題 PoCUSの有用性. 第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会. 2022.5.27. 大阪
2. 小山敬、龍知歩、吉富有哉、甘利香織、松本康、岩村高志. 意識障害で低血糖が判明、その後の頭部CTやMRIは妥当かについての検討. 第26回日本救急医学会九州地方会. 2022.6.25. 熊本
3. 今村裕輔、山口竜矢、原口良介、松本康、岩村高志. 佐賀県内で初となる病院救命士の運用について. 第44回佐賀救急医学会. 2022.10.1. 佐賀
4. 藤田尚宏、甘利香織、吉富有哉、松本康、小山敬、岩村高志. 研修医向け勉強会におけるシミュレーション教育手法の現状と課題. 第50回日本救急医学会総会・学術集会. 2022.10.19-21. 東京
5. 龍知歩、吉富有哉、岩村高志、佐々木彰、甘利香織、松本康、小山敬、塚本伸章. 集学的治療を行い救命し得た背部の広汎な壊死性筋膜炎の一例. 第50回日本救急医学会総会・学術集会. 2022.10.19-21. 東京
6. 藤田尚宏、甘利香織、小山敬、伊東正広. 心肺蘇生ガイドライン2020講習会におけるCCF競技をhigh quality CPRの面から再考する. 日本蘇生学会第41回大会. 2022.11.4. 熊本
7. 池田奈胡、甘利香織. 症例検討から学ぶ診断推論戦略「手足のふるえ」で紹介搬送となった73歳女性 診断エラーでふりかえる. 日本プライマリ・ケア連合学会佐賀県支部 第7回学術集会. 2022.12.10. 佐賀
8. 岩村高志、松本康、吉富有哉、甘利香織、小山敬、三溝慎次、古賀美佳、福岡麻美、原野由美. 家族3人が発症した重症日本紅斑熱の1救命例. 第50回日本集中治療医学会学術集会. 2023.3.3. 京都
9. 小山敬、末安正洋、竹尾章. 災害拠点病院における災害対策部門の新設、運用について. 第28回日本災害医学会総会. 2023.3.10. 岩手

(研究会・講演会)

1. 岩村高志. 検視実務専科教養 内因性急死. 佐賀県警察学校. 2022.6.21. 佐賀
2. 岩村高志. 病院前救護. 2022年度 佐賀大学医学部授業unit11. 2022.10.13. 佐賀
3. 岩村高志. 当館における病院救急救命士の活躍. 令和4年度好生館医療連携講演会. 2022.10.21. 佐賀
4. 甘利香織. 「循環器サブスペシャリティを考える～私はサブスペをこう選んだ!」人生100年時代のサブスペシャリティ. 第133回日本循環器学会九州地方会 第17回ダイバーシティ講演. 2022.12.3. 久留米

脳卒中センター

脳神経外科、脳神経内科 各科に再掲

リハビリテーションセンター

(執筆)

1. 片渕宏輔. その人らしい生活を支えるためにーリハビリテーションセンターの取り組み紹介ー. 全国自治体病院協議会雑誌 第61巻(第10号): 77-80, 2022年10月

(学会発表・研究会・講演会)

1. 市丸勝昭. 「生産性の向上に向けた情報の管理・運用の取り組み紹介」職場における働き方改革～急性期の現場から～. 佐賀県理学療法士会主催ネットワーク研修会. 2022.5.29. オンライン開催
2. 押切洋子. リンパ浮腫のセルフケアと運動について. リレーフォーライフジャパン啓発講座. 2022.9.17. 佐賀
3. 川内春奈. 理学療法介入を行った乳がんセンチネルリンパ節生検患者の上肢機能と活動量の経過. 第5回日本がん・リンパ浮腫理学療法研究会学術大会. 2022.10.30. 北九州
4. 片渕宏輔. 医療DXの活用とリハビリテーションセンター部門の生産性向上. 第60回全国自治体病院学会. 2022.11.10. 那覇
5. 川内春奈. がん患者に対する理学療法士の関わり. 佐賀県医療センター好生館化学療法室企画 第4回勉強会. 2022.11.18. 佐賀
6. 納富里美. 入院による短期集中型包括的心臓リハビリテーションプログラムの構築とその取

- り組み、九州理学療法士学会2022 in福岡。
2022.11.27. 北九州
7. 片渕宏輔、がんリハビリテーションの問題点の
解決(グループワーク)。第10回佐賀がんリハビリ
テーション研修会。2022.11.27. 佐賀
8. 納富里美、片渕宏輔、Let's ロコモ&フレイル予
防。ゆめさが大学 ロコモ予防講義。2022.11.30。
佐賀
9. 片渕宏輔、教育原論・人間関係論。臨床実習指
導者講習会。2022.12.3. オンライン開催
10. 納富里美、理学療法士ってどんな仕事？。白石
高校職業講話。2022.12.3. 白石町
11. 納富里美、片渕宏輔、Let's ロコモ&フレイル予
防。ゆめさが大学 ロコモ予防講義。2022.12.14。
佐賀
12. 納富里美、片渕宏輔、Let's ロコモ&フレイル予
防。ゆめさが大学 ロコモ予防講義。2023.1.19。
唐津
13. 川内春奈、乳癌センチネルリンパ節生検患者に
対する当館リハビリテーションセンターの取り
組み。第20回日本乳癌学会九州地方会。2023.3.5。
佐賀
14. 片渕宏輔、今日までそして明日からー「その人
らしさ」を支えるためにー。第31回好生館医学会
総会。2023.3.11. 佐賀
15. 片渕宏輔、リハビリ部門における生産性向上
と医療DXの活用。第31回好生館医学会総会。
2023.3.11. 佐賀
16. 片渕宏輔、リハビリ部門における働き方改革と
医療DX活用による生産性向上。第77回佐賀リハ
ビリテーション研究会。2023.3.11. 佐賀

緩和ケアセンター

緩和ケア科に再掲

ブレストセンター

乳腺外科に再掲

中央診療部門

集中治療部 (ICU)

(論文・執筆)

1. 三溝慎次、里学、古賀美佳、牛草淳、川崎裕満。開心術後の低心拍出量症候群に対して心尖部ベント併用のVA ECMOを施行し救命できた1例。臨床麻酔。47:99-502, 2023

(学会発表)

1. 三溝慎次、古賀美佳、淵之上詠士、有馬浩士、里学。開心術後の低心拍出量症候群に対して心尖部ベント併用のVA ECMOを施行し救命できた1例。日本集中治療医学会第6回九州支部学術集会。2022.7.23-24。鹿児島
2. 松尾玲沙、古賀美佳、原野由美、藤田尚宏、三溝慎次。食道癌術前化学療法中に生じた重症低ナトリウム血症の一例。第50回日本集中治療医学会学術集会。2023.3.4。京都

検査部

(論文)

1. 山口健太、佐野由佳理、田口舜、香月万葉、平野敬之、安波道郎、福岡麻美、草場耕二。*Staphylococcus condimentii* と *Staphylococcus piscifermentans* との鑑別に苦慮したカテーテル関連血流感染の1例。日本臨床微生物学会雑誌。2022。Vol.32(3):20-25
2. 香月万葉、山口健太、田口舜、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美。*Corynebacterium riegeli* による閉塞性尿路感染症により高アンモニウム血症、意識障害をきたした1例。日本臨床微生物学会雑誌。2022。Vol.32(4):53-57

(発表)

1. 佐野由佳理、矢野智彦、田口舜、香月万葉、山口健太、平野敬之。ESBL産生 *Edwardsiella tarda* による菌血症の1症例。第71回日本医学検査学会。2022.5.21-22。大阪府(オンライン開催)
2. 田口舜、山口健太、矢野智彦、香月万葉、佐野由佳理、平野敬之。継続する菌血症患者より分離された *Dysgonomonas* sp. の1症例。第71回日本医学検査学会。2022.5.21-22。大阪府(オンライン開催)
3. 山口健太、佐野由佳理、矢野智彦、田口舜、

香月万葉、平野敬之、安波道郎。*Haemophilus parainfluenzae* による急性腎盂腎炎から菌血症に至った1症例。第71回日本医学検査学会。2022.5.21-22。大阪府(オンライン開催)

4. 香月万葉、山口健太、矢野智彦、田口舜、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美。当館における「rapidBACpro II」を用いた、血液培養陽性検体の迅速同定検査の検討。第33回臨床微生物迅速診断研究会総会。2022.7.2。愛媛県
5. 泉朱里、松原みなみ、桜田菜奈、宮崎勢子、築地秀典、平野敬之、安波道郎。EDTA依存性偽性血小板減少症に対するカナマイシン採血管の性能評価。第25回佐賀県医学検査学会。2022.7.10。佐賀県(オンライン開催)
6. 山口健太、佐野由佳理、矢野智彦、田口舜、香月万葉、平野敬之、安波道郎。当館におけるアフターコロナにむけた遺伝子検査の現状と課題。2022年度日臨技九州支部医学検査学会(第56回)シンポジウム13。2022.11.5-6。久留米市
7. 新開幸夫。用手法から機械化の時代変化へ。次世代に伝えたいこと。2022年度日臨技九州支部医学検査学会(第56回)総合管理部門シンポジウム。2022.11.5-6。久留米市
8. 矢野智彦、佐野由佳理、田口舜、香月万葉、山口文美、菱岡純子、稗田文代、福岡麻美、佐藤清治。遺伝子検査を用いた新型コロナウイルス入院時スクリーニング検査の現状。第60回全国自治体病院学会。2022.11.10-11。那覇市
9. 佐野由佳理、矢野智彦、田口舜、香月万葉、山口健太、福岡麻美。血液培養陽性菌の薬剤感受性検査における各種判定基準での妥当性評価と臨床治療効果の関連性。第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会。2023.2.3-5。横浜市
10. 田口舜、山口健太、泉朱里、矢野智彦、香月万葉、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美。*Rothia dentocariosa* による人工弁感染性心内膜炎・多発脳膿瘍の一症例。第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会。2023.2.3-5。横浜市
11. 山口健太、佐野由佳理、矢野智彦、田口舜、香月万葉、平野敬之、安波道郎、福岡麻美。血液培養自動分析装置バクテアラートVIRTUO導入前後における嫌気性菌検出状況の比較検討。第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会。2023.2.3-5。横浜市

(講演)

1. 中村朱。「好生館検査部の現在とこれから ～

- 今、どう変わる?〜」。第25回佐賀県医学検査学会。2022.7.10. 佐賀市(オンライン開催)
- 田口舜. 統計学の基礎(第4回). 佐賀県臨床検査技師会情報システム部門研修会. 2022.7.15. 佐賀市(オンライン開催)
 - 坂井真一. 細胞診セルフチェック. 佐賀県臨床検査技師会病理・細胞部門研修会. 2022.10.11. 佐賀市(オンライン開催)
 - 吉田剛士. 認定輸血検査技師への挑戦. 佐賀県臨床検査技師会輸血部門研修会. 2022.10.16. 佐賀市(オンライン開催)
 - 田口舜. 臨床医・検査技師とのコミュニケーション. 感染症対策・未来創造ミーティング. 2022.11.12. 東京都(オンライン開催)
 - 田口舜. 統計学の基礎(第5回). 佐賀県臨床検査技師会情報システム部門研修会. 2022.12.8. 佐賀市(オンライン開催)

病理部

(論文)

- Kimura N, Hiraki M, Sato H, Koga H, Mori D, Tanaka T, Kitahara K. Intussusception of the cecum due to the acute appendicitis: A case report. 2022, 100, Int J Surg Case Rep.

(発表)

- 増田正憲. Ocular surface squamous neoplasia (OSSN) の1例. 第390回九州・沖縄スライドコンファレンス. 2022.11.12. オンライン開催
- 坂井真一. 細胞診セルフチェック. 細胞診研修会. 2022.10.11. オンライン開催

放射線部 (技師部門)

(論文)

- 津田規吏、三井宏太. 逐次近似再構成CT画像の不均一領域におけるノイズ特性と改造特性の評価. 日本放射線技術学会雑誌. 78 (8):809-818, 2022.6
- 三井宏太、相部仁. 実践編1 頭部CTアンジオグラフィの最適な造影. CTにおける造影シミュレーション pCOPの基礎と臨床応用 (医療科学社書籍). 39-62, 2022.6

(学会・研究会発表)

- 濱田洋. 感染症対策. 佐賀県放射線技師会フレッ

- シャーズセミナー. 2022.4.24. 佐賀
- 三井宏太、坂井智和、宮崎貴博、内山貴博、久野敬矢、織田信一郎. dual energy CTを用いた頭部仮想単純画像における基準物質の検討. 令和4年度佐賀県放射線技師学術大会. 2022.6.19. 佐賀
 - 久野敬矢、三井宏太、坂井智和、織田信一郎. FFRangioとFFRwireの相関性についての検討. 令和4年度佐賀県放射線技師学術大会. 2022.6.19. 佐賀
 - 坂井智和、三井宏太、宮崎貴博、内山貴博、江口寛晃、織田信一郎. 被ばく線量管理システムを用いたCT撮影における適性線量の評価. 令和4年度佐賀県放射線技師学術大会. 2022.6.19. 佐賀
 - 内山貴博、江口寛晃、坂井智和、三井宏太. CT装置の違いがCT値-相対電子密度変換テーブルに与える影響. 令和4年度佐賀県放射線技師学術大会. 2022.6.19. 佐賀
 - 江口寛晃、内山貴博、坂井智和、三井宏太. ファントムサイズの違いがCT値-相対電子密度変換テーブルに与える影響. 令和4年度佐賀県放射線技師学術大会. 2022.6.19. 佐賀
 - 富永絢盟、三井宏太、内山貴博、坂井智和、久野敬矢、織田信一郎. single energy CTを用いた新鮮圧迫骨折における投影法の検討. 令和4年度佐賀県放射線技師学術大会. 2022.6.19. 佐賀
 - 三井宏太. 臨床で活かす頭部CTA技術 ~疾患を理解して応用する~. 第14回東京CTテクノロジー学術集会. 2022.7.2. オンライン開催
 - 山口裕士. 3D作成のコツとポイント-脳血管領域-. 第11回佐賀CT技術研究会. 2022.8.24. オンライン開催
 - 三井宏太. 信じるか信じないかはあなた次第 -おさえたいおきたい脊椎/脊髄疾患-. 第2回佐賀MR研究会. 2022.8.30. オンライン開催
 - 原健一郎. FACTが有用であった外傷性大動脈解離の一例. 第44回佐賀救急医学会. 2022.10.1. 佐賀
 - 三井宏太. 大動脈ステントグラフト内挿術後のエンドリーク評価. CCT2022. 2022.10.29. 兵庫
 - 三井宏太、坂井智和、津田規吏、久野敬矢、織田信一郎. 撮影部位の違いが被験者間のCT撮影線量算出に与える影響. 第60回全国自治体病院学会. 2022.11.11. 沖縄
 - 織田信一郎、内山貴博、津田規吏、久野敬矢、三井宏太. 紫外線照射除菌ロボットの導入とCT室における使用経験. 第60回全国自治体病院学会.

2022.11.11. 沖縄

15. 久野敬矢、三井宏太、織田信一郎、坂井智和. FFRangioの解析条件を変更した場合Wire-FFRとの相関について. 第60回全国自治体病院学会. 2022.11.11. 沖縄
16. 内山貴博、江口寛晃、坂井智和、三井宏太、鳥羽隆史. 放射線治療計画CTにおけるCT装置の違いが処方線量に与える影響. 第60回全国自治体病院学会. 2022.11.11. 沖縄
17. 江口寛晃、内山貴博、坂井智和、三井宏太、鳥羽隆史. 放射線治療計画CTにおける被写体厚の違いが処方線量に与える影響. 第60回全国自治体病院学会. 2022.11.11. 沖縄
18. 三井宏太、津田規吏、内山貴博、久野敬矢、織田信一郎. 頭部CT-angiographyにおける造影シミュレータを用いた造影剤投与量に関する検討. 第17回九州放射線医療技術学術大会. 2022.11.18. 福岡
19. 津田規吏、三井宏太. 不均一構造におけるモデルベース逐次近似再構成法CT画像の画質特性. 第17回九州放射線医療技術学術大会. 2022.11.18. 福岡
20. 内山貴博、江口寛晃、坂井智和、三井宏太、鳥羽隆史. 頭部領域の放射線治療計画におけるCT装置の違いが処方線量に与える影響. 第17回九州放射線医療技術学術大会. 2022.11.18. 福岡
21. 江口寛晃、内山貴博、坂井智和、三井宏太、鳥羽隆史. 頭部領域の放射線治療計画における被写体厚の違いが処方線量に与える影響. 第17回九州放射線医療技術学術大会. 2022.11.18. 福岡
22. 富永絢盟、三井宏太、坂井智和、久野敬矢、織田信一郎、内山貴博. single energy CTを用いた新鮮圧迫骨折における投影法の検討. 第17回九州放射線医療技術学術大会. 2022.11.18. 福岡
23. 三井宏太、安座間真也. 急性期脳梗塞. 画論 the best image 2022. 2022.12.4. オンライン開催
24. 三井宏太. 食わず嫌いをなくしたいー頭部CT-perfusionのお悩み相談ー. 第26回福岡CTコア研究会. 2022.12.6. オンライン開催
25. 三井宏太. 頭部領域. TBT生誕15周年記念講演. 2023.1.14. 東京
26. 小西健太. 汎用型治療機のQA/QC. 第8回佐賀県放射線治療研究会. 2023.2.11. 佐賀
27. 大坪小夏. AiCEの特徴と臨床応用. 第12回佐賀CT技術研究会. 2023.2.15. 佐賀

栄養管理部

(学会・研究会発表)

1. 牛島圭太、小根森智子、北原真由子、古瀬淳子、仲真美恵、北島茜、原野由美、吉村達、山内健、佐藤清治. NST介入患者における血清亜鉛値の検討. 第37回日本臨床栄養代謝学会学術集会. 2022.6.1. 神戸市
2. 小根森智子. 委託から直営へー柔軟性を求めてー. 日本健康・栄養システム学会第19回九州地方会. 2022.11.23. 熊本市
3. 牛島圭太、小根森智子、北原真由子、古瀬淳子、仲真美恵、北島茜、原野由美、吉村達、山内健、佐藤清治. NST介入患者における血清亜鉛値の検討. 第47回九州代謝・栄養研究会. 2023.3.4. 熊本市
4. 牛島圭太、小根森智子、北原真由子、古瀬淳子、仲真美恵、北島茜、原野由美、吉村達、山内健、佐藤清治. NST介入患者における血清亜鉛値の検討. 第13回静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会. 2023.3.11. 佐賀市

(講演等)

1. 中島美保子. 糖尿病透析予防指導における管理栄養士の関わり. これからの糖尿病病診連携を考える会. 2022.7.13. 佐賀市(オンライン開催)
2. 小根森智子. がんと食事を考える. 佐賀県がん総合支援センターさんでーサロン. 2022.9.25. 佐賀市
3. 小根森智子. がんの治療には食べること・栄養が大事です!. なごみの会. 2022.12.26. 館内
4. 小根森智子. がんの予防と食事. 令和4年度がんに県民公開講座. 2023.1.14-20. ケーブルテレビ

ME センター

(学会・研修会発表等)

1. 馬場英明. 新しい医療機器管理システム導入による保守点検の充実と安全性の向上. 日本医療マネジメント学会第20回九州・山口連合大会. 2022.11.4. 鹿児島
2. 古庄由佳. 当院の透析における災害対策について. 第15回佐賀県臨床工学会. 2023.2.18. オンライン開催
3. 平野徳章. インペラの効果と運用規定. 第15回佐賀県臨床工学会. 2023.2.18. オンライン開催
4. 古我賢悟. V-V ECMO導入を検討されるも腹

臥位療法で回避に至った1例. 第15回佐賀県臨床工学会. 2023.2.18. オンライン開催

5. 永渕夢茉. 当館におけるMEの業務内容と入職後1年間を振り返って. 第15回佐賀県臨床工学会. 2023.2.18. オンライン開催

診療科

総合内科

(論文)

1. Harano Y, Mitamura Y, Jiang P, Fujita T, Babazono A. Risk heterogeneity of bullous pemphigoid among dipeptidyl peptidase-4 inhibitors: A population-based cohort study using Japanese Latter-Stage Elderly Healthcare Database. *J Diabetes Investig*. doi: 10.1111/jdi.14004. 2023.3.10.

呼吸器内科

(論文)

1. Kawamura K, Matsushima H, Sakai H, Iwashima A, Nakamura S, Kojima T, Sasaki S, Shigenaga T, Natsume I, Sasaki T, Ohsaki Y, Iwanaga K, Nishi K, Mitsuishi Y, Taniguchi H, Sato K, Yamauchi M, Nakajima M, Takahashi K. A Randomized Phase 2 Study of 5-Aminolevulinic Acid Hydrochloride and Sodium Ferrous Citrate for the Prevention of Nephrotoxicity Induced by Cisplatin-Based Chemotherapy of Lung Cancer. *Oncology*. 2022;100(11):620-632.
2. Hara M, Furue T, Fukuoka M, Iwanaga K, Mitsuishi E, Miike T, Sakamoto Y, Mukai N, Kinugasa Y, Shigyo M, Sonoda N, Tanaka M, Arase Y, Tanaka Y, Nakashima H, Irie S, Hirota Y. Real-World Effectiveness of the mRNA COVID-19 Vaccines in Japan: A Case-Control Study. *Vaccines(Basel)*. 2022 May 14;10(5):779.
3. Nakamura T, Sato A, Nakashima C, Abe T, Iwanaga K, Umeguchi H, Kawaguchi A, Sueoka-Aragane N. Absence of copy number gain of EGFR: A possible predictive marker of long-term response to afatinib. *Cancer Sci*. 2023 Mar;114(3):1045-1055.

(学会発表)

1. 岩永健太郎、原口哲郎、梅口仁美、加藤剛、久保田未央、福岡麻美. 症状悪化のため宿泊療養施設より移送されたCOVID-19患者の臨床像. 第62回日本呼吸器学会学術講演会. 2022.4.22-24. 京都市
2. 貞松宏典、大野修平、梅口仁美、久保田未央、岩永健太郎. 当館においてオンコマインDx Target

Test マルチCDxシステムでMET ex14 skipping が検出された症例の検討. 第89回日本呼吸器学会九州支部秋季学術講演会. 2022.10.14-15. オンライン開催

3. 岩永健太郎、村田大樹、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央、増田正憲、森大輔. 当科における進行非扁平上皮非小細胞肺癌を対象にした遺伝子パネル検査の実施率と解析成功率の検討. 第63回日本肺癌学会九州支部学術集会. 2023.2.10-11. 長崎市
4. 岩永健太郎、村田大樹、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央. 当科に入院した高齢コロナ患者の臨床的特徴. 第90回日本呼吸器学会九州支部春季学術講演会. 2023.3.11. 熊本市

消化器内科

(論文)

1. 遠藤広貴、水口昌伸、鶴岡ななえ、白石良介、下田悠一郎、緒方伸一、江崎幹宏. 佐賀県における年代別胃がん対策の現状. *日本消化器がん検診学会誌* vol.60(4).jul.2022
2. Shiratori Y, Ishii N, Aoki T, Kobayashi K, Yamauchi A, Yamada A, Omori J, Aoyama T, Tominaga N, Sato Y, Kishino T, Sawada T, Murata M, Takao A, Mizukami K, Kinjo K, Fujimori S, Uotani T, Fujita M, Sato H, Suzuki S, Narasaka T, Hayasaka J, Funabiki T, Kinjo Y, Mizuki A, Kiyotoki S, Mikami T, Gushima R, Fujii H, Fuyuno Y, Gunji N, Toya Y, Narimatsu K, Manabe N, Nagaike K, Kinjo T, Sumida Y, Funakoshi S, Kobayashi K, Matsushashi T, Komaki Y, Miki K, Watanabe K, Yamamoto K, Yoshimoto T, Takasu A, Ikeya T, Omata F, Fukuda K, Kaise M, Nagata N. Timing of colonoscopy in acute lower GI bleeding: a multicenter retrospective cohort study. *Gastrointest Endosc*. 2023 Jan;97(1):89-99. e10. doi: 10.1016/j.gie.2022.07.025. Epub 2022 Aug 2.
3. Esaki M, Ihara Y, Tominaga N, Takedomi H, Tsuruoka N, Akutagawa T, Yukimoto T, Kawasaki K, Umeno J, Torisu T, Sakata Y. Predictive factors of the clinical efficacy of ustekinumab in patients with refractory Crohn's disease: tertiary centers experience in Japan. *International Journal of Colorectal Disease*(2023) 38:57 doi.org/10.1007/s00384-023-04359-z

(学会発表)

1. 宮原貢一、大谷響、富永直之、森田秀祐、藤邑勇太郎、萩野祐也、井上須磨、江口紘平、樋高秀憲、緒方伸一、野田隆博. 胃黄色腫領域に発生した早期胃癌の3例. 第103回日本消化器内視鏡学会. 2022.5.15. 京都
2. 中西朗、富永直之、貞島栄司、緒方伸一. 当院における非静脈瘤性上部消化管出血の入院後30日以内死亡に関する検討. 第119回日本消化器病学会九州支部例会・第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 シンポジウム3. 2022.6.24-25. 佐賀
3. 松永拓也、富永直之、平野里佳、中西朗、緒方伸一. 大腸ESDにおけるS-O clipやMulti Loop Traction Deviceを用いたトラクション法の有用性についての検討. 第119回日本消化器病学会九州支部例会・第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 ワークショップ3. 2022.6.24-25. 佐賀
4. 樋高秀憲、江口紘平、萩野祐也、藤邑勇太郎、井上須磨、窪津祥仁、宮原貢一、野田隆博. 上部消化管出血に対する内視鏡的止血後にセカンド・ルックを行う必要性に関する検討. 第119回日本消化器病学会九州支部例会・第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2022.6.24-25. 佐賀
5. 平野里香、富永直之、中西朗、松永拓也、梅口仁美、森大輔、緒方伸一. 内視鏡所見が病理診断に寄与した肺腺癌十二指腸転移の1例. 第119回日本消化器病学会九州支部例会・第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2022.6.24-25. 佐賀
6. 芥川加代、中山賢一郎、渡邊聡、萩原淳、松尾達也、後藤祐大. 十二指腸傍乳頭憩室で形成されたと考えられた真性腸石によるイレウスの1例. 第119回日本消化器病学会九州支部例会・第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2022.6.24-25. 佐賀
7. 中山賢一郎、芥川加代、渡邊聡、後藤祐大. 刺激性下剤の長期内服により巨大結腸を呈した慢性便秘症に対して、内科的治療が有効であった症例. 第119回日本消化器病学会九州支部例会・第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2022.6.24-25. 佐賀
8. 古賀ハルミ、山口直美、池末峰子、犬走香織、淵野美紘、富永直之、緒方伸一. 内視鏡室で行う鎮静下胃ESD ～プロポフォール使用に伴う安全対策～. 第81回九州消化器内視鏡技師学会. 2022.6.25. 佐賀
9. 鈴木翔、富永直之、青木智則. 血液型O型と大腸憩室出血の臨床転帰との関連～CODE-BLUE J Study～. 第30回JDDW ワークショップ17. 2022.10.27-30. 福岡
10. 行元崇浩、富永直之、永田尚義. 大腸憩室出血の再発を繰り返す「スーパーリピーター」の特徴. 第30回JDDW ワークショップ17. 2022.10.27-30. 福岡
11. 富永直之、梶原脩平、古賀浩木、緒方伸一. 当院におけるLECSの実際 (NEWS・D-LECSまで). 第120回日本消化器病学会九州支部例会・第114回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 シンポジウム3 上部消化管疾患の低侵襲治療. 2022.12.2-3. 熊本
12. 太田崇王、富永直之、朝長道人、中西朗、中山賢一郎、樋高秀憲、緒方伸一. プデソニド注腸フォーム剤にて長期寛解を得た難治性回腸囊炎の1例. 第120回日本消化器病学会九州支部例会・第114回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2022.12.2-3. 熊本
13. 朝長道人、富永直之、中西朗、中山賢一郎、樋高秀憲、緒方伸一. コルヒチンが奏功したMEFV遺伝子関連腸炎の1例. 第120回日本消化器病学会九州支部例会・第114回日本消化器内視鏡学会九州支部例会. 2022.12.2-3. 熊本
14. 富永直之、緒方伸一. ESD・POETにおける右側臥位Push法の有用性について. 第95回日本胃癌学会総会. 2023.2.24-25. 札幌
15. 富永直之、緒方伸一. ショックを呈する大腸憩室出血の特徴～多施設共同研究CODE-BLUE J Study～. 第59回日本腹部救急医学会総会 シンポジウム8. 2023.3.10. 宜野湾

(講演)

1. 富永直之. 消化管出血に関する最新の知見. 脳血管内治療研究会. 2022.4.22. 佐賀
2. 富永直之. P-CABに関する最新の話題. 佐賀南部消化器疾患WEBフォーラム. 2022.5.27. 嬉野
3. 富永直之. 内視鏡治療技術革新の現状と課題. 第81回九州消化器内視鏡技師学会. 2022.6.25. 佐賀
4. 富永直之. エビデンスに基づくGERDと消化管出血の治療方針. 消化器疾患Forum in SASEBO. 2022.11.18. 佐世保

5. 富永直之. 慢性便秘症と大腸がんの排便コントロール. 佐賀県消化器病態セミナー. 2023.3.7. 佐賀

血液内科

(著書)

1. 吉本五一, 宮本敏浩. Current Organ Topics : 血液・リンパ球系腫瘍 急性骨髄性白血病に対する分子標的薬 I. 抗CD33抗体薬. 癌と化学療法, 2022 May, 49(5):536-540

(論文)

1. Shohei Moriyama, Mitsuhiro Fukata, Michinari Hieda, Taku Yokoyama, Goichi Yoshimoto, Hitoshi Kusaba, Yasuhiro Nakashima, Toshihiro Miyamoto, Toru Maruyama, Koichi Akashi. Early-onset cardiac dysfunction following allogeneic haematopoietic stem cell transplantation. *Open Heart*. 2022 May;9(1):e002007.
2. Mengyu Zhang, Soichiro Tajima, Kimitaka Suetsugu, Takeshi Hirota, Yuichi Tsuchiya, Takuji Yamauchi, Goichi Yoshimoto, Toshihiro Miyamoto, Nobuaki Egashira, Koichi Akashi, Ichiro Ieiri. Development and Validation of an LC-MS/MS Method to Quantify Gilteritinib and Its Clinical Application in Patients With FLT3 Mutation-Positive Acute Myelogenous, Leukemia. *Ther Drug Monit*. 2022 Aug;1:44(4):592-596.
3. Yasuo Mori, Takuya Harada, Goichi Yoshimoto, Takahiro Shima, Akihiko Numata, Fumiaki Jinouchi, Takuji Yamauchi, Yoshikane Kikushige, Yuya Kunisaki, Koji Kato, Katsuto Takenaka, Koichi Akashi, Toshihiro Miyamoto. Risk factors for late cytomegalovirus infection after completing letermovir prophylaxis. *Int J Hematol*. 2022 Aug;116(2):258-265
4. Takeshi Sugio, Shingo Baba, Yasuo Mori, Goichi Yoshimoto, Kenjiro Kamesaki, Shuichiro Takashima, Shingo Urata, Takahiro Shima, Kohta Miyawaki, Yoshikane Kikushige, Yuya Kunisaki, Akihiko Numata, Katsuto Takenaka, Hiromi Iwasaki, Toshihiro Miyamoto, Kousei Ishigami, Koichi Akashi, Koji Kato. Prognostic value of pre-transplantation total metabolic tumor volume on 18fluoro-2-deoxy-D-glucose positron emission tomography-computed tomog-

raphy in relapsed and refractory aggressive lymphoma. *Int J Hematol*. 2022 Oct;116(4):603-611.

5. Yasuo Mori, Naoyuki Uchida, Takuya Harada, Yuta Katayama, Atsushi Wake, Hiromi Iwasaki, Tetsuya Eto, Satoshi Morishige, Tomoaki Fujisaki, Yoshikiyo Ito, Tomohiko Kamimura, Tsutomu Takahashi, Yutaka Imamura, Kazushi Tanimoto, Kenji Ishitsuka, Junichi Sugita, Noriaki Kawano, Kazuki Tanimoto, Goichi Yoshimoto, Ilseung Choi, Tomonori Hidaka, Ryosuke Ogawa, Yasushi Takamatsu, Toshihiro Miyamoto, Koichi Akashi, Koji Nagafuji. Predictors of impaired antibody response after SARS-CoV-2 mRNA vaccination in hematopoietic cell transplant recipients: A Japanese multicenter observational study. *Am J Hematol*. 2023 Jan;98(1):102-111.
6. Shiho Taniguchi, Sae Utsumi, Yu Kochi, Yuki Taya, Yasuo Mori, Yu-Ichiro Semba, Takeshi Sugio, Kohta Miyawaki, Yoshikane Kikushige, Yuya Kunisaki, Goichi Yoshimoto, Akihiko Numata, Koji Kato, Naoyuki Uchida, Takahiro Maeda, Toshihiro Miyamoto, Shuichi Taniguchi, Koichi Akashi. Successful pseudo-autologous stem cell transplantation for donor-derived Burkitt lymphoma occurring 9 years after allogeneic transplantation. *Int J Hematol*. 2023 Feb;117(2):287-292.

(学会発表)

1. 森康雄, 原田卓哉, 河野健太郎, 栗山拓郎, 小田原淳, 上野稔幸, 浦田真吾, 谷本一史, 河野徳明, 吉本五一, 加藤光次, 伊藤能清, 上村智彦, 谷本一樹, 片山雄太, 牟田毅, 小川亮介, 岩崎浩己, 藤崎智明, 衛藤徹也, 竹中克斗, 長藤宏司, 宮本敏浩, 赤司浩一. 移植後CMVモニタリング:定量PCR法とアンチゲネミア法の比較解析. 第44回日本造血・免疫細胞療法学会総会. 2022.5.13. 横浜
2. SungGi Chi, Kentaro Fukushima, Tomoaki Ueda, Seiichiro Katagiri, Akihiko Gotoh, Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, Shokichi Tsukamoto, Kensuke Kayamori, Yusuke Takeda, Emiko Sakaida, Daisuke Koyama, Takayuki Ikezoe, Chikashi Yoshida, Junya Kanda, Daisuke Ikeda, Takahiro Kobayashi, Takaya Yamashita, Naoto Takahashi, Goichi Yoshimoto, Suguru Fukuhara,

- Koji Izutsu, Nobuhiko Yamauchi, Junichiro Yuda, Yosuke Minami. Background of HM-SCREEN-JAPAN02: a practice-oriented rapid gene-testing study. The 84th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2022.10.14. Fukuoka.
3. Masako Yokoo, Yusuke Mitsuyama, Keisuke Kidoguchi, Tadafumi Iino, Goichi Yoshimoto. The combination therapy with gilteritinib and DLI for relapsed AML after allo-HSCT. The 84th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2022.10.14. Fukuoka.
 4. Takeshi Sugio, Naoyuki Uchida, Kohta Miyawaki, Yasuo Mori, Goichi Yoshimoto, Akihiko Numata, Ryosuke Ogawa, Tomohiko Kamimura, Yuju Ohno, Hiromi Iwasaki, Tetsuya Eto, Koji Nagafuji, Toshihiro Miyamoto, Shuichi Taniguchi, Koichi Akashi, Koji Kato. HLA-B supertype mismatch is associated with a higher rate of relapse in cord blood transplantation. The 84th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2022.10.15. Fukuoka.
 5. Takatoshi Aoki, Koji Kato, Kazuki Tanimoto, Goichi Yoshimoto, Ilseung Choi, Masanori Kadowaki, Yasuhiro Sugio, Takuro Kuriyama, Noriaki Kawano, Ritsuro Suzuki, Kohta Miyawaki, Hideho Henzan, Noriyuki Saito, Takanori Ohta, Toshihiro Miyamoto, Koichi Akashi. CHOP followed by mogamulizumab for untreated elderly patients with adult T-cell leukemia-lymphoma. The 84th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2022.10.15. Fukuoka.
 6. Tadafumi Iino, Masako Yokoo, Yusuke Mitsuyama, Keisuke Kidoguchi, Goichi Yoshimoto. Treatment outcomes of newly diagnosed acute myeloid leukemia at a single institution. The 84th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2022.10.15. Fukuoka.
 7. Daisuke Ishihara, Yuichiro Semba, Yoshikane Kikushige, Kensuke Sasaki, Goichi Yoshimoto, Koji Kato, Toshihiro Miyamoto, Takahiro Maeda, Koichi Akashi. A rare case of CMML occurred simultaneously with CAD harboring germline RUNX1 mutation. The 84th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2022.10.16. Fukuoka.
 8. Yasuo Mori, Naoyuki Uchida, Takuya Harada, Yuta Katayama, Atsushi Wake, Hiromi Iwasaki, Tetsuya Eto, Satoshi Morishige, Tomoaki Fujisaki, Yoshikiyo Ito, Tomohiko Kamimura, Tsutomu Takahashi, Yutaka Imamura, Kazushi Tanimoto, Kenji Ishitsuka, Junichi Sugita, Noriaki Kawano, Kazuki Tanimoto, Goichi Yoshimoto, Ilseung Choi, Tomonori Hidaka, Ryosuke Ogawa, Yasushi Takamatsu, Toshihiro Miyamoto, Koichi Akashi, Koji Nagafuji. Risk factors for impaired antibody response after SARSCoV-2 mRNA vaccine in HSCT recipients. The 84th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology. 2022.10.16. Fukuoka.
 9. Hironori Arai, SungGi Chi, Yoshikazu Utsu, Shinichi Masuda, Nobuyuki Aotsuka, Tomoaki Ueda, Kentaro Fukushima, Daisuke Ikeda, Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, Goichi Yoshimoto, Hiroto Horiguchi, Satoshi Iyama, Junya Kanda, Seiichiro Katagiri, Akihiko Gotoh, Daisuke Koyama, Takayuki Ikezoe, Takeshi Kondo, Yukinori Nakamura, Fumiya Ogasawara, Suguru Fukushima, Koji Izutsu, Nobuhiko Yamauchi, Junichiro Yuda, Yosuke Minami. A Practice-Oriented Genome Profiling Study with the Novel Halo-Shape Annealing and Defer-Ligation Enrichment (HANDLE) System : HM-Screen-JAPAN02. The 64th Annual Meeting and Exposition of the American Society of Hematology. 2022.12.12. New Orleans, Louisiana.
 10. 横尾眞子、大賀慎太郎、飯野忠史、吉本五一. 初回Blinatumomab投与時に重篤な神経学的事象やサイトカイン放出症候群のため中止要したが、同種移植後再発時には再投与が有効であったB-ALL. 第13回日本血液学会九州地方会. 2023.3.11. 福岡
 11. 大賀慎太郎、吉本五一、高木友輔、横尾眞子、飯野忠史. 同種移植後EBウイルス関連リンパ増殖症に対してポラツズマブ ベドチン+リツキシマブ併用療法が奏功した1例. 第13回日本血液学会九州地方会. 2023.3.11. 福岡
- (講演)**
1. 吉本五一. Bcl-2阻害剤を用いた新たなAMLの治療戦略. Kochi AML Expert Meeting. 2022.4.8. 佐賀(オンライン開催)
 2. 吉本五一. 移植非適応ALLにおけるBlinatumomabの位置付け. BLINCYTO Web Symposium. 2022.4.11. 佐賀(オンライン開催)

3. 吉本五一. Ph+ALLの治療について. 第3回 Otsuka造血細胞移植関連Webセミナーシリーズ. 2022.4.19. 佐賀(オンライン開催)
4. 吉本五一. Ph+ALLにおけるポナチニブの位置付け. Otsuka 九州・中四国Webセミナー. 2022.5.26. 佐賀(オンライン開催)
5. 吉本五一. Bcl-2阻害剤を用いた新たなAMLの治療戦略. 急性骨髄性白血病webセミナー in 三重. 2022.6.2. 佐賀(オンライン開催)
6. 吉本五一. 再発又は難治性急性リンパ性白血病の治療 ~Blinatumomabの位置付け~. 熊本血液コロキウム. 2022.6.10. 熊本
7. 吉本五一. AMLにおける新たな治療戦略. 大阪MDS/AML治療塾. 2022.6.14. 佐賀(オンライン開催)
8. 横尾眞子. 当院におけるサークリサの使用経験. MMカンファレンス in 佐賀. 2022.7.8. 佐賀
9. 吉本五一. AML治療におけるVen+AZA療法の治療最適化「実臨床における管理の実際」. AbbVie Oncology Webセミナー. 2022.7.13. 長崎
10. 吉本五一. 再発又は難治性急性リンパ性白血病の治療 ~Blinatumomabの位置付け~. BLINCYTO WEB Symposium in Okinawa. 2022.7.15. 那覇
11. 吉本五一. Bcl-2阻害剤を用いた新たなAMLの治療戦略. 桜山AML Webセミナー. 2022.7.28. 佐賀(オンライン開催)
12. 吉本五一. Bcl-2阻害剤を用いた新たなAMLの治療戦略. AbbVie Oncology Symposium in San' in vol.II. 2022.8.19. 佐賀(オンライン開催)
13. 吉本五一. Venetoclax+Azacitidineを用いた新たなAMLの治療戦略. 第4回浜松血液診療ネットワーク. 2022.9.8. 佐賀(オンライン開催)
14. 吉本五一. Bcl-2阻害剤を用いた新たなAMLの治療戦略. BCL-2阻害薬 Up to date. 2022.9.16. 岐阜
15. 吉本五一. FLT3阻害剤を用いたAMLの治療戦略. ゴスパタWEBシンポジウム. 2022.9.22. 佐賀(オンライン開催)
16. 吉本五一. 再発/難治FLT3遺伝子変異陽性AMLの治療戦略. がん診療トータルケアセミナー in 佐賀. 2022.10.4. 佐賀
17. 吉本五一. AMLに対するFLT3阻害剤を用いた新たな治療戦略. AML Symposium in 北海道. 2022.10.7. 札幌
18. 吉本五一. FLT3遺伝子変異陽性AMLの治療戦略. 第84回日本血液学会学術集会 ランチョンセミナー. 2022.10.16. 福岡
19. 吉本五一. Bcl-2阻害剤を用いた新たなAMLの治療戦略. AbbVie CLL/AML Webセミナー in 沖縄. 2022.10.28. 那覇
20. 吉本五一. FLT3阻害剤を用いたAMLの治療戦略. 血液疾患フォーラム in 三重. 2022.11.4. 佐賀(オンライン開催)
21. 吉本五一. FLT3遺伝子変異陽性AMLの治療戦略. AML Web Seminar in 甲信. 2022.11.9. 佐賀(オンライン開催)
22. 吉本五一. FLT3遺伝子変異陽性AMLの治療戦略. チームで診る造血器腫瘍のトータルケア. 2022.11.15. 佐賀(オンライン開催)
23. 吉本五一. 移植非適応ALLにおけるBlinatumomabの位置付け. ALL Web Conference. 2022.11.18. 佐賀(オンライン開催)
24. 吉本五一. FLT3遺伝子変異陽性AMLの治療戦略. AML Discussion Web Seminar. 2022.11.25. 佐賀(オンライン開催)
25. 吉本五一. ALL移植後の治療. Web Symposium for ALL ~Post-transplant treatment in leukemia~. 2022.12.3. 金沢
26. 吉本五一. 高齢者AMLにおける同種造血幹細胞移植. 第8回Otsuka造血細胞移植関連Webセミナーシリーズ. 2022.12.5. 佐賀(オンライン開催)
27. 吉本五一. Bcl-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. ベネクレクスタWEB座談会. 2022.12.13. 佐賀(オンライン開催)
28. 吉本五一. Bcl-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. Venetoclax Follow up Meeting. 2022.12.15. 佐賀(オンライン開催)
29. 吉本五一. FLT3遺伝子変異陽性AMLの治療戦略. AML Webセミナー. 2022.12.21. 佐賀(オンライン開催)
30. 吉本五一. Venetoclax+Azacitidineを用いた新たなAMLの治療戦略. 第12回埼玉骨髄系腫瘍Forum. 2023.1.20. 佐賀(オンライン開催)
31. 吉本五一. 再発又は難治性急性リンパ性白血病の治療~Blinatumomabの位置付け~. ALL Web Seminar. 2023.1.25. 佐賀(オンライン開催)
32. 吉本五一. Bcl-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. Hematology Seminar in Sapporo. 2023.2.3. 佐賀(オンライン開催)
33. 吉本五一. FLT3遺伝子変異陽性AMLの治療戦略. Hematological tumor Web Seminar. 2023.2.22. 佐賀(オンライン開催)

34. 吉本五一. FLT3阻害剤を用いたAMLの治療戦略. ゴスペタWEBシンポジウム. 2023.3.3. 佐賀(オンライン開催)
35. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. 第18回日本血液学会関東甲信越地方会. 2023.3.11. 東京
36. 吉本五一. BCL-2阻害剤を用いたAMLの治療戦略. AML Real World Evidence Seminar. 2023.3.22. 佐賀(オンライン開催)

肝臓・胆のう・膵臓内科

(論文)

1. Shimakami T, Setoyama H, Oza N, Itakura J, Kaneko S, Korenaga M, Toyama T, Tanaka J, Kanto T. Development of performance indicators for hepatitis countermeasures as a tool for the assessment and promotion of liver cancer prevention in Japan. *J Gastroenterol.* 2023 Mar;58(3):257-267. doi: 10.1007/s00535-023-01956-1. Epub 2023 Jan 16. PMID: 36645470 Free PMC article.
2. Nakazawa J, Tsuruta N, Shimokawa M, Kawahira M, Arima S, Ido A, Koga F, Ueda Y, Komori A, Otsu S, Fukahori M, Makiyama A, Taguchi H, Honda T, Shibuki T, Nio K, Ide Y, Ureshino N, Mizuta T, Otsuka T, Shirakawa T, Mitsugi K. Multicenter Retrospective Analysis of Original versus Modified FOLFIRINOX in Metastatic Pancreatic Cancer: Results of the NAPOLEON Study. *Oncology.* 2023;101(1):22-31. doi: 10.1159/000527176. Epub 2022 Oct 4. PMID: 36195058
3. Ide Y, Otsuka T, Shimokawa M, Koga F, Ueda Y, Nakazawa J, Komori A, Otsu S, Arima S, Fukahori M, Makiyama A, Shinohara Y, Ueno S, Taguchi H, Honda T, Shibuki T, Nio K, Ureshino N, Mizuta T, Mitsugi K, Shirakawa T. Conversion Surgery for Unresectable Pancreatic Cancer Treated With FOLFIRINOX or Gemcitabine Plus Nab-paclitaxel. *Anticancer Res.* 2023 Apr;43(4):1817-1826. doi: 10.21873/anticancer.16335. PMID: 36974805
4. 山利浩, 磯田広史, 江口有一郎, 島正義, 高橋宏和, 平井賢治. 佐賀県における肝疾患対策の検証. 佐賀県医師会肝臓対策医会 肝臓 (0451-4203) 63巻 Suppl.1 Page A283. 2022.4. 佐賀
5. 川添夕佳, 古賀風太, 村山賢一郎, 中下俊哉, 大座紀子. 胆嚢仮性動脈瘤による胆道出血の2例. 第119回日本消化器病学会九州支部例会・第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集 Page137. 2022.6.24-25. 佐賀
6. 宮原貢一, 秋山巧, 大座紀子, 樋高秀憲, 野田隆博. 胆膵疾患に対する治療の新たな取り組みと工夫 良性胆管狭窄に対するFully Covered Expandable Metallic Stentの有用性と安全性の検討. 第119回日本消化器病学会九州支部例会・第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集 Page105. 2022.6.24-25. 佐賀
7. 白川剛, 大塚大河, 下川元継, 澁木太郎, 中澤潤一, 古賀風太, 下川穂積, 篠原雄大, 三輪啓介, 岡部義信, 水田敏彦, 三ツ木健二. 九州から世界へのエビデンス発信 膵癌を対象とした多施設共同NAPOLEON study. 第119回日本消化器病学会九州支部例会・第113回日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集 Page71. 2022.6.24-25. 佐賀
8. 川平真知子, 白川剛, 下川元継, 大塚大河, 澁木太郎, 中澤潤一, 有馬志穂, 三輪啓介, 岡部義信, 古賀風太, 窪津祥仁, 上田裕二郎, 下川穂積, 水田敏彦, 三ツ木健二. 切除不能・再発膵癌に対する化学療法でのOSとPFSの相関に関する多施設共同研究. 第60回日本癌治療学会学術集会抄録集 Page O21-4. 2022.10.21. 神戸
9. 藤本光, 中下俊哉, 野下祥太郎, 古賀風太, 大座紀子. IgG4関連硬化性胆管炎との鑑別を要したIgG4関連自己免疫性肝炎の一例. 第120回日本消化器病学会九州支部例会・第114回日本消化器内視鏡学会九州支部例会プログラム・抄録集 Page190. 2022.12.2-3. 熊本

(メディア)

1. 大座紀子. 肝胆膵がん検診. がん県民公開講座. ぶんぶんテレビ

腫瘍内科 (臨床腫瘍科)

(著書)

1. 柏田知美. 消化器癌 1.胃癌 術後補助 1)S-1, S-1+ドセタキセル (DS). 高齢者機能評価とレジ

(学会発表)

1. 尾崎岩太, 矢野洋一, 有尾啓介, 大座紀子, 河口康典, 川添聖治, 井手康史, 柳田公彦, 佐藤正明, 川副広明, 安武努, 犬塚貞孝, 水田敏彦, 中

メンでわかるがん薬物療法. 173-176. 中外医学社. 2022

2. 柏田知美. 消化器癌 1.胃癌 術後補助 2)カペシタビン+オキサリプラチン (CAPOX). 高齢者機能評価とレジメンでわかるがん薬物療法. 177-179. 中外医学社. 2022

(学会発表)

1. 柏田知美. 胃癌薬物療法の治療戦略を考える. Kyusyu Gastric Cancer Forum. 2022.4.20. 博多(オンライン開催)
2. 柏田知美. 最新の胃癌治療をどう考えるか. 第2回 GI Cancer Conference. 2022.4.21. 博多(オンライン開催)
3. 柏田知美. 外科医が知っておきたい化学療法のエビデンス. 第6回 Nagasaki Colorectal Cancer Educational WEB Seminar. :2022.5.19. 長崎(オンライン開催)
4. Hiroo Katsuya, Akitaka Makiyama, Tomomi Kashiwada et al. VOYAGER (KSCC1902): A single-arm, multicenter, phase II study of early induction of nivolumab during second-line treatment with taxane ± ramucirumab for advanced gastric or gastro-esophageal junction cancer. American Society of Clinical Oncology: ASCO 2022. 2022.6.3-7. CHICAGO, USA(オンライン開催)
5. 柏田知美. シンポジウム4 消化器領域におけるがん免疫療法の現状と課題. 第119回日本消化器病学会九州支部例会. 2022.6.25. 佐賀(オンライン開催)
6. 柏田知美. ランチョンセミナー10 これからの胃癌薬物療法のポイント. 第119回日本消化器病学会九州支部例会. 2022.6.25. 佐賀(オンライン開催)
7. 柏田知美. 中学生を対象としたがん教育授業の実践 教材における問題点. 第46回日本遺伝カウンセリング学会学術集会. 2022.7.3. 東京
8. 柏田知美. みんなで取り組む胃癌薬物療法～マネジメントのコツを宮崎で語ろう～. MIYAZAKI Oncology Conference. 2022.7.15. 宮崎
9. 柏田知美. Urine protein/creatinine ratio is useful in determining the continuation of anti-VEGF inhibitors. 令和4年度 好生館医学会. 2022.7.21. 佐賀
10. 柏田知美. アブラキサン+ラムシルマブの魅力を活かすマネジメント. TAIHO Web Lecture on Gastric Cancer ～切除不能進行・再発胃癌における二次治療の治療戦略を再考する～. 2022.8.8. オンライン開催
11. 柏田知美. 消化器・肝胆膵 ディスカッション. 日本臨床腫瘍学会 2022年度医師のためのがん免疫療法エキスパートセミナー. 2022.9.3. オンライン開催
12. 柏田知美. 進行・再発胃がん薬物療法における Continuum of Care. 第18回日本消化管学会教育講演会 ランチョンセミナー. 2022.9.18. 熊本(オンライン開催)
13. 柏田知美. Early induction of nivolumab during second-line treatment with taxane ± ramucirumab for advanced gastric cancer (KSCC1902): A multicenter phase II trial. 第60回日本癌治療学会学術集会. 2022.10.20. 神戸
14. 柏田知美. がん患者に対する運動・栄養・薬物療法複合パス作成チャレンジ. 第22回日本クリニカルパス学会学術集会. 2022.11.12. 岐阜
15. 柏田知美. Exercise Oncology (運動腫瘍学)を学ぼう. 好生館化学療法室多職種連携勉強会 第4回勉強会【がん-運動】. 2022.11.18. 佐賀(オンライン開催)
16. 柏田知美. 知っておきたい“がん”のお話. がん教育総合支援事業. 2022.11.25. 白石町立有明中学校
17. 柏田知美. 最新のエビデンスをどの様に解釈し臨床へ応用するか. Colorectal Cancer Seminar. 2022.11.26. 博多(オンライン開催)
18. 柏田知美. 進行再発胃癌の2次・3次治療を考える. Kyusyu Gastric Cancer Forum. 2022.12.8. 博多(オンライン開催)

糖尿病代謝内科

(学会・研究会発表)

1. 井上瑛、武市幸奈、山崎有菜、高橋宏和、藤井純子、永瀨美樹、南里穂、古賀明美、小島基靖、山崎孝太、吉村達、山内寛子、美奈川仁美、江島英理、高木佑介、安西慶三. 佐賀県における糖尿病性腎症重症化予防対策の成果と課題. 第65回日本糖尿病学会年次学術集会. 2022.5.12-14. 神戸
2. 岸川まりこ、山崎孝太、茨木一夫、朝長礼音、江頭絵里奈、吉村達、今蘭直博. COVID-19退院後の過食により高中性脂肪血症による重症急性膵炎を発症した2型糖尿病症例. 第65回日本糖尿病学会年次学術集会. 2022.5.12-14. 神戸

3. 吉村達. 当館における糖尿病診療. これからの糖尿病病診連携を考える会. 2022.7.13. 佐賀
4. 中島美保子. 糖尿病透析予防指導における管理栄養士の関わり. これからの糖尿病病診連携を考える会. 2022.7.13. 佐賀
5. 宮地佑弥. 好生館で行っている糖尿病運動指導の取り組み. これからの糖尿病病診連携を考える会. 2022.7.13. 佐賀
6. 江頭望. 好生館でのフットケア外来の取り組み. これからの糖尿病病診連携を考える会. 2022.7.13. 佐賀
7. 朝長礼音、江頭絵里奈、飯野忠史、吉本五一、増田正憲、森大輔、吉村達. 血管内リンパ腫を合併した下垂体前葉機能低下症の1例. 第338回日本内科学会九州地方会. 2022.8.27. 鹿児島
8. 井野輔久、朝長礼音、國行浩平、江頭絵里奈、原野由美、吉村達. 原発性副甲状腺機能亢進症を合併したバセドウ病の1例. 第338回日本内科学会九州地方会. 2022.8.27. 鹿児島
9. 吉村達. withコロナ、with家族、そしてWith糖尿病. 第123回 市民糖尿病教室. 2022.8.27. 佐賀
10. 島内明子、朝長礼音、岸川まり子、江頭絵里奈、吉村達. 劇症1型糖尿病を発症した際にD-dimer上昇を認め鑑別に苦慮した一例. 第60回日本糖尿病学会九州地方会. 2022.10.7-8. 福岡
11. 白石理恵、朝長礼音、岸川まり子、江頭絵里奈、室雅巳、河田望美、吉村達. COVID-19中等症に対しレムデシビル投与を行い重症化に至らなかった妊娠糖尿病の1例. 第60回日本糖尿病学会九州地方会. 2022.10.7-8. 福岡
12. 岸川まり子、山崎孝太、朝長礼音、江頭絵里、吉村達. イメグリミンとデュラグルチドの併用が有効であった認知症2型糖尿病症例. 第60回日本糖尿病学会九州地方会. 2022.10.7-8. 福岡
13. 吉村達. 県民の皆さんへ向けて、当館が取り組んでいるDM診療～期待に応えて、これからrebirthすること～. 伊万里有田糖尿病weekセミナー. 2022.11.16. 佐賀
14. 荒木敬裕、岸川まり子、朝長礼音、江頭絵里奈、貞松宏典、岩永健太郎、吉村達. COVID-19(中等症Ⅱ)を契機に糖尿病性ケトアシドーシスを発症し、治癒後に抗真菌薬治療を要した1例. 第339回日本内科学会九州地方会. 2022.11.27. 大分

腎臓内科

(学会発表)

1. 水田将人. 肥満患者に対し腹膜透析カテーテル留置術を施行した2例. 第67回日本透析医学会総会. 2022.7.1. 横浜
2. 松本圭一郎. 当院の腹腔鏡下腹膜透析用カテーテル挿入術症例の検討. 第67回日本透析医学会総会. 2022.7.2. 横浜
3. 石井麻梨奈. 透析患者の腎出血に対して動脈塞栓術を施行した一例. 第67回日本透析医学会総会. 2022.7.3. 横浜
4. 水田将人. HIF-PH阻害薬の内服中に肺塞栓症を来した維持透析患者の1例. 第338回内科学会九州地方会. 2022.8.27. 鹿児島
5. 石井麻梨奈. 皮膚感染が契機と考えられたA群溶連菌性髄膜炎の一例. 第338回内科学会九州地方会. 2022.8.27. 鹿児島
6. 水田将人. 顕微鏡的多発血管炎の加療中にBacillus subtillis菌血症の合併を来した1例. 第52回日本腎臓学会西部学術大会. 2022.11.18. 熊本
7. 石井麻梨奈. 免疫抑制療法と血漿交換療法を行い良好な経過を得た抗GBM抗体型急速進行性糸球体腎炎の1例. 第52回日本腎臓学会西部学術大会. 2022.11.18. 熊本
8. 松本圭一郎. イコデキストリンを用いても除水が困難であった2症例. 第28回日本腹膜透析医学会学術集会・総会. 2022.11.26. 岡山
9. 水田将人. 精神疾患が背景にあり、血液透析継続が困難となった患者に対し、腹膜透析への移行を行った1例. 第54回九州人工透析研究会総会. 2022.12.11. 沖縄
10. 水田将人. 当院での腹膜透析患者に対する腹腔鏡下手術の現状. 第18回日本インターベンショナルネフロロジー学会. 2023.3.11. 福岡

脳神経内科

(論文)

1. 上床武史、井戸啓介、溝上泰一郎、横溝明史、藤井裕太郎、並川裕貴、尤郁偉、高島洋、松本健一. 佐賀における高齢者脳血栓回収術の現状と対応. 佐賀救急医学雑誌 8号, 9-12. 2022.5

(学会発表)

1. 吉川正章、野田佳克、末廣大知、渡部俊介、関

- 口兼司、原英夫、松本理器. CIDPおよびMMNにおけるWrist-to-forearmの検討. 第63回日本神経学会学術大会. 2022.5.19. 東京
2. 今居達也、入江研一、盛満真人、上野俊太郎、菊池真介、谷脇考恭. 筋萎縮性側索硬化症患者におけるMRI T2* precentral knob病変の検討. 第63回日本神経学会学術大会. 2022.5.21. 東京
 3. 吉川正章. 帯状疱疹後に神経痛性筋萎縮症を発症した一例の超音波所見. 第33回日本末梢神経学会学術集会. 2022.9.9. 東京
 4. 堤将臣、川浪建、今居達也、吉川正章、高島洋. エフガルチギモドが有効であったMuSK抗体陽性重症筋無力症の1例. 第237回日本神経学会九州地方会. 2022.9.17. 佐賀
 5. 飯田紘太郎、津村圭亮、吉川正章、梅口仁美、高島洋. Atezolizumab使用後に抗P/Q型VGCC抗体陽性小脳失調が出現した小細胞肺癌の1例. 第237回日本神経学会九州地方会. 2022.9.17. 佐賀
 6. 上床武史、井戸啓介、溝上泰一朗、前山元、原田亜由美、尤郁偉、今居達也、堤将臣、川浪建、吉川正章、高島洋、松本健一. 脳血栓回収術中にextravasationを認めた症例の要因に関する検討. 第48回日本脳卒中学会学術集会. 2023.3.16. 横浜
 7. 前山元、井戸啓介、原田亜由美、横溝明史、上床武史、溝上泰一朗、高島洋、松本健一. 中大脳動脈M2急性閉塞に対する脳血栓回収療法の治療成績の検討. 第48回日本脳卒中学会学術集会. 2023.3.16. 横浜
 8. 原田亜由美、前山元、横溝明史、井戸啓介、上床武史、溝上泰一朗、高島洋、松本健一. 急性脳主幹動脈閉塞における機械的血栓回収単独群とtPA併用群の治療成績に関する検討. 第48回日本脳卒中学会学術集会. 2023.3.17. 横浜
 9. 今居達也、吉川正章、堤将臣、川浪建、高島洋. 神経超音波検査が診断に有用であったMultifocal CIDP. 第239回日本神経学会地方会. 2023.3.25. 福岡

循環器内科

(学会)

1. 西村優希. Relationship between CHADS2 Score and Histological Fibrosis Based on Atrial Biopsy in Patients with Non-valvular Atrial Fibrillation. 第68回日本不整脈心電学会学術大会. 2022.6.9. 横浜
2. 吉田敬規. FFRangioを実臨床でどう使うか. TOPIC 2022. 2022.7.7. 東京
3. 吉田敬規. Ultimaster Nagomi Stent. STIC LIVE. 2022.7.16. 島原
4. 神下耕平. 重症2枝病変に対する経皮的冠動脈インターベンションにImpellaによる補助循環が有用であった一例. 第34日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会. 2022.8.19. 宮崎
5. 西村優希. 急性肺水腫を発症した両側腎動脈狭窄に対してzero-contrast EVTに成功した一例. 第34日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会. 2022.8.20. 宮崎
6. 挽地裕. How to apply large-size stent in left main coronary. EBC 2022- The XVII European Bifurcation Club Meeting. 2022.10.14. バルセロナ(オンライン開催)
7. 西村優希. カテーテル生検にて診断し得た心臓原発びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫(DLBCL)の一例. 第133日本循環器学会九州地方会. 2022.12.3. 久留米
8. 中島史暁. 右浅大腿動脈-膝窩動脈亜急性閉塞性動脈硬化症に対してDOAC内服下でおこなったEVTの1例. 第133回日本循環器学会九州地方会. 2022.12.3. 久留米
9. 吉田敬規. 実臨床におけるFFRangioの有用性. Tokyo Physiology 2023 (Friends LIVE). 2023.3.4. 東京

緩和ケア科

(論文・著書)

1. 小杉寿文. Ⅲ.がん疼痛患者の痛み管理 4)骨転移痛に対する神経ブロック療法脊髄鎮痛法・くも膜下鎮痛法. ペインクリニック, 43 : S96-S105, 2022.
2. Uehara Y, Matsumoto Y, Kosugi T, Sone M, Nakamura N, Mizushima A, Miyashita M, Morita T, Yamaguchi T, Satomo E. Availability of and factors related to Interventional procedures for refractory pain in patients with cancer: a nationwide survey. BMC Palliative Care, 21(1): 166-178, 2022.
3. Usui Y, Miura T, Kawaguchi T, Kosugi K, Uehara Y, Kato M, Kosugi T, Sone M, Nakamura N, Mizushima A, Miyashita M, Morita T, Yamaguchi T, Matsumoto Y, Satomi E. Palliative care physicians' recognition of patients after immune checkpoint inhibitors and immune-related ad-

verse events. Supportive Care in Cancer. 30(1): 775-784, 2022

4. 小西亜佐子、小杉寿文、窪田光. 第Ⅱ章その難しい症状, どう緩和する? A. 痛み 7. 悪性腸腰筋症候群. 一歩進んだ緩和医療のアプローチ—その難しい症状, どう緩和する?. 85-92. 南江堂, 東京, 2022.
5. 小杉寿文. 第Ⅲ章こんな難治例, エキスパートはどう対処する? Case8. この激痛をどうにかしてほしい!—持続くも膜下鎮痛法. 一歩進んだ緩和医療のアプローチ—その難しい症状, どう緩和する?. 85-92. 南江堂, 東京, 2022.
6. 小杉寿文. VII患者で診る痛みのメカニズムと治療 3がん性疼痛. 麻酔科プラクティス7 痛み診療 ALL in One. 第1版250-253. 文光堂, 東京, 2022.

(学会発表)

1. 松本禎久、上村優子、水嶋章郎、小杉寿文、里見絵理子. がん診療連携拠点病院における難治性がん疼痛に対するサドルブロックの実施状況、障壁、教育：全国質問紙調査. 日本麻酔学会第69回学術集会. 2022.6.16. 神戸市
2. 上村優子、松本禎久、水嶋章郎、小杉寿文、里見絵理子. がん診療連携拠点病院における難治性がん疼痛に対する脊髄鎮痛法の実施状況と障壁：全国質問紙調査. 日本麻酔学会第69回学術集会. 2022.6.16. 神戸市
3. 小杉寿文. 治療に伴う慢性痛としての神経障害性疼痛管理、重粒子線治療による神経障害性疼痛の症例から. 日本ペインクリニック学会第56回学術集会. 2022.7.9. 東京
4. Kosugi T, Matsumoto Y, Uehara Y, Sone M, Nakakura N, Morita T, Mizushima A, Miyashita M, Yamaguchi T, Satomi E. Barriers to interventional procedures for refractory cancer pain in Japanese designated cancer hospitals: A nationwide survey. IASP 2022 World Congress on Pain. 2022.9.19. Tronto, Canada
5. 小杉寿文、弓場智子、山田千晶、久保麻悠子. 抜歯時の舌神経損傷による神経障害性疼痛に抗CGRPモノクローナル抗体が奏功した片頭痛患者の一例. 日本臨床麻酔学会第42回大会. 2022.11.11. 京都市
6. 山田千晶、小杉寿文、久保麻悠子、弓場智子. 悪性腹水に対する腹腔カテーテル留置による腹水ドレナージの有用性についての検討. 日本臨床麻酔学会第42回大会. 2022.11.11. 京都市
7. 弓場智子、久保麻悠子、小杉寿文. 恥骨に関連

する痛みに対する不対神経節ブロックの効果を認めた一症例. 第3回日本ペインクリニック学会九州支部学術集会. 2023.2.11. 大分市

8. 久保麻悠子、山田千晶、弓場智子、小杉寿文. 当院における重症下肢虚血に対してインターベンショナル治療を行った8症例. 第3回日本ペインクリニック学会九州支部学術集会. 2023.2.11. 大分市

呼吸器外科

(学会発表)

1. 大庭大治、宮本詩子、武田雄二. 肺癌術後乳糜胸に対して治療に難渋した一例. 第39回日本呼吸器外科学会学術集会. 2022.5.20-21. 東京
2. 大庭大治、宮本詩子、武田雄二. 長期生存中の肺化膿症を合併した左上葉肺多形癌の1切除例. 第39回日本呼吸器外科学会学術集会. 2022.5.20-21. 東京
3. 大庭大治. 術前化学放射線療法を施行した原発性肺癌切除症例の検討. 第55回日本胸部外科学会九州地方会総会. 2022.7.28-29. 長崎
4. 大庭大治、宮本詩子、武田雄二. 肺原発多形癌切除症例の検討. 第63回日本肺癌学会学術集会. 2022.12.1-3. 福岡

消化器外科

(学術論文)

1. Egawa N, Miyoshi A, Manabe T, Sadashima E, Koga H, Sato H, Ikeda O, Tanaka T, Kitahara K, Noshiro H. Clinical evaluation of a surgical difficulty score for laparoscopic cholecystectomy for acute cholecystitis proposed in the Tokyo Guidelines 2018. J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022.10.26
2. Asai K, Iwashita Y, Ohyama T, Endo I, Hibi T, Umezawa A, Suzuki K, Watanabe M, Kurata M, Mori Y, Higashida M, Kumamoto Y, Shindoh J, Yoshida M, Honda G, Misawa T, Abe Y, Nagakawa Y, Toyota N, Yamada S, Norimizu S, Matsumura N, Sata N, Sunagawa H, Ito M, Takeda Y, Nakamura Y, Rikiyama T, Higuchi R, Gocho T, Honma Y, Hirashita T, Kanemoto H, Nozawa M, Watanabe Y, Kohga A, Yazawa T, Tajima H, Nakahira S, Asaoka T, Yoshioka R, Fukuzawa J, Fujioka S, Hata D, Haruta H, Asano Y, Nomura R,

- Matsumoto J, Kameyama N, Miyoshi A, Urakami H, Seyama Y, Morikawa T, Kawano Y, Ikoma H, Kin T, Takada T, Yamamoto M. Application of a novel surgical difficulty grading system during laparoscopic cholecystectomy. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2022 29: 758-76
3. Kimura N, Hiraki M, Sato H, Koga H, Mori D, Tanaka T, Kitahara K. Intussusception of the cecum due to the acute appendicitis: A case report. *Int J Surg Case Rep.* 2022 Nov;100:107727. doi: 10.1016/j.ijscr.2022.107727. Epub 2022 Oct 12. PMID: 36257138
 4. Hiraki M, Tanaka T, Sadashima E, Sato H, Kitahara K. The Clinical Impact of Apical Lymph Node Metastasis of Colorectal Cancer After Curative Resection. *J Gastrointest Cancer.* 2022 Apr 29. doi: 10.1007/s12029-022-00828-w. Online ahead of print. PMID: 35486262
 5. 馬場楓、古賀浩木、江川紀幸、三好篤、北原賢二. 狭心症発症直後に気腫性胆嚢炎を発症し腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した一例. *佐賀市医師会報* 550: 9-14, 2022.6
 6. 古賀浩木、三好篤、江川紀幸. R0手術とGEM/S-1療法により術後6年生存中の肝原発腺扁平上皮癌の1例. *日本臨床外科学会雑誌* 83(6):1130-1134, 2022
- (学会発表・講演)**
1. 三好篤、西田泰治、眞崎晴奈、梶原脩平、江川紀幸、佐藤博文、三宅修輔、古賀浩木、池田貯、田中聡也、北原賢二. RFA・TACE後局所再発肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術. 第122回日本外科学会定期学術集会. 2022.4.14-16. 熊本
 2. 江川紀幸、眞崎晴奈、梶原脩平、佐藤博文、古賀浩木、三宅修輔、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 発症72時間以降の急性胆嚢炎手術の手術難度の検討. 第122回日本外科学会定期学術集会. 2022.4.14-16. 熊本
 3. 三好篤、西田泰治、眞崎晴奈、梶原脩平、江川紀幸、佐藤博文、三宅修輔、古賀浩木、池田貯、田中聡也、北原賢二. RFA・TACE後局所再発肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除のpitfalls. 第76回手術手技研究会. 2022.5.20-21. 佐賀
 4. 江川紀幸、眞崎晴奈、梶原脩平、佐藤博文、古賀浩木、三宅修輔、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 発症72時間以降の急性胆嚢炎手術の手術難度の検討. 第76回手術手技研究会. 2022.5.20-21. 佐賀
 5. Miyoshi A, Egawa N, Koga H, Kitahara K. The prevention and treatment for the postpancreatectomy hemorrhage. 第34回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2022.6.10-11. 松山
 6. Egawa N, Miyoshi A, Koga H, Kitahara K. Clinical evaluation of the Tokyo Guidelines 2018 for difficulty score in laparoscopic cholecystectomy for acute cholecystitis. 第34回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2022.6.10-11. 松山
 7. Koga H, Miyoshi A, Egawa N, Kitahara K. Laparoscopic repeat hepatectomy for hepatocellular carcinoma. 第34回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2022.6.10-11. 松山
 8. 三好篤、眞崎晴奈、梶原脩平、江川紀幸、佐藤博文、三宅修輔、古賀浩木、池田貯、田中聡也、北原賢二. 膵切除術後出血の予防と対応. 第77回日本消化器外科学会学術総会. 2022.7.20-22. 横浜
 9. 江川紀幸、眞崎晴奈、梶原脩平、佐藤博文、古賀浩木、三宅修輔、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 重症急性胆嚢炎に対する急性期手術は安全に施行可能か. 第77回日本消化器外科学会学術総会. 2022.7.20-22. 横浜
 10. 梶原脩平、眞崎晴奈、江川紀幸、佐藤博文、三宅修輔、古賀浩木、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 正中腹壁癒痕ヘルニアに対するeTEPにおいてTARは回避できるか(会議録). 第77回日本消化器外科学会学術総会. 2022.7.20-22. 横浜
 11. 池田貯、梶原脩平、馬場康平、馬場楓、北川浩、江川紀幸、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也、北原賢二、佐藤清治. ひととおりラパロでできる胃癌手術に敢えてロボットを使う意味を考える～特性を理解し、手技に反映させる～. 第32回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会. 2022.9.22. 大分
 12. 池田貯、梶原脩平、馬場康平、馬場楓、北川浩、江川紀幸、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也、北原賢二、佐藤清治. 食道胃接合部癌に対する実臨床に即した術式選択の現状～安全性と根治性を考慮した現実的選択～. 第32回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会. 2022.9.22. 大分
 13. 馬場楓、新藤優里、梶原脩平、江川紀幸、北川浩、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 治療に難渋した小腸

- 閉塞の1例. 第32回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会. 2022.9.22. 大分
14. 新藤優里、馬場楓、西田泰治、梶原脩平、江川紀幸、北川浩、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 子宮広間膜ヘルニアに対する腹腔鏡下手術の一例. 第32回九州内視鏡・ロボット外科手術研究会. 2022.9.22. 大分
15. 井野輔久、江川紀幸、馬場楓、西田泰治、梶原脩平、北川浩、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 絞扼性腸閉塞に続発した非閉塞性腸間膜虚血の一例. 佐賀周術期治療セミナー. 2022.11.8. 佐賀
16. 三好篤、藤川貴久、江川紀幸、古賀浩木、北原賢二. Da Vinci Siを用いたロボット支援下肝切除の導入. 第16回日本肝臓内視鏡外科研究会. 2022.11.23. 福岡
17. 古賀浩木、三好篤、江川紀幸、北原賢二. 腹腔鏡下腓体尾部切除術における術野展開. 第16回肝臓内視鏡外科研究会・第14回膵臓内視鏡外科研究会. 2022.11.23. 福岡
18. 梶原脩平、北川浩、江川紀幸、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 当院における低侵襲胃切除術の変遷. 第35回日本内視鏡外科学会. 2022.12.8-10. 名古屋
19. 池田貯、梶原脩平、北川浩、江川紀幸、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也、北原賢二. 術前化学療法後胃癌手術におけるロボット手術の安全性と利点. 短期成績を含めた腹腔鏡手術との比較. 第35回日本内視鏡外科学会. 2022.12.8-10. 名古屋
20. 古賀靖大、北川浩、三宅修輔、梶原脩平、池田貯、田中聡也. 腹腔鏡下大腸切除術後の結腸間膜欠損部内ヘルニア. 第35回日本内視鏡外科学会. 2022.12.8-10. 名古屋
21. 北川浩、古賀靖大、梶原脩平、江川紀幸、三宅修輔、古賀浩木、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 脾彎曲部の結腸癌に対するリンパ節郭清の検討. 第35回日本内視鏡外科学会. 2022.12.8-10. 名古屋
22. 江川紀幸、三好篤、古賀浩木、北原賢二. da Vinci Siによるロボット支援下肝切除術-生食併用肝実質切離における助手の役割. 第43回九州肝臓外科研究会学術集会. 2023.1.28. 福岡
23. 古賀浩木、三好篤、江川紀幸、北原賢二. 当科での腹腔鏡下S8切除の工夫. 第43回九州肝臓外科研究会学術集会. 2023.1.28. 福岡
24. 池田貯、梶原脩平、西田泰治、馬場楓、北川浩、江川紀幸、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也、北原賢二、佐藤清治. 食道胃接合部癌に対する安全性と根治性を配慮した術式選択～真にPatient benefitにつながる術式は?～. 第95回日本胃癌学会. 2023.2.23-25. 札幌
25. 梶原脩平、馬場楓、江川紀幸、北川浩、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 高齢者に対する胃癌手術の是非. 第95回日本胃癌学会. 2023.2.23-25. 札幌
26. 江川紀幸. 腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術難度の提案. 第59回日本腹部救急医学会総会. 2023.3.9-10. 宜野湾市(教育セミナー)
27. 西田泰治、江川紀幸、馬場楓、梶原脩平、北川浩、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 腹腔鏡下胆嚢摘出術後に壊死性筋膜炎を発症した1例. 第59回九州外科学会. 2023.3.10-11. 宮崎
28. 馬場楓、古賀浩木. 偶発的に発見された胆管内乳頭状腫瘍に対し肝左葉切除+肝外胆管切除術を施行した一例. 第59回九州外科学会. 2023.3.10-11. 宮崎
29. 吉良裕希、江川紀幸、馬場楓、西田泰治、梶原脩平、北川浩、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 絞扼性腸閉塞に続発した非閉塞性腸間膜虚血の一例-非閉塞性腸間膜虚血に対する治療戦略を考察する-. 第59回九州外科学会. 2023.3.10-11. 宮崎

肝臓・胆のう・膵臓外科

(学術論文)

1. Egawa N, Miyoshi A, Manabe T, Sadashima E, Koga H, Sato H, Ikeda O, Tanaka T, Kitahara K, Noshiro H. Clinical evaluation of a surgical difficulty score for laparoscopic cholecystectomy for acute cholecystitis proposed in the Tokyo Guidelines 2018. J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2022.10.26
2. Asai K, Iwashita Y, Ohyama T, Endo I, Hibi T, Umezawa A, Suzuki K, Watanabe M, Kurata M, Mori Y, Higashida M, Kumamoto Y, Shindoh J, Yoshida M, Honda G, Misawa T, Abe Y, Nagakawa Y, Toyota N, Yamada S, Norimizu S, Matsumura N, Sata N, Sunagawa H, Ito M, Takeda Y, Nakamura Y, Rikiyama T, Higuchi R, Gocho

- T, Honma Y, Hirashita T, Kanemoto H, Nozawa M, Watanabe Y, Kohga A, Yazawa T, Tajima H, Nakahira S, Asaoka T, Yoshioka R, Fukuzawa J, Fujioka S, Hata D, Haruta H, Asano Y, Nomura R, Matsumoto J, Kameyama N, Miyoshi A, Urakami H, Seyama Y, Morikawa T, Kawano Y, Ikoma H, Kin T, Takada T, Yamamoto M. Application of a novel surgical difficulty grading system during laparoscopic cholecystectomy. *J Hepatobiliary Pancreat Sci.* 2022 29: 758-76
3. 馬場楓、古賀浩木、江川紀幸、三好篤、北原賢二. 狭心症発症直後に気腫性胆嚢炎を発症し腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した一例. *佐賀市医師会報* 550: 9-14, 2022
 4. 古賀浩木、三好篤、江川紀幸. R0手術とGEM/S-1療法により術後6年生存中の肝原発腺扁平上皮癌の1例. *日本臨床外科学会雑誌* 83(6):1130-1134, 2022
- (学会発表・講演)**
1. 三好篤、西田泰治、眞崎晴奈、梶原脩平、江川紀幸、佐藤博文、三宅修輔、古賀浩木、池田貯、田中聡也、北原賢二. RFA・TACE後局所再発肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除術. 第122回日本外科学会定期学術集会. 2022.4.14-16. 熊本
 2. 江川紀幸、眞崎晴奈、梶原脩平、佐藤博文、古賀浩木、三宅修輔、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 発症72時間以降の急性胆嚢炎手術の手術難度の検討. 第122回日本外科学会定期学術集会. 2022.4.14-16. 熊本
 3. 三好篤、西田泰治、眞崎晴奈、梶原脩平、江川紀幸、佐藤博文、三宅修輔、古賀浩木、池田貯、田中聡也、北原賢二. RFA・TACE後局所再発肝細胞癌に対する腹腔鏡下肝切除のpitfalls. 第76回手術手技研究会. 2022.5.20-21. 佐賀
 4. 江川紀幸、眞崎晴奈、梶原脩平、佐藤博文、古賀浩木、三宅修輔、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 発症72時間以降の急性胆嚢炎手術の手術難度の検討. 第76回手術手技研究会. 2022.5.20-21. 佐賀
 5. Miyoshi A, Egawa N, Koga H, Kitahara K. The prevention and treatment for the postpancreatectomy hemorrhage. 第34回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2022.6.10-11. 松山
 6. Egawa N, Miyoshi A, Koga H, Kitahara K. Clinical evaluation of the Tokyo Guidelines 2018 for difficulty score in laparoscopic cholecystectomy for acute cholecystitis. 第34回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2022.6.10-11. 松山
 7. Koga H, Miyoshi A, Egawa N, Kitahara K. Laparoscopic repeat hepatectomy for hepatocellular carcinoma. 第34回日本肝胆膵外科学会学術集会. 2022.6.10-11. 松山
 8. 三好篤、眞崎晴奈、梶原脩平、江川紀幸、佐藤博文、三宅修輔、古賀浩木、池田貯、田中聡也、北原賢二. 膵切除術後出血の予防と対応. 第77回日本消化器外科学会学術総会. 2022.7.20-22. 横浜
 9. 江川紀幸、眞崎晴奈、梶原脩平、佐藤博文、古賀浩木、三宅修輔、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 重症急性胆嚢炎に対する急性期手術は安全に施行可能か. 第77回日本消化器外科学会学術総会. 2022.7.20-22. 横浜
 10. 三好篤、藤川貴久、江川紀幸、古賀浩木、北原賢二. Da Vinci Siを用いたロボット支援下肝切除の導入. 第16回日本肝臓内視鏡外科研究会. 2022.11.23. 福岡
 11. 古賀浩木、三好篤、江川紀幸、北原賢二. 腹腔鏡下脛体尾部切除術における術野展開. 第16回肝臓内視鏡外科研究会・第14回膵臓内視鏡外科研究会. 2022.11.23. 福岡
 12. 江川紀幸、三好篤、古賀浩木、北原賢二. da Vinci Siによるロボット支援下肝切除術-生食併用肝実質切離における助手の役割. 第43回九州肝臓外科研究会学術集会. 2023.1.28. 福岡
 13. 古賀浩木、三好篤、江川紀幸、北原賢二. 当科での腹腔鏡下S8切除の工夫. 第43回九州肝臓外科研究会学術集会. 2023.1.28. 福岡
 14. 江川紀幸. 腹腔鏡下胆嚢摘出術の手術難度の提案. 第59回日本腹部救急医学会総会. 2023.3.9-10. 宜野湾市(教育セミナー)
 15. 西田泰治、江川紀幸、馬場楓、梶原脩平、北川浩、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 腹腔鏡下胆嚢摘出術後に壊死性筋膜炎を発症した1例. 第59回九州外科学会. 2023.3.10-11. 宮崎
 16. 馬場楓、古賀浩木. 偶発的に発見された胆管内乳頭状腫瘍に対し肝左葉切除+肝外胆管切除術を施行した一例. 第59回九州外科学会. 2023.3.10-11. 宮崎
 17. 吉良裕希、江川紀幸、馬場楓、西田泰治、梶原脩平、北川浩、三宅修輔、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、三好篤、田中聡也、北原賢二. 絞扼性腸閉塞に続発した非閉塞性腸間膜虚血の一例-非閉

塞性腸間膜虚血に対する治療戦略を考察する - 第59回九州外科学会. 2023.3.10-11. 宮崎

乳腺外科

(執筆)

1. 白羽根健吾. 内視鏡下手術. 乳癌診療 state of the art 科学に基づく最新診療. 364-366, 2022年8月

(学会発表)

1. 白羽根健吾, 佐藤瑠, 増田正憲, 森大輔, 西原雄之助, 相部仁. 片側が浸潤性微小乳頭癌であった同時性両側乳癌の1例. 第30回日本乳癌学会学術総会. 2022.6.30. 横浜
2. 廣高健斗, 白羽根健吾, 増田正憲, 森大輔, 森田孝一郎. 神経線維腫症1型に合併した乳癌の2例. 第20回日本乳癌学会九州地方会. 2023.3.5. 佐賀
3. 大河原一真, 白羽根健吾, 吉川正章, 平林健一, 高島洋, 前隆男. 乳癌術後に発生した前骨間神経麻痺の1例. 第59回九州外科学会. 2023.3.10. 宮崎

小児外科

(論文・執筆)

1. 山内健, 竜田恭介, 中林和庸. 重症心身障がい児の胃瘻造設における工夫と術後早期のミキサー食への移行. Medical Nutritionist of PEN Leaders. 6(2):123-130, 2022
2. 中林和庸, 竜田恭介, 山内健. 受傷5日後に診断され精巣温存が可能であった外傷性精巣捻転の1例. 日本小児外科学会雑誌. 58(4):753-757, 2022

(学会・研究会発表)

1. 中林和庸. 精巣捻転症に対する徒手整復の有用性に関する検討. 第90回佐賀小児科地方会. 2022.4.24. 佐賀(オンライン開催)
2. 中林和庸. 精巣捻転症に対する徒手整復の有用性に関する検討. 第59回日本小児外科学会. 2022.5.19-21. 東京
3. 山内健. 静注用大豆油脂肪乳剤がTPN肝障害の原因と思われたhypoganglionosisの1例. 第59回日本小児外科学会. 2022.5.19-21. 東京
4. 山内健. 腸管不全の1例における脂肪乳剤の合

併症 - カテーテル閉塞とTPN肝障害 -. 第37回日本臨床栄養代謝学会. 2022.5.31-6.1. 神戸

5. 山内健. HPNへ移行したヒルシユスプルング病類縁疾患の1例における栄養管理の工夫と合併症. 第59回日本外科代謝栄養学会. 2022.7.7-8. つくば
6. 中林和庸. 濃厚な家族歴を有した肥厚性幽門狭窄症の3兄弟例. 第91回佐賀小児科地方会. 2022.7.24. 佐賀
7. 田口匠平. 当科における癒着性腸閉塞手術10例の臨床的検討. 第51回九州小児外科学研究会. 2022.8.21. オンライン開催
8. 山内健. 高位空腸瘻を有するヒルシユスプルング病類縁疾患の小児に対する長期静脈栄養管理と合併症を防ぐ工夫. 第12回静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会. 2022.9.24-25. 吹田市
9. 山内健. 当科における内視鏡的胃瘻造設術と術後栄養管理の工夫について. 第51回日本小児外科代謝研究会. 2022.10.27. 岡山
10. 中林和庸. 保存的治療のみで良好な経過を辿ったextravasationを伴うⅢb型外傷性腎損傷の1例. 第92回佐賀小児科地方会. 2022.12.4. 佐賀(オンライン開催)
11. 山内健. 当科でカテーテル留置を行っている小児HPN患者におけるカテーテル合併症と管理法の工夫について. 第10回血管内留置カテーテル管理研究会. 2022.12.10. 大阪
12. 中林和庸. 保存的治療のみで良好な経過を辿ったextravasationを伴うⅢb型外傷性腎損傷の1例. 第59回九州小児外科学会. 2023.3.10. 宮崎

心臓血管外科

(論文)

1. 古賀佑一, 里学, 西田泰治, 牛草淳, 川崎裕満. 鈍的腹部外傷を契機として発症した腹部大動脈瘤壁在血栓由来の下肢動脈急性塞栓症の1例. 日血外会誌 2022; 31: 327-331
2. 西田泰治, 里学, 川崎裕満, 古賀佑一, 牛草淳. 腹部大動脈人工血管置換術後遠隔期のStanford B型急性大動脈解離. 胸部外科 76巻3号: 197-200, 2023

(学会発表)

1. 牛草淳, 里学, 西原雄之介, 川崎裕満. 診断に難渋した右大腿部腫脹の一例. 第14回日本臨床外科学会佐賀県支部学術集会. 2022.4.22. 佐賀

2. 黒岩慶成、川崎裕満、古賀佑一、里学. 腹部大動脈置換術後に十二指腸瘻を形成した人工血管感染の一例. 第50回日本血管外科学会学術総会. 2022.5.25. 北九州(オンライン開催)
3. 古賀佑一、里学、川崎裕満、牛草淳. 腹部外傷による腹部大動脈瘤圧迫が原因で下肢急性動脈閉塞症を来した1例. 第50回日本血管外科学会学術総会. 2022.5.25. 北九州(オンライン開催)
4. 牛草淳、里学、西原雄之介、古賀佑一、川崎裕満. 慢性下肢動脈閉塞症様の症状を呈した平滑筋肉腫の一例. 第132回日本循環器学会九州地方会. 2022.6.25. オンライン開催
5. 内藤光三、山口雅子、倉谷実希、徳島香奈、武田雄二、森大輔、佐藤清治. 全死亡症例の検証と病院管理者への報告システム. 第72回日本病院学会. 2022.7.8. 島根
6. 牛草淳、里学、川崎裕満. 緊急TEVAR後に診断した感染性胸部大動脈瘤の一例. 第55回日本胸部外科学会九州地方会総会 *優秀演題. 2022.7.28. 長崎(オンライン開催)
7. 西田泰治、牛草淳、里学、川崎裕満. 人工心肺下に切除を行った再発気管支原性嚢胞の一例. 第55回日本胸部外科学会九州地方会総会. 2022.7.28. 長崎(オンライン開催)
8. 古賀佑一、里学、川崎裕満. 当院における術後難治性胸水に対する治療戦略. 第55回日本胸部外科学会九州地方会総会. 2022.7.29. 長崎(オンライン開催)
9. 牛草淳、里学、川崎裕満. 緊急TEVAR後に診断した感染性胸部大動脈瘤の一例. 第75回日本胸部外科学会定期学術集会. 2022.10.5. 横浜
10. 里学、川崎裕満、牛草淳. 急性大動脈解離 Stanford Aと腹部大動脈瘤破裂の同時手術. CCT2022. 2022.10.28. 神戸
11. 内藤光三、武田雄二、山口雅子、倉谷実希、徳島香奈、馬場英明. 医師からのインシデント・アクシデント報告と医療安全文化醸成について. 日本医療マネジメント学会 第20回九州山口連合大会. 2022.11.4. 鹿児島
12. 牛草淳、里学、川崎裕満、内藤光三. EVAR後のType V Endoleakに対してopen conversionを行った一例. 第133回日本循環器学会九州地方会. 2022.12.3. 久留米
13. 永島聖恭、里学、川崎裕満、牛草淳. Mitroflowの構造劣化による再手術の経験. 第133回日本循環器学会九州地方会. 2022.12.3. 久留米
14. 永島聖恭、里学、川崎裕満、牛草淳. 浅大腿動

脈病変に対するPropatenとViabahnの中期成績. 第53回日本心臓血管外科学会学術総会. 2023.3.23. 旭川

15. 古賀佑一、里学、川崎裕満、牛草淳. 大動脈弁置換術後の心房細動に対する、心臓後面ドレーンの有用性. 第53回日本心臓血管外科学会学術総会. 2023.3.23. 旭川
16. 川崎裕満、牛草淳、里学. 当院における下肢静脈瘤に対する血管内塞栓術の初期成績. 第53回日本心臓血管外科学会学術総会. 2023.3.25. 旭川
17. 牛草淳、川崎裕満、里学. 晩期 Endoleak により開腹手術を要した4症例の検討. 第53回日本心臓血管外科学会学術総会. 2023.3.25. 旭川

(講演)

1. 内藤光三. 医療安全と医療の質改善活動～好生館からの報告～. 佐賀県医師会医療安全・院内感染防止対策 医療従事者研修会. 2022.9.29. 佐賀
2. 里学. 最近の症例からみた当科での心不全治療. 第30回佐賀心不全研究会. 2022.10.18. 佐賀(オンライン開催)
3. 内藤光三. 医療安全と医療の質改善活動～オール佐賀で医療の安全確保と質改善を目指すには～. サンテ溝上病院 医療安全研修会. 2022.10.19. 佐賀
4. 里学. 救急外来で遭遇するかもしれない心臓血管外科関連疾患. 第4回佐賀中部地区救急医療研究会. 2022.12.8. 佐賀

脳神経外科

(論文)

1. 上床武史、井戸啓介、溝上泰一朗、横溝明史、藤井裕太郎、並川裕貴、尤郁偉、高島洋、松本健一. 佐賀における高齢者脳血栓回収術の現状と対応. 佐賀救急医学雑誌 第8号: pp9-12, 2022.5
2. 並川裕貴、藤井裕太郎、井戸啓介、松本健一. von Willebrand病に合併した急性硬膜下血腫に対して第Ⅷ因子製剤を使用した一例. Neurosurg Emerg 27: 184-188, 2022

(学会発表)

1. 井戸啓介. Solitaire Xの使用経験. Medtronic AIS Hour. 2022.4.22. オンライン開催
2. 井戸啓介. 治療困難であったAISの2症例. GOLD in 九州. 2022.6.14. オンライン開催
3. 前山元、井戸啓介、藤井裕太郎、横溝明史、松

- 本健一. 頸部内頸動脈解離を合併した破裂中大脳動脈瘤の一例. 第141回日本脳神経外科学会九州支部会. 2022.6.25. 沖縄
4. 原田亜由美、前山元、藤井裕太郎、横溝明史、井戸啓介、増田正憲、森大輔、松本健一. 後床突起に生じたChondromyxoid fibromaの1例. 第142回日本脳神経外科学会九州支部会. 2022.9.10. 熊本
 5. 井戸啓介、溝上泰一郎、上床武史、横溝明史、原田亜由美、前山元、松本健一. 脳動脈瘤塞栓術におけるバルーンガイディングカテーテルの有用性と使用上の工夫. 第81回日本脳神経外科学会学術総会. 2022.9.29. 横浜
 6. 前山元、井戸啓介、原田亜由美、横溝明史、上床武史、溝上泰一郎、高島洋、松本健一. M2閉塞に対する血栓回収の有効性と安全性の検討. 第81回日本脳神経外科学会学術総会. 2022.9.29. 横浜
 7. 横溝明史、原田亜由美、前山元、井戸啓介、上床武史、溝上泰一郎、高島洋、松本健一. 当院における90歳以上に対する機械的血栓回収療法の治療成績. 第81回日本脳神経外科学会学術総会. 2022.9.30. 横浜
 8. 原田亜由美、井戸啓介、前山元、横溝明史、上床武史、溝上泰一郎、高島洋、松本健一. 当院における血栓回収 (MT) 単独群とtPA併用群の治療成績に関する検討. 第81回日本脳神経外科学会学術総会. 2022.9.30. 横浜
 9. 井戸啓介. 上手くいかなかった脳動脈瘤症例. 第5回BASE (Web). 2022.10.29. オンライン開催
 10. 原田亜由美、並川裕貴、横溝明史、井戸啓介、横尾眞子、松本健一. von willebrand病 (vWD) に合併した急性硬膜下血腫の一例. 第46回日本脳神経外傷学会. 2023.2.24-25. 岡山
 11. 古賀文崇、原田亜由美、横溝明史、井戸啓介、増田正憲、森大輔、松本健一. 若年成人に生じ、急速な増大を示した文化傾向に乏しい後頭骨肉腫の1例. 第143回日本脳神経外科学会九州支部会. 2023.3.11. 久留米
 12. 前山元、井戸啓介、原田亜由美、横溝明史、上床武史、溝上泰一郎、高島洋、松本健一. 中大脳動脈M2急性閉塞に対する脳血栓回収療法の治療成績の検討. 第48回日本脳卒中学会学術集会. 2023.3.16. 横浜
 13. 原田亜由美、古賀文崇、横溝明史、井戸啓介、上床武史、溝上泰一郎、松本健一. 当院における

血栓回収単独群とtPA併用群の治療成績に関する検討. STROKE2023. 2023.3.16-18. 横浜

14. 井戸啓介、溝上泰一郎、上床武史、前山元、原田亜由美、横溝明史、松本健一. 前方循環脳動脈瘤塞栓術におけるproximal balloon guiding system の有用性. STROKE2023. 2023.3.16-18. 横浜
15. 前山元、井戸啓介、原田亜由美、横溝明史、上床武史、溝上泰一郎、高島洋、松本健一. 中大脳動脈M2急性閉塞に対する脳血栓回収療法の治療成績の検討. STROKE2023. 2023.3.16-18. 横浜
16. 横溝明史、原田亜由美、前山元、井戸啓介、上床武史、溝上泰一郎、高島洋、松本健一. 当院における90歳以上に対する機械的血栓回収療法の治療成績. STROKE2023. 2023.3.16-18. 横浜
17. 井戸啓介. 最近の手術症例. 福岡県4大学合同脳神経外科セミナー2023. 2023.3.22. 福岡

形成外科

(学会発表)

1. 原田慶美. 両足趾壊死を生じた寒冷凝集症疑いの1例. 第118回九州・沖縄形成外科学会学術集会. 2022.10.22. 熊本

整形外科

(執筆)

1. 前隆男、津村弘. 整形外科 疾患・手術・ケア. 整形外科看護 秋季増刊, 2022, 150-152
2. 前隆男. 脛骨近位部骨折. 骨折マイスター 改訂第二版, 2023, 268-282

(論文)

1. Kato G, Baba S, Kawaguchi K, T Mae, Tomari S. Perpendicular probing and screwing technique: A simple method for accurate pedicle screw placement based on the human internal reference frame for angle estimation. PLoS One. 2022 Nov 28;17(11):e0277229
2. 園田裕樹、前隆男、塚本伸章、古賀源基、谷口善政、藤澤徳仁、吉村郁弘、馬場覚、松下優、小宮紀宏、林田光正. 痙攣により発症した寛骨臼骨折の治療経験. 整形外科と災害外科, 2022, 71:819-822
3. 藤村謙次郎、原俊彦、原口明久、加茂健太、櫻庭康司、宮原寿明、福士純一、佐々木大、上田幸

輝、佐藤太志、塚本伸章、安原隆寛. 非定形大腿骨不全骨折に対する予防的骨接合術後の骨癒合率について. 整形外科と災害外科, 2022, 71: 853-857

4. 佐々木颯太、松下優、塚本伸章、倉員太志、北出一季、貴島賢、馬場覚、岡和一郎、小宮紀宏、林田光正、前隆男. 肘関節内粉碎骨折に対する創外固定術後に医原性橈骨神経麻痺を来した1例. 整形外科と災害外科, 2022, 71: 872-874

(発表)

1. 清水瓊玖、小宮紀宏、高村優希、大森治希、土居雄太、眞島新、平林健一、松下優、馬場覚、塚本伸章、林田光正、前隆男. 陳旧性肩関節脱臼骨折に対し観血的治療を行った1例. 第144回西日本整形・災害外科学会学術集会. 2022.11.11. 宇部市
2. 高村優希、松下優、清水瓊玖、大森治希、土居雄太、平林健一、馬場覚、小宮紀宏、塚本伸章、林田光正、前隆男. 開放性ピロン骨折術後にプレート折損を来し再手術を要した1例. 第144回西日本整形・災害外科学会学術集会. 2022.11.12. 宇部市
3. 眞島新、馬場覚、林田光正、高村優希、大森治希、清水瓊玖、土居雄太、平林健一、松下優、小宮紀宏、塚本伸章、前隆男. 右上肢麻痺を来し頸椎疾患と鑑別を要した帯状疱疹後髄節性運動麻痺の1例. 第144回西日本整形・災害外科学会学術集会. 2022.11.12. 宇部市
4. 大森治希、塚本伸章、高村優希、清水瓊玖、土居雄太、眞島新、平林健一、松下優、馬場覚、小宮紀宏、林田光正、前隆男. 膝関節軽度屈曲位での外側傍膝蓋骨進入により髓内釘挿入を行った脛骨骨折3症例の治療経験. 第144回西日本整形・災害外科学会学術集会. 2022.11.12. 宇部市
5. 土居雄太、松下優、高村優希、清水瓊玖、大森治希、眞島新、平林健一、馬場覚、小宮紀宏、塚本伸章、林田光正、前隆男. 小児上腕骨外側顆脱臼骨折の2例. 第144回西日本整形・災害外科学会学術集会. 2022.11.12. 宇部市
6. 馬場覚、林田光正、眞島新、前隆男. 先天性脊椎骨端異形成症・強直脊椎を伴う第6胸椎椎体骨折の1例(患者適合型ガイド My Spine使用). 第48回福岡脊椎外科フォーラム. 2022.12.3. 福岡市
7. 馬場覚、林田光正、眞島新、前隆男. びまん性特発性骨増殖症に伴う胸椎脱臼骨折術後に人工呼吸器関連肺炎(VAP)を併発し死亡した1例. 第44回佐賀骨折治療研究会. 2022.12.10. 佐賀市

(講演)

1. 前隆男. 当院におけるOLSの現状. 福岡骨疾患研究会. 2022.6.10. 福岡市
2. 前隆男. 当院における骨粗しょう症リエゾンチームの取り組み. 痛みのトータルケアマネジメントセミナー. 2022.7.20. オンライン開催
3. 前隆男. 髓内釘の原理. 九大骨折治療研究会. 2022.7.24. 福岡市
4. 前隆男. 骨盤輪骨折の初期治療・骨移植とそのオプション・リスフラン損傷・ケース討論. AOtrauma course. 2022.8.25. 横浜
5. 前隆男. 長管骨骨折のマネージメント・最小侵襲手術・ケース討論. AOtrauma blended course. 2022.9.3. 岡山市
6. 平林健一. ロコモティブシンドローム. ゆめ佐賀大学大学院. 2022.11.30. 佐賀市
7. 前隆男. ロコモティブシンドローム. ゆめ佐賀大学大学院. 2022.12.14. 佐賀市
8. 前隆男、竹葉淳. 骨盤骨折. 第17回九州大学骨折治療研究会 カダバーコース. 2022.12.17. 東温市
9. 前隆男. ロコモティブシンドローム. ゆめ佐賀大学大学院. 2023.1.19. 唐津市
10. 前隆男. ピロン骨折. 九州大学骨折治療研究会 上級コース. 2023.3.5. 福岡市

小児科

(論文など)

1. Yae Y, Yuge K, Maeda T, Ichinose F, Matsuo M, Kobayashi O, Okanari K, Baba Y, Yonee C, Maruyama S, Shibata M, Fujii T, Chinen M, Yamashita Y. Exploratory evaluation of an eye-tracking system in patients with advanced spinal muscular atrophy type I receiving nusinersen. *Front Neurol*. 2022 Sep 30;13:918255.
2. 尾内一信、山崎勉、中浜力、山本茂、津村直幹、阪田保隆、長井健祐、池澤滋、田中敏博、西村直子、山口徹也、名木田章、西村真二. LAMP法を用いた肺炎クラミジア検出の臨床的有用性の検討. *感染症学雑誌*. 2022年96巻3号p.74-81
3. Ito Y, Kakiuchi T, Hidaka H, Miyahara K, Tashiro K. The usefulness of total colonoscopy for intussusception with Burkitt's lymphoma. *Indian J Pediatr*. 2023;90(2):193-194.
4. 小野直子、稲田浩子、西村真二、古賀友紀、山元英崇、横山良平. VincristineとActinomycin-D

による化学療法のみで患肢温存が可能であった乳児繊維肉腫の一例. 日本小児血液・がん学会雑誌. 第59巻1号p.44-49. 2022

(学会・研究会発表)

1. 岩永晃、小路梓、伊東優哉、飯田千晶、力武菜穂子、江藤潤也、熊本愛子、前田寿幸、西村真二、在津正文. 鶏の食物経口負荷試験における負荷量の陽性予測因子の検討. 第90回佐賀小児科地方会. 2022.4.24. 佐賀市(オンライン開催)
2. 岩永晃. 食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応. 佐賀県教育センター研修初任者実践研修 I. 2022.6.6. 佐賀市
3. 前田寿幸. 医療ケア児を診る 緊急時のアセスメントとその対応. 第15回小児在宅医療実技講習会. 2022.6.26. 佐賀市
4. 岩永晃. 基礎から学んで現場に活かす! ~子どものアレルギーと感染症~. 佐賀県看護教育研修会. 2022.7.3. 佐賀市
5. 測上真穂. COVID-19感染母体の分娩の現状. 佐賀大学小児科クリニカルカンファレンス. 2022.7.5. 佐賀市
6. 飯田美穂、岩永学、富野広通. 芽球消失後も肝障害の増悪を認めた一過性骨髄増殖症 (TAM) の1例. 第58回日本周産期・新生児学会学術集会. 2022.7.10-12. 横浜市
7. 飯田美穂、萩野明日香、島田里美、中村圭佑、一ノ瀬文男、垣内俊彦、吉岡史隆、円城寺しづか、松尾宗明. 顔貌異常を契機に診断に至り、経静脈および脳室内酵素補充療法中のMPS II型の1例. 第18回九州先天代謝異常研究会. 2022.7.23. 福岡市
8. 岩永晃、飯田美穂、測上真穂、伊東優哉、江藤潤也、熊本愛子、前田寿幸、西村真二、一ノ瀬文男. 卵黄によるFood Protein-induced Enterocolitis Syndromeの一例. 第91回佐賀小児科地方会 第215回日本小児科学会長崎地方会合同地方会. 2022.7.24. 佐賀市(オンライン開催)
9. 前田寿幸. 染色体・遺伝疾患. 第2回小児科専攻医合同勉強会. 2022.11.5. 佐賀市
10. 張雨萌、岩永晃、熊本愛子、前田寿幸、西村真二、山内健. 川崎病の治療経過中に小腸イレウスを合併した一例. 川崎病教育WEBセミナーin 福岡. 2022.11.10. 福岡市
11. 伊東優哉、江藤潤也、水上朋子、飯田美穂、納所哲也、測上真穂、中林結子、熊本愛子、前田寿幸、西村真二. 新生児期より血統高値を呈したMODY 2の乳児例. 第92回佐賀小児科地方会. 2022.12.4. 佐賀市(オンライン開催)
12. 飯田美穂、納所哲也、伊東優哉、測上真穂、中林結子、岩永晃、熊本愛子、前田寿幸、西村真二. COVID-19流行下における気管支喘息入院症例の動向について. 第92回佐賀小児科地方会. 2022.12.4. 佐賀市(オンライン開催)
13. 岩永晃. 小児食物アレルギーの考え方と保育園における対応. 佐賀市私立保育園会 (WEB). 2023.1.12. 佐賀市(オンライン開催)
14. 納所哲也、峰松伸弥、土井大人、熊本崇、田代克弥、松尾宗明. 抗凝固薬内服中に腹痛・腹部膨満を契機に発見された卵巣出血の2例. 第24回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会. 2023.1.13-15. 松山市
15. 岩永晃、飯田美穂、森田駿、川崎祥平、在津正文. COVID-19流行下における気管支喘息入院症例の動向とCOVID-19入院症例における気管支喘息の影響. 第5回日本アレルギー学会九州・沖縄支部地方会. 2023.2.11. 鹿児島市
16. 西村真二. 保険審査の話題 ~九州小児科医会審査員連絡協議会より~. 第287回佐賀小児プライマリーケアカンファレンス. 2023.2.24. 佐賀市
17. 納所哲也. 最近経験した乳児期早期の細菌性髄膜炎の2例. 第288回佐賀小児プライマリーケアカンファレンス. 2023.3.24. 佐賀市
18. 飯田美穂. カルバマゼピンが著効した発作性運動誘発ジスキネジアの1例. 第288回佐賀小児プライマリーケアカンファレンス. 2023.3.24. 佐賀市

泌尿器科

(学会発表)

1. 武富英典、三浦章成、井上裕之、佐藤暢晃、諸隈太. 脈絡膜転移を来した進行前立腺癌の1例. 第310回日本泌尿器科学会福岡地方会. 2022.7.23. 福岡市
2. 三浦章成、武富英典、井上裕之、佐藤暢晃、諸隈太. 尿路結石の再発を繰り返し治療に難渋している馬蹄腎の1例. 第32回日本尿路結石症学会. 2022.7.29. 福岡市
3. 諸隈太、武富英典、三浦章成、井上裕之、佐藤暢晃、貞嶋栄司. 当院におけるTULの術後stone freeに影響を与える因子に関する検討. 第32回日本尿路結石症学会. 2022.7.30. 福岡市
4. 武富英典、三浦章成、井上裕之、佐藤暢晃、諸

隈太. 膀胱内異物の1例. 第82回佐賀県泌尿器科懇話会. 2022.9.24. 佐賀市

5. 諸隈太、武富英典、三浦章成、井上裕之、佐藤暢晃. 当院におけるロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術(RAPN)の初期経験. 第74回西日本泌尿器科学会総会. 2022.11.5. 北九州市
6. 井上裕之、武富英典、三浦章成、佐藤暢晃、諸隈太. 外傷性精巣脱出症の一例. 第87回日本泌尿器科学会佐賀地方会. 2022.12.17. 佐賀(オンライン開催)
7. 佐藤暢晃、武富英典、三浦章成、井上裕之、諸隈太. irAE胆管炎にミコフェノール酸モフェチルが有効であった腎癌の一例. 第311回日本泌尿器科学会福岡地方会. 2023.2.4. 北九州市

産婦人科

(著書)

1. 横山正俊、光貴子、橋口真理子. がんに対するワクチン 子宮頸がん. 臨牀と研究 特集: 予防接種 Update-beyond COVID-19, 99(4)463-469. 2022.4

(論文(原著))

1. Takako Hikari, Atsuko Honda, Mariko Hashiguchi, Ryoichi Okuma, Makiko Kurihara, Asako Fukuda, Emi Okuma, Yoshifumi Nakao and Masatoshi Yokoyama. The difference in the effectiveness of human papillomavirus vaccine based on smoking status. J. Obstet. Gynaecol. Res. Vol. 48, No. 7: 1859-1866, July 2022.
2. 神下優、門田千穂、光貴子、八並直子、金井督之、室雅巳、安永牧生. 当院における鏡視下手術の合併症の検討. 佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医会誌. 第34号P 36-41. 2023.3.1

(総説)

1. 横山正俊、光貴子. —HPVワクチン接種再開に向けて— 佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医会誌. 第34号P 30-35. 2023.3.1

(症例報告)

1. 八並直子、神下優、安永牧生. 外科的管理を行なった非産科的外傷性外陰血腫の3例. 日本女性医学学会雑誌 第29巻第2号P280-284. 2022.1
2. 光貴子、神下優、山内祐樹、中山幸彦、八並直子、金井督之、安永牧生. 腹腔鏡下子宮筋腫手術後に発生したdisseminated peritoneal leiomyomatosis;

DPLの2例. 日本産科婦人科内視鏡学会誌. 第38巻第2号75-81. 2022.1.4

3. 光貴子、山内祐樹、神下優、八並直子、北川早織、中山幸彦、金井督之、安永牧生: 腹腔鏡下に子宮全摘を完遂した子宮頸部筋腫の1例. 佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医会誌第33号P26-29. 2022.3.1

(学術発表)

1. 神下優、門田千穂、光貴子、八並直子、金井督之、室雅巳、安永牧生. 当院における鏡視下手術の合併症の検討. 佐賀産婦第225回学術研修会. 2022.7.3. 佐賀
2. 室雅巳、金井督之、八並直子、神下優、光貴子、門田千穂、安永牧生. 妊婦の新型コロナウイルス感染症~佐賀県のこれまで(2). 佐賀産婦第225回学術研修会. 2022.7.3. 佐賀
3. Hikari Takako, Nakao Yoshifumi, Hashiguchi Mariko, Yasunaga Makio, Ookuma Emi, Ookuma Ryoichi, Umezaki Yasushi, Fukuda Asako, Tokunaga Mariko, Hideshima Misako, Kurihara Makiko, Yokoyama Masatoshi. The difference in the effectiveness of HPV vaccine based on smoking status. 第74回日本産科婦人科学会学術講演会. 日産婦誌74巻臨時増刊号P S-171. 2022.8.5-7. 福岡
4. 神下優、安永牧生、金井督之、光貴子. 当院および佐賀県における子宮体がん腹腔鏡手術の現状と課題. 第60回日本癌治療学会学術集会. 2022.10.22. 神戸
5. 神下優、吉武薫子、八並直子、金井督之、室雅巳、安永牧生. GelPOINT V-Path®を利用した腹腔鏡下腔式子宮全摘術の経験とその検討. 佐賀産婦第226回学術研修会. 2022.12.3. 佐賀
6. 八並直子. 当院での婦人科悪性腫瘍術後患者に対する漢方処方. 2022年度佐賀大学学内講演会 Gynecological Cancer × Kampo Seminar. 2023.3.6. 佐賀

眼科

(論文)

1. Asahi Tajima, Yukio Sassa, Daiki Ishio, Shota Yamashita, Eiji Sadashima, Ritsuki Arai, Kentaro Iwanaga, Koh-Hei Sonoda, Hiroshi Enaida. Clinical features of 26 cases of COVID-19-associated conjunctivitis. Japanese Journal of

Ophthalmology in press.

2. 佐々由季生. 『糖尿病ケアについて』 - 糖尿病網膜症 -. 佐賀市医師会報 2, Vol.558 p7-8, 2023

(学会発表)

1. 田島旭、佐々由季生、石尾大樹、山下翔太、貞嶋栄司、新井律樹、江内田寛. COVID-19関連結膜炎26例の臨床像. 六大学研究会. 2022.9. 福岡市
2. 田島旭、佐々由季生、石尾大樹、山下翔太、貞嶋栄司、新井律樹、江内田寛. COVID-19関連結膜炎26例の臨床像. 第76回日本臨床眼科学会. 2022.10.16. 東京
3. 永浜布美子. ワルファリン投与によりPTINRが過延長し大量網膜下出血を来した1例. 第22回有明眼科懇話会. 2023.3.11. 久留米市

(講演)

1. 佐々由季生. 『糖尿病ケアについて』 - 糖尿病網膜症 -. 第124回市民糖尿病教室. 2022.11.19. 佐賀市

耳鼻いんこう科

(論文・執筆)

1. 田中成幸、宮崎純二、山内盛泰、倉富勇一郎. 頸部に発生した異所性胸腺腫症例. 耳鼻と臨床 69(1):53-61. 2023.1
2. 井野輔久、江頭絵里奈、朝長礼音、岸川まり子、陣野智昭、宮崎純二、増田正憲、森大輔、原野由美、吉村達. 原発性副甲状腺機能亢進症を合併したバセドウ病の一例. 佐賀市医師会報 559:4-8. 2023.3

(学会発表)

1. 田中成幸、緒方政彦、宮崎純二、山内盛泰、倉富勇一郎. 穿刺吸引細胞診で乳頭癌が疑われた、乳頭癌様核を有する非浸潤性甲状腺濾胞性腫瘍 noninvasive follicular thyroid neoplasm with papillary-like nuclear features (NIFTP) の1例. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会九州連合地方部会学術講演会. 2022.7.17. 那覇市
2. 嶋崎絵里子、宮崎純二、陣野智昭. 非反回下喉頭神経を伴った甲状腺腫瘍の1例. 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会佐賀県地方部会学術講演会. 2022.12.3. 佐賀市

皮膚科

(論文・執筆)

1. 永瀬浩太郎. メルケル細胞ポリオーマウイルスとメルケル細胞癌. Visual Dermatology. 21(10):1009-1011, 2022.9
2. 永瀬浩太郎. 紫外線と皮膚がん. 日臨皮会誌. 39(6):739-743, 2022.11
3. 永瀬浩太郎. 皮膚がん・転移性皮膚腫瘍. レジデントノート. 24(14)増刊:151-161, 2022.12

(学会・研究会発表)

1. 永瀬浩太郎. 日常診療においてオルミエントが対象となる患者増. Dermちゃんねる. 2022.10.26. 佐賀市
2. 永瀬浩太郎. ポリオーマウイルスとメルケル細胞癌. 第73回日本皮膚科学会中部支部学術大会. 2022.10.30. 富山市
3. 永瀬浩太郎. アトピー性皮膚炎におけるオルミエントの使いどころ. Dermちゃんねる. 2022.12.5. 佐賀市
4. 永瀬浩太郎. 右上腕の有痛性皮下結節. 第33回佐賀県臨床皮膚科医会. 2022.12.10. 佐賀市
5. 永瀬浩太郎. アトピー性皮膚炎における全身療法役割とタイミング. 唐津市AD治療を考える会. 2023.2.22. 唐津市
6. 永瀬浩太郎. メルケル細胞癌の臨床的特徴. 日本皮膚科学会第404福岡地方会. 2023.3.5. 福岡市
7. 永瀬浩太郎. パドセブによる皮膚障害とそのマネージメント. PADCEV safety management in Kumamoto. 2023.3.16. 熊本市

(メディア)

1. 永瀬浩太郎. いきいきヘルシーヒント「手荒れ(1)」。2022.10.19. サガテレビ
2. 永瀬浩太郎. いきいきヘルシーヒント「手荒れ(2)」。2022.10.26. サガテレビ

放射線科

(学会・研究会発表)

1. 大塚徹、岸川浩尚、前村大将、森田孝一郎、安座間真也、相部仁. 胆石イレウスの一例. 第728回福岡レントゲンアーベント. 2022.4.8. オンライン開催
2. 森田孝一郎、相部仁、安座間真也、西原雄之介、岸川浩尚. 教育講演35: 消化管ヘルニアの画像診

- 断. 第81回日本医学放射線学会総会. 2022.4.17. 横浜市(オンライン開催)
3. 大塚徹、相部仁、安座間真也、森田孝一郎、前村大将、岸川浩尚、肝胆膵内科：村山賢一郎、血液内科：近藤誠司、病理：増田正憲. 肝原発悪性リンパ腫の一例. 第195回日本医学放射線学会九州地方会. 2022.6.18. 福岡市
 4. 岸川浩尚、森田孝一郎、安座間真也、前村大将、大塚徹、相部仁、泌尿器科：佐藤暢晃、病理：森大輔. 転座型腎細胞癌の一例. 第195回日本医学放射線学会九州地方会. 2022.6.18. 福岡市
 5. 大塚徹、岸川浩尚、前村大将、森田孝一郎、安座間真也、相部仁. 胃石による食餌性腸閉塞の一例. 第729回福岡レントゲンアーベント. 2022.7.8. オンライン開催
 6. 岸川浩尚、安座間真也、森田孝一郎、前村大将、大塚徹、相部仁. CVポート長期留置後カテーテル断裂に対してポート抜去および異物除去を施行した2例. 第53回福岡IVRカンファレンス. 2022.7.22. オンライン開催
 7. 大塚徹、岸川浩尚、前村大将、森田孝一郎、安座間真也、相部仁. Diffuse midline gliomaの一例. 第732回福岡レントゲンアーベント. 2022.9.9. オンライン開催
 8. 森田孝一郎、安座間真也、岸川浩尚、前村大将、大塚徹、相部仁. 左腸骨動脈瘤に対して塞栓術を施行した1例. 第54回福岡IVRカンファレンス. 2022.9.30. オンライン開催
 9. 森田孝一郎、安座間真也、岸川浩尚、前村大将、大塚徹、相部仁. 非閉塞性腸管虚血の一例. 第55回福岡IVRカンファレンス. 2022.11.25. オンライン開催
 10. 大塚徹、岸川浩尚、前村大将、森田孝一郎、安座間真也、相部仁. メッケル憩室結石の一例. 第735回福岡レントゲンアーベント. 2022.12.9. オンライン開催
 11. 岸川浩尚、安座間真也、森田孝一郎、前村大将、大塚徹、相部仁. 気管支動脈蔓状血管腫に対して気管支動脈と肺動脈よりアプローチし塞栓を行った一例. 第44回九州IVR研究会. 2022.12.17. 福岡市
 12. 大塚徹、岸川浩尚、前村大将、森田孝一郎、安座間真也、相部仁. 部分肺静脈還流異常の一例. 第737回福岡レントゲンアーベント. 2023.2.10. オンライン開催
 13. 大塚徹、安座間真也、森田孝一郎、前村大将、岸川浩尚、相部仁、消化器外科：三宅修輔、病理

- 診断科：森大輔、増田正憲. 壊死型虚血性大腸炎に穿孔をきたした1例. 第196回日本医学放射線学会九州地方会. 2023.2.12. 久留米市
14. 大塚徹、岸川浩尚、前村大将、森田孝一郎、安座間真也、相部仁. Petersen's herniaによる小腸捻転の一例. 第738回福岡レントゲンアーベント. 2023.3.10. オンライン開催
 15. 森田孝一郎、安座間真也、前村大将、岸川浩尚、大塚徹、相部仁. 気管支動脈冠動脈起始症の1例. 第56回福岡IVRカンファレンス. 2023.3.24. オンライン開催

麻酔科

(論文)

1. Haruna Miyazaki, Daisuke Miura, Yukie Koguchi, Chihiro Takamatsu, Yoshiro Sakaguchi. Intraoperative serum catecholamine levels in a pregnant woman with pheochromocytoma undergoing cesarean delivery with combined spinal-epidural anesthesia: a case report. *Cureus*. 14(5): e24727. doi:10.7759/cureus.24727
2. Masatsugu Hiraki, Toshiya Tanaka, Mika Koga, Daisuke Miura, Eiji Sadashima, Hirofumi Sato, Shinji Mitsumizo, Kenji Kitahara. A clinical risk analysis of postoperative nausea and vomiting after colorectal cancer surgery. *Journal of Coloproctology*. 42(03): 203-209: 2022

(学会発表)

1. 田代卓、三浦大介、力武千晶、野口洋、草場真一郎、久我公美子、田代直規、馬場麻里子、諸隈明子. ベゼルフェューザーを用いた多孔式カテーテルによる流量ごとの薬液流出の検討. 日本区域麻酔学会第9回学術集会. 2022.4.16. 宜野湾市
2. 力武千晶、草場真一郎、馬場麻里子、諸隈明子、三浦大介. 術前に第11因子欠乏症と診断された妊婦の帝王切開の1例. 九州麻酔学会第60回大会. 2022.9.2. オンライン開催
3. 野口洋、三浦大介、馬場麻里子、草場真一郎. 開心術における透析患者の術前除水量の検討. 日本心臓血管麻酔学会第27回学術集会. 2022.9.17. 京都市
4. 野口洋、三浦大介、草場真一郎. 先天性胆道拡張症による胆道穿孔・胆汁性腹膜炎の麻酔経験. 日本小児麻酔学会第27回学術集会. 2022.10.8. 岡山市

5. 天本啓介、小柳幸、佐々木莉奈、上村裕太郎、藤田愛、賀来真里子、住吉理絵子、泉薫、水野圭一郎。カテコラミン誘発多形性心室頻拍を合併した小児に対する歯科処置の麻酔経験。日本小児麻酔学会第27回学術集会。2022.10.8. 岡山市
6. 満岡大貴、小川哲史、下村聡美、三浦大介。特定行為研修修了後の手術部における集中トレーニングの効果。日本医療マネジメント学会第20回九州・山口連合大会。2022.11.5. 鹿児島市
7. 森永智子、安河内咲良、三浦大介。耳鼻咽喉科手術におけるPONVリスク因子と予防法がPONV発生率に与える影響についての検討。日本臨床麻酔学会第42回大会。2022.11.12. 京都市

(講演)

1. 三浦大介。小児の鎮痛と鎮静。日本小児科学会第15回小児在宅医療実技講習会。2022.6.26. 佐賀市

歯科口腔外科

(学会発表)

1. 松尾悠未、野口信宏。当院歯科口腔外科および関連歯科医院にて発生した新型コロナウイルス感染への対応。第67回日本口腔外科学会総会・学術大会。2022.11.4-6. 千葉
2. 野口信宏、松尾悠未。Ⅱ級顎間ワイヤー牽引が有用であった両側下顎頸部骨折治療の1例。第67回日本口腔外科学会総会・学術大会。2022.11.4-6. 千葉

精神科

(論文・執筆)

1. Takashi Sunami, Ryuhei So, Hironobu Ishii, Eiji Sadashima, Takefumi Ueno, Takefumi Yuzuriha, Akira Monji. A randomized controlled trial of the web-based drinking diary program for problem drinking in multi workplace settings. Journal of occupational health. 64(1) e12312
2. 角南隆史、宋龍平。減酒指導における飲酒に関する目標の立て方。日本アルコール関連問題学会雑誌。24(1), 119-123
3. 角南隆史。【精神科臨床ライブ】(第13章)精神科救急事態「夜に眠れず、落ち着かず、壁に文字が書いてありました」アルコール離脱せん妄/けいれん。精神科治療学。37(増刊), 308-311

4. 角南隆史。【依存症治療の現在】総合病院で減酒外来を始めてみたら。精神医療 第5次 (6)54-62

(学会・講演会)

1. 石井博修。好生館精神科のリエゾンと外来における睡眠薬の選択。不眠症webセミナー。2022.5.25. 佐賀市
2. 石井博修。高齢者のうつ病と自殺へのアプローチ。佐賀県ゲートキーパー養成研修会。2022.9.7
3. 角南隆史。アルコール依存症の医療連携。2022年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会。2022.9.9. 宮城県
4. 角南隆史。ないないづくしの総合病院でも始められる『アルコール・チーム医療』。第35回日本総合病院精神医学会総会。2022.10.29. 東京都
5. 角南隆史。あなたの飲酒量をチェック！～SNAPPYプログラムのご紹介～。好生館医学会。2022.11.17. 当館
6. 角南隆史。アルコール性肝障害とハームリダクションの可能性。第42回アルコール医学生物学研究会学術集会。2023.2.3. 千葉県
7. 石井博修。当院における精神科リエゾンチームの取り組み。お昼の不眠症セミナー。2023.3.29. 佐賀市

看護部門

(執筆)

1. 草場智恵子. 新人・苦手、初任者のための手術看護知識・技術の教育と学習 深部静脈血栓症の予防. 手術看護エキスパート2022. 第16巻第1号 36-41. 2022.5

(学会発表)

1. 糸山彩子、有馬浩史、江口忍. ICUにおけるMDRPU発生予防に向けた取り組み. 第19回日本褥瘡学会九州・沖縄地方会学術集会. 2022.5.14. 宮崎
2. 稗田文代、山口文美、三好恵美子、福岡麻美. 新型コロナウイルス感染症からすべての職員を守る多角的戦略. 第37回日本環境感染学会総会・学術集会. 2022.6.16-18. 神奈川
3. 俵由里子. 当院における周産期メンタルヘルスの現状と課題. 第25回佐賀母性衛生学会. 2022.6.18. 佐賀
4. 田中由美、佐藤裕美、内田陽一郎、井上真弓. 救命救急センターにおける特定行為研修修了者の活動. 第26回日本救急医学会九州地方会. 2022.6.25. 熊本
5. 馬渡修平、北川誠也、井上真弓. 救急領域パッケージ研修修了者の救急外来での役割. 第26回日本救急医学会九州地方会. 2022.6.25. 熊本
6. 古賀ハルミ、山口直美、池末峰子、犬走香織、淵野美紘、富永直之、緒方伸一. 内視鏡室で行う鎮静下胃ESD～プロポフォール使用に伴う安全対策～. 第81回九州消化器内視鏡技師学会. 2022.6.25. 佐賀
7. 古川佳子、宮地由美子、佐伯悦子. A病院看護職キャリアラダーに連動したSCU研修計画の成果. 第24回日本医療マネジメント学会学術総会. 2022.7.8-9. 兵庫
8. 宮地由美子、佐伯悦子. 暫定レベルの自己評価から見えた看護職の能力開発の課題. 第24回日本医療マネジメント学会学術総会. 2022.7.8-9. 兵庫
9. 潤之上詠士、松尾希望、荒木将晴、有馬浩史、辻希代子、三溝慎次、古賀美佳. ABCDEFバンドルを実践した当院ICUの離床率の実態. 日本集中治療医学会第6回九州支部学術集会. 2022.7.23-24. 鹿児島
10. 馬渡修平、北川誠也、井上真弓. 特定行為により人工呼吸器を早期離脱した一例. 第44回佐賀救急医学会. 2022.10.1. 佐賀
11. 満岡大貴、小川哲史、下村聡美、三浦大介. 特定行為研修修了後の手術部における集中トレーニングの効果. 日本医療マネジメント学会第20回九州・山口連合大会. 2022.11.4-5. 鹿児島
12. 藤原友紀、佐伯悦子. 診療報酬上必要な入院時リスク評価を簡便に行うためのシステム構築. 日本医療マネジメント学会第20回九州・山口連合大会. 2022.11.4-5. 鹿児島
13. 菱岡純子、山口文美、稗田文代、永石浩子、福岡麻美、佐伯悦子、佐藤清治. 当館職員における新型コロナウイルス感染症の現状. 第60回全国自治体病院学会in沖縄. 2022.11.10-11. 沖縄
14. 光富祐美、三好恵美子. 新型コロナウイルス感染症妊婦の受け入れ体制振り返り. 第60回全国自治体病院学会in沖縄. 2022.11.10-11. 沖縄
15. 江口恵実、池田恵子. 医師から看護師へのタスクシフト～植え込み型CVポート穿刺への取り組み. 第60回全国自治体病院学会in沖縄. 2022.11.10-11. 沖縄
16. 金丸美里、寺田恭巳子. 超高齢HFpEF患者に対してハートケアプログラムを行った一例. 第8回日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会. 2022.11.12. 宮崎
17. 中原正稔. 自律性スピリチュアルペインの限界. 第46回日本死の臨床研究会年次大会. 2022.11.26. 三重
18. 大坪千夏、金原直美、水田将人、松本圭一郎、中村恵. 血液透析患者に共同意思決定を実践し腹膜透析へ移行した一例. 第54回九州人工透析研究会総会. 2022.12.11. 沖縄
19. 平井小百合. 働き方改革、タスクシフト・シェアへの取り組み 血管造影室での看護師の役割. 第44回九州IVR研究会. 2022.12.17. 福岡
20. 諸泉かおり、金原直美、岩永由香、大坪千夏、宮地雪菜. 腹膜透析導入患者の外来から始める退院支援～腹膜透析の対応経験がない施設へ繋いだ一事例～. 第92回佐賀県人工透析懇話会学術集会. 2023.2.9. 佐賀
21. 金原直美. チームで行う腹膜透析患者受け入れ体制の構築. 日本医療マネジメント学会第19回佐賀支部学術集会. 2023.2.18. オンライン開催
22. 神田治美. 人工呼吸器離脱困難症例に対する医療チーム内での特定行為研修修了者の関わり～患者・家族の意向に寄り添った看護～. 日本医療マネジメント学会第19回佐賀支部学術集会. 2023.2.18. オンライン開催

23. 貞島梓未、大越千恵、野口奈津、日高典子. 母
児分離となった新型コロナウイルス感染症関連褥
婦に対する取り組み. 日本医療マネジメント学会
第19回佐賀支部学術集会. 2023.2.18. オンライン
開催
24. 寺川明李、江副直子、小野由喜子、中原正稔、
江頭真李香. 広範囲な皮膚転移を有する末期乳が
ん患者の創部ケアの一症例～在宅治療に向けた看
看連携を通して～. 第20回日本乳癌学会九州地方
会. 2023.3.4-5. 佐賀
25. 藤木優、金丸美里、寺田恭己子、吉田敬規、挽
地裕. 当館の心不全教育入院「ハートケアプログ
ラム」の導入による効果. 第87回日本循環器学会
学術集会. 2023.3.10-12. 福岡
26. 山口恵、金原直美、横田友美、米原悠子、荒木
美穂. 効果的なICT利活用に向けた取り組み～血
糖インスリン管理システムの適切な活用～. 2022
年度第41回佐賀県看護研究学会. 2023.3.11. 佐賀
27. 花房喜代治、佐伯悦子. コロナ禍における看護
師のメンタルヘルスの影響について. 2022年度第
41回佐賀県看護研究学会. 2023.3.11. 佐賀
28. 野中佑弥、野崎いのり、西村優理、徳永香里、
井上真弓. 「患者別口腔ケアプラン実施表」を用い
た口腔内環境改善の効果. 2022年度第41回佐賀県
看護研究学会. 2023.3.11. 佐賀

診療支援部門

薬剤部

(学会発表)

1. 徳永晃. 院内製剤(20%自己血清点眼液)の使用状況と薬剤師の関わり－院内製剤【薬のしおり】による情報提供とフォローアップの成果－. 第81回九州山口薬学大会. 2022.9.19. 熊本
2. 黒部健太郎. 薬剤師外来の評価についての医師へのアンケート調査. 第32回日本医療薬学会年会. 2022.9.23. 群馬
3. 宮原強. 消化器外科領域における周術期せん妄対策への薬剤師の取り組みと評価. 第32回日本医療薬学会年会. 2022.9.23. 群馬
4. 黒部健太郎. 乳癌患者に対するトラスツズマブによるInfusion reactionの発現に関与する因子の検討. 第20回日本乳癌学会九州地方会. 2023.3.5. 佐賀

(講演)

1. 草葉一友. 新型コロナウイルス感染症の感染対策とワクチン接種について. 2022年度学校薬剤師研修会. 2022.5.14. 佐賀
2. 黒部健太郎. トレーシングレポートの活用法と、CapeOX療法の具体的なフォローについて. 第3回好生館薬剤部がん化学療法連携セミナー. 2022.6.23. オンライン開催
3. 黒部健太郎. 外来がん化学療法の質向上を目指した取り組み～CIPNの管理を含めて～. がん診療に役立つがん疼痛薬物療法セミナー. 2022.12.2. オンライン開催
4. 草葉一友. 感染症対策 新型コロナウイルス感染症/5類移行が意味するもの. 2022年度薬剤師継続学習通信教育講座. 2023.3.12. 佐賀
5. 黒部健太郎. カペシタピンを含むレジメンと手足症候群のマネジメント. 佐賀県病院薬剤師会—佐賀県薬剤師会合同研修会 第3回がん薬物療法薬薬連携研修会. 2023.3.18. 佐賀

医療安全管理部

(学会発表)

1. 内藤光三、山口雅子、倉谷実希、徳島香奈、武田雄二、森大輔、佐藤清治. 全死亡症例の検証と病院管理者への報告システム. 第72回日本病院学会. 2022.7.8. 鳥根

2. 山口雅子、内藤光三、倉谷実希、徳島香奈. 放射線診断レポートの見逃し防止システムの有効性と問題点. 第24回日本医療マネジメント学会学術総会. 2022.7.8. 神戸
3. 内藤光三、武田雄二、山口雅子、倉谷実希、徳島香奈、馬場英明. 医師からのインシデント・アクシデント報告と医療安全文化醸成について. 日本医療マネジメント学会第20回九州山口連合大会. 2022.11.4. 鹿児島

(講演)

1. 内藤光三. 医療安全と医療の質改善活動～好生館からの報告～. 佐賀県医師会医療安全・院内感染防止対策 医療従事者研修会. 2022.9.29. 佐賀
2. 内藤光三. 医療安全と医療の質改善活動～オール佐賀で医療の安全確保と質改善を目指すには～. サンテ溝上病院 医療安全研修会. 2022.10.19. 佐賀

感染制御部

(論文)

1. 谷口弦太郎、福岡麻美. 蜂刺傷として加療されていた日本紅斑熱の1例. 佐賀市医師会会報. Vol. 549, 3-6, 2022.5
2. M.Hara, T. Furue, M. Fukuoka, et al. Real-world effectiveness of the mRNA COVID-19 vaccines in Japan: A case-control study. Vaccine. Vol.10(5): 779, 2022.5
3. 山口健太、佐野由佳理、田口舜、香月万葉、平野敬之、安波道郎、福岡麻美、草場耕二. *Staphylococcus condimentii* と *Staphylococcus piscifermentans* との鑑別に苦慮したカテーテル関連血流感染の1例. 日本臨床微生物学会雑誌. Vol.32(3): 20-25, 2022.6
4. 香月万葉、山口健太、田口舜、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. *Corynebacterium riegelii* による閉塞性尿路感染症により高アンモニア血症、意識障害をきたした1例. 日本臨床微生物学会雑誌. Vol.32(4): 53-57, 2022.9

(学会・研究会発表)

1. 稗田文代. 新型コロナ最新の情報と在宅で対応できる感染症対策. 令和4年度第1回佐賀県訪問看護サポートセンター研修会. 2022.5.14. 佐賀県
2. 佐野由佳理、矢野智彦、田口舜、香月万葉、山口健太、平野敬之. SBL産生 *Edwardsiella tarda*

- による菌血症の1症例. 第71回日本医学検査学会. 2022.5.21. 大阪府(オンライン開催)
3. 田口舜、山口健太、矢野智彦、香月万葉、佐野由佳理、平野敬之. 継続する菌血症患者より分離された *Dysgonomonas* sp. の1症例. 第71回日本医学検査学会. 2022.5.21. 大阪府(オンライン開催)
 4. 稗田文代、山口文美、三好恵美子、福岡麻美. 新型コロナウイルス感染症からすべての職員を守る多角的戦略. 第37回日本環境感染学会総会・学術集会. 2022.6.17. 神奈川県(オンライン開催)
 5. 香月万葉、山口健太、矢野智彦、田口舜、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. 当館における「rapidBACpro II」を用いた、血液培養陽性検体の迅速同定検査の検討. 第33回臨床微生物迅速診断研究会総会. 2022.7.2. 愛媛県
 6. 田中康弘、福岡麻美、武富光希、佐野雅彦、八頭司正稔、小塩和人. 当館における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)治療薬の使用動向. 第70回日本化学療法学会西日本合同支部会. 2022.11.3. 長崎県
 7. 武富光希、田中康弘、佐野雅彦、八頭司正稔、小塩和人、福岡麻美. 当館入院患者における経口抗菌薬適正使用についての取り組みと成果. 第70回日本化学療法学会西日本合同支部会. 2022.11.3. 長崎県
 8. 矢野智彦、佐野由佳理、田口舜、香月万葉、山口文美、菱岡純子、稗田文代、福岡麻美、佐藤清治. 遺伝子検査を用いた新型コロナウイルス入院時スクリーニング検査の現状. 第60回全国自治体病院学会. 2022.11.11. 沖縄県
 9. 菱岡純子、山口文美、稗田文代、永石浩子、福岡麻美、佐伯悦子、佐藤清治. 当館職員における新型コロナウイルス感染の現状. 第60回全国自治体病院学会. 2022.11.11. 沖縄県
 10. 田口舜. 臨床医・検査技師とのコミュニケーション. 感染症対策・未来創造ミーティング. 2022.11.12. 東京都(オンライン開催)
 11. 稗田文代. うつらない! うつさない! ~正しく知って感染予防~. 2022年度佐賀県看護協会研修会. 2022.11.15. 佐賀県
 12. 佐野由佳理、矢野智彦、田口舜、香月万葉、山口健太、福岡麻美. 血液培養陽性菌の薬剤感受性検査における各種判定基準での妥当性評価と臨床治療効果の関連性. 第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 2023.2.5. 神奈川県
 13. 田口舜、山口健太、泉朱里、矢野智彦、香月万葉、佐野由佳理、平野敬之、安波道郎、福岡麻

美. *Rothia dentocariosa*による人工弁感染性心内膜炎・多発脳膿瘍の一症例. 第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 2023.2.5. 神奈川県

14. 山口健太、佐野由佳理、矢野智彦、田口舜、香月万葉、平野敬之、安波道郎、福岡麻美. 血液培養自動分析装置バクテアラートVIRTUO 導入前後における嫌気性菌検出状況の比較検討. 第34回日本臨床微生物学会総会・学術集会. 2023.2.5. 神奈川県

医療情報部

(学会発表)

1. 原田智可、光石はつみ、宮地宏昭、吉武真由子、森大輔. 当院におけるがん家族歴聴取の調査. 日本がん登録協議会第31回学術集会. 2022.6.2. 松本市(オンライン開催)
2. 宮地宏昭、光石はつみ、森大輔. 持続可能ながん登録事務. 日本医療マネジメント学会佐賀支部学術集会. 2023.2.18. オンライン開催
3. 長友篤志、田中聡也、白羽根健吾. 「ピカピカリンク」の運用の効果~平時の連携に加え救急・災害医療にも資するツールを目指して~. 第20回日本乳癌学会九州地方会. 2023.3.4. 佐賀市

Medical Link Office

(学会発表)

1. 八板謙一郎、山中麻衣、灘吉幸子、三池寿明、寺山陽史、竹内宏樹、林健一. 福岡市の市中病院感染症科で診療/コンサルテーションを行った外国人症例の解析. 第63回日本熱帯医学会大会 第26回日本渡航医学会学術集会(合同開催). 2022.10.9. 別府市
2. 松石英城. Re born !! 薬剤人(腎)共に Potentially Inappropriate Medication [PIM]s に立ち向かおう. 第16回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会. 2022.10.29. 長崎市
3. 八板謙一郎. SARS-CoV-2と世界. 第92回日本感染症学会西日本地方会学術集会 第65回日本感染症学会中日本地方会学術集会 第70回日本化学療法学会西日本支部総会(合同開催). 2022.11.5. 長崎市

総合教育研修センター

(1) 総合教育研修センター医師部門：学会発表・医療従事者研修会等

A. (口演～ポスター発表)

1. 藤田尚宏、甘利香織、松本康、小山敬、岩村高志. シミュレーション教育を取り入れた研修医勉強会の現状と課題 ～PoCUSの有用性～. 第25回 日本臨床救急医学会総会・学術集会. 2022.5.27. 大阪市
2. 藤田尚宏、甘利香織、松本康、小山敬、岩村高志. 自己修正にフォーカスを当てた養護教員向け心肺蘇生研修会の有用性と課題 —リアリティを持たせた研修会の模索—. 第26回 日本救急医学会九州地方会. 2022.6.25. 熊本市
3. 藤田尚宏、甘利香織、吉富有哉、松本康、小山敬、岩村高志. 研修医向け勉強会におけるシミュレーション教育手法の現状と課題. 第50回日本救急医学会総会・学術集会. 2022.10.19. 東京都
4. 藤田尚宏、伊東正広、甘利香織、小山敬. 心肺蘇生ガイドライン2020講習会におけるCCF競技をhigh quality CPRの面から再考する. 日本蘇生学会第41回大会. 2022.11.5. 熊本市
5. 藤田尚宏、松尾玲沙、甘利香織、古賀美佳、三溝慎次. シミュレーションを重視した研修医勉強会は、2年次のICU選択研修を増加させる. 第50回 日本集中治療医学会総会・学術集会. 2023.3.3. 京都市

B. (講義・講演会・Webinar・医療従事者研修会等)

1. 臨床研修医、藤田尚宏. 急性消化器疾患のトピックス. 旭化成ファーマ主催 研修医のための Relay Web Seminar. 2022.4.15. 札幌市(オンライン開催)
2. 臨床研修医、藤田尚宏. “研修医のため”の今知っておきたいCOVID-19のお話. 塩野義主催 研修医向けWEBカンファランス. 2022.4.19. 長崎市(オンライン開催)
3. 藤田尚宏. 医師臨床研修制度 最近の動向と働き方改革への対応. 第38回 臨床研修研究会. 2023.4.30. 大阪市(オンライン開催)
4. 臨床研修医、藤田尚宏. 小児の薬物誤飲のピットフォール、肩関節脱臼整復の留意点. EMA主催 研修医のための ERカルテットレクチャー. 2022.5.11. 千葉市(オンライン開催)
5. 藤田尚宏、伊東正広. AHAガイドライン2020準拠 ACLSコース インストラクター向けWEBセ

- ミナー. 日本ACLS協会主催 AHAコース 伝達講習会. 2022.5.14. 東京都(オンライン開催)
6. 藤田尚宏. 敗血症セミナー 2022 Beyond the J-SSCG2020 & SSCG2021 ～今後の敗血症診療を展望する～. 日本救急医学会主催 敗血症 Zoom Webinar. 2022.5.15. 東京都(オンライン開催)
7. 藤田尚宏. こんなとき血液内科 ～自身の経験を踏まえて～. 佐賀県総合診療研究会主催 第47回佐賀総合診療ケースカンファランス. 2022.5.18. 佐賀市(オンライン開催)
8. 臨床研修医、藤田尚宏. 急性胆管炎の診療と治療. 旭化成ファーマ主催 研修医のための Relay Web Seminar. 2022.5.20. 仙台市(オンライン開催)
9. 藤田尚宏. “診る”と“看る”の力をつけた看護の可能性と特定行為研修修了者の活用ガイド. 地域医療振興協会主催 JADEC COM 特定行為研修修了者の育成配置活用に関するWEBシンポジウム. 2022.5.21. 東京都(オンライン開催)
10. 藤田尚宏. 第6回 救急医のためのメディカルコントロールセミナー. 日本救急医学会主催 MC体制検討委員会. 2022.5.25. 東京都(オンライン開催)
11. 藤田尚宏. フィードバック機能付き高機能ACLSシミュレータを用いたインストラクター向けWEBセミナー. レールダルジャパン主催 AHA教育コース. 2022.5.28. 東京都(オンライン開催)
12. 藤田尚宏. ER×○○! 救急医療におけるERの多様性を考えるシンポジウム. EMA主催 SMAQ×EM Alliance 合同企画. 2022.6.4. 京都市(オンライン開催)
13. 藤田尚宏、甘利香織、菊池智美. 好生館⇄九州大学医学部附属病院 たすきかけ研修プログラムの特徴について. 九州大学医学部関連病院群 初期・後期研修に関する合同説明会. 2022.6.5. 福岡市
14. 臨床研修医、藤田尚宏. 急性期内科疾患の診断エラー学 ～非典型的肺動脈血栓栓症編～. EMA主催 研修医のための ERカルテットレクチャー. 2022.6.10. 東京都(オンライン開催)
15. 臨床研修医、藤田尚宏. 臨床研修医のための血ガスハンター. Dr.'s Prim主催 臨床研修医向け Webinar. 2022.6.14. 札幌市(オンライン開催)
16. 藤田尚宏. 考えながら読む 攻めの救急画像診断 ～あなたの命取りは患者の命取り～. EMA主催 第2回 Fujita Generalist Festival. 2022.6.16. 名古屋市(オンライン開催)
17. 藤田尚宏. 熊本地震に学ぶ災害対応 (熊本赤十

- 字病院 救命救急センターDr.奥本). 大塚製薬主催 九州沖縄災害対策セミナー. 2022.6.28. 熊本市(オンライン開催)
18. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三、佐藤清治. 令和4年度佐賀県臨床研修合同説明会および研修病院別臨床研修医の採用状況. 令和4年度第1回佐賀県臨床研修運営協議会. 2022.6.30. 佐賀市
 19. 臨床研修医、藤田尚宏. ERで役立つ! マイナー・エマージェンシー2. Dr.'s Prim主催 臨床研修医向けWebinar. 2022.7.6. 札幌市(オンライン開催)
 20. 藤田尚宏. 心不全の病態と輸液療法(名古屋大学医学部腎臓内科Dr.加藤). 大塚製薬主催 Otsuka 研修医 Webinar. 2022.7.7. 名古屋市(オンライン開催)
 21. 藤田尚宏. 敗血症性多臓器不全の病態と集中治療. 日本集中治療医学会主催 集中治療セミナー. 2022.7.8. 名古屋市(オンライン開催)
 22. 石丸聖人、古賀千晶、池田奈瑚、菊池智美、甘利香織、藤田尚宏. 初期研修医が答えます、佐賀県医療センター好生館の研修生活の実態. 民間医局レビナビフェア2022 in 福岡 ~臨床研修プログラム合同説明会~. 2022.7.10. 福岡市
 23. 藤田尚宏. 令和5年度向け 好生館⇄佐賀大学病院 たすきがけ研修プログラムの特徴について. 佐賀大学医学部関連病院たすきがけ研修プログラム説明会. 2022.7.13. 佐賀市
 24. 加峯圭佑、島内明子、吉良裕希、菊池智美、甘利香織、藤田尚宏. 現役研修医が語る、何故、私はこの病院を選んだのか?. マイナビRESIDENT 臨床研修プログラム説明会. 2022.7.23. 佐賀市(オンライン開催)
 25. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三. 令和4年度地域医療対策協議会WGへの提言および医師の働き方改革について. 令和4年度第1回佐賀県臨床研修ワーキンググループ会議. 2022.7.25. 佐賀市
 26. 藤田尚宏. 最新版心肺蘇生ガイドライン2020に基づいた、学校での救急処置と対応ー心臓振盪や窒息への対処法も含めてー. 佐賀県教育センター主催 令和4年度新規採用養護教諭研修Ⅱ・養護教諭3年経験者研修Ⅰ講座. 2022.7.26. 佐賀市
 27. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三. 佐賀県の医師確保・偏在対策および専攻医の定員配置等に関する知事意見書について. 令和4年度第1回佐賀県地域医療対策協議会 専門研修ワーキンググループ会議. 2022.8.15. 佐賀市(オンライン開催)
 28. 藤田尚宏. ハンズオンに迫る臨場感と学習効果 “心エコーをモノにする!”. CareNet TV主催 Zoomライブスキャンセミナー. 2022.8.20. 東京都(オンライン開催)
 29. 甘利香織、藤田尚宏. 2021年度基本的臨床能力評価試験の検討 ~CBTの導入と成績優秀病院の特徴~. JAMEP(日本医療教育プログラム推進機構)シンポジウム. 2022.9.4. 東京都(オンライン開催)
 30. 菊池智美、甘利香織、藤田尚宏、内藤光三、主要部門関係者. 好生館の歴史と概要、病院前救護の実態、好生館研修プログラムの特徴について. 佐賀大学医学部地域枠入学生1年次特別プログラム 佐賀県内基幹病院・中核病院実習に対するオリエンテーション. 2022.9.6-8. 佐賀市
 31. 藤田尚宏. 好生館における新・臨床実習の特徴とその留意点について. 佐賀大学医学部医学科5~6年次後期臨床実習オリエンテーション説明会. 2022.9.12. 佐賀市
 32. 藤田尚宏、菊池智美、各科診療部長、各センター長、原博文事務部長、平野敬之検査技師長、草葉一友薬剤部長、佐伯悦子看護部長、相部仁副館長、内藤光三副館長、前隆男副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長. 第20期臨床研修医(基幹型)の救急科分割研修(1年次8週、2年次4週)ならびに令和6年度以降の産婦人科研修施設の拡大(NHO佐賀病院の追加)について. 令和4年度第1回好生館レジデント委員会. 2022.9.27. 佐賀市(紙面会議)
 33. 藤田尚宏、菊池智美、高島洋部長、田中聡也部長、西村真二部長、三浦大介部長、岩村高志部長、石井博修部長、甘利香織副センター長、草葉一友薬剤部長、佐伯悦子看護部長、内藤光三副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長、研修協力病院責任者(副院長・院長等). 令和5年度以降の救急科分割研修(1年次8週、2年次4週)ならびに令和6年度以降の産婦人科研修施設の拡大(NHO佐賀病院の追加)について. 令和4年度第1回好生館臨床研修管理委員会. 2022.10.11. 佐賀市(紙面会議)
 34. 藤田尚宏. 蘇生後集中治療:PCAC(Post Cardiac Arrest Care)の病態とTTM(目標体温管理)の変遷. 佐賀大学医学部医学科4年生向け臨床講義. 2022.10.13. 佐賀市
 35. 藤田尚宏、内藤光三、佐藤清治. 佐賀大学医学部学生教育実習の現況と佐賀大学医学部卒業生の評価. 令和4年度佐賀大学医学部臨床医学教育実習協力等運営協議会. 2022.10.22. 佐賀市
 36. 藤田尚宏、内藤光三、佐藤清治. 佐賀大学医学部の理念、使命に関するアンケート調査:好生館

- からの回答報告、佐賀大学医学部および佐賀大学医学部臨床医学教育実習協力病院における働き方改革への対応状況について。令和4年度佐賀大学医学部臨床医学教育実習協力病院等運営協議会。2022.10.22。佐賀市
37. 藤田尚宏. 敗血症研究の特性を考える～敗血症に対する血液吸着療法研究を例として～(藤田医科大学医学部臨床免疫制御医学 Dr.森山). 東レメディカル主催 血液浄化WEBセミナー. 2022.10.28. 愛知県(オンライン開催)
38. 藤田尚宏. 基幹型、協力型1～2年次臨床研修医の評価状況について。唐津赤十字病院臨床研修委員会。2022.11.7. 唐津市
39. 藤田尚宏. 脳血管障害と抗血栓療法のUpdate(佐賀大学医学部脳神経内科 Dr.江里口). 佐賀県総合診療研究会主催 第48回佐賀総合診療ケースカンファランス。2022.11.16. 佐賀市
40. 藤田尚宏、内藤光三、佐藤清治. 令和5年度採用予定臨床研修医のマッチング結果 好生館からの報告。令和4年度第2回佐賀県臨床研修運営協議会。2022.11.17. 佐賀市(オンライン開催)
41. 藤田尚宏. 救急現場対応と接遇に関する内科系シミュレーション。佐賀県消防学校向けレクチャー&演習。2022.11.22. 佐賀市
42. 藤田尚宏. 救急現場対応と接遇に関する外科系シミュレーション。佐賀県消防学校向けレクチャー&演習。2022.11.28. 佐賀市
43. 藤田尚宏. 血液浄化研究論文を読み解く～英語論文を読んでみたい方へ～(藤田医科大学医学部臨床免疫制御医学 Dr.森山). 東レメディカル主催 血液浄化WEBセミナー。2022.11.30. 愛知県(オンライン開催)
44. 藤田尚宏. PoCUS Seminar (FAST, e-FAST, RUSH, FATE ～診療の場で利用する超音波検査のスキルアップ～)。CareNet TV主催 Zoom超音波オンラインセミナー。2022.12.4. 東京都(オンライン開催)
45. 藤田尚宏. 救急現場対応と接遇に関するシミュレーション(卒業実技試験)。佐賀県消防学校向けレクチャー&演習。2022.12.5. 佐賀市
46. 藤田尚宏、菊池智美、各科診療部長、各センター長、原博文事務部長、平野敬之検査技師長、草葉一友薬剤部長、佐伯悦子看護部長、相部仁副館長、内藤光三副館長、前隆男副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長。令和5年度以降の地域医療研修において一般外来研修日を増やす件について：3回/週から4回/週へ。令和4年度第2回好生館レジデント委員会。2022.12.9. 佐賀市(紙面会議)
47. 藤田尚宏、菊池智美、高島洋部長、田中聡也部長、西村真二部長、三浦大介部長、岩村高志部長、石井博修部長、甘利香織副センター長、草葉一友薬剤部長、佐伯悦子看護部長、内藤光三副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長、研修協力病院責任者(副院長・院長等)。令和5年度以降の地域医療研修において一般外来研修日を3回/週から4回/週へ増やす件について。令和4年度第2回好生館臨床研修管理委員会。2022.12.16. 佐賀市(紙面会議)
48. 藤田尚宏、甘利香織、内藤光三. 好生館基幹型研修医のローテーション表、臨床研修医の処遇、および臨床研修医の研修満足度調査結果について。令和4年度第2回佐賀県臨床研修ワーキンググループ会議。2022.12.21. 佐賀市(オンライン開催)
49. 藤田尚宏、臨床研修医全員38名. 2022年度全国統一CBT受験～研修医の基本的臨床能力評価試験～。令和4年度 JAMEP(日本医療教育プログラム推進機構)主催CBT。2023.1.17. 佐賀市
50. 藤田尚宏. Spread and Stop: 伝播の法則と抗ウイルス活性(佐賀大学医学部国際医療学講座臨床感染症学分野 Dr.青木). SHIONOGI TV主催 Zoomセミナー。2023.1.17. 佐賀市(オンライン開催)
51. 藤田尚宏. 動きながら考える!内科救急診療。飯塚病院Webinar。2023.1.28. 飯塚市(オンライン開催)
52. 藤田尚宏. クスリも過ぎればドクとなる!～ERにおける中毒診療の留意点～。EMA主催 第26回 EMA Meeting。2023.2.5. 東京都(オンライン開催)
53. 藤田尚宏. 帰してはいけない○○、WEB災害医療シミュレーション。京都府医師会主催 研修医ワークショップ in Kyoto。2023.2.12. 京都市(オンライン開催)
54. 藤田尚宏. 基幹型、協力型1～2年次臨床研修医の研修修了認定と進路について。唐津赤十字病院臨床研修委員会。2023.2.27. 唐津市
55. 藤田尚宏、菊池智美、各科診療部長、各センター長、原博文事務部長、平野敬之検査技師長、草葉一友薬剤部長、佐伯悦子看護部長、相部仁副館長、内藤光三副館長、前隆男副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長。第18期臨床研修医(基幹型)の研修修了認定と研修に関するアンケート調査報告。令和4年度第3回好生館レジデント委員会。

2023.3.1. 佐賀市

56. 藤田尚宏、菊池智美、高島洋部長、田中聡也部長、西村真二部長、三浦大介部長、岩村高志部長、石井博修部長、甘利香織副センター長、草葉一友薬剤部長、佐伯悦子看護部長、内藤光三副館長、佐藤清治館長、樗木等理事長、研修協力病院責任者(副院長・院長等)、第18期臨床研修医(基幹型)の研修修了認定および協力病院での研修について、令和4年度第3回好生館臨床研修管理委員会。2023.3.6. 佐賀市
57. 臨床研修医、藤田尚宏、静脈血栓塞栓症診療について(佐賀大学医学部循環器内科 Dr.吉岡)、結核診療におけるピットフォール(佐賀大学医学部呼吸器内科 Dr.高橋)、佐賀大学医学部卒後臨床研修センター主催第1回 Resident Web Seminar in SAGA。2023.3.6. 佐賀市(オンライン開催)
58. 藤田尚宏、菊池智美、内藤光三、佐藤清治。第18期基幹型初期臨床研修医の研修修了認定と進路について。令和4年度第3回佐賀県臨床研修運営協議会。2023.3.7. 佐賀市
59. 藤田尚宏。COVID-19診療の現状と看護の展望～ゾコーバ錠の臨床的意義を考える～(長崎大学大学院呼吸器内科学分野 Dr.迎)。SHIONOGI TV主催 Zoomセミナー。2023.3.8. 佐賀市(オンライン開催)
60. 藤田尚宏。基幹型、協力型1～2年次臨床研修医の研修修了認定と進路について。NHO佐賀病院研修管理委員会。2023.3.10. 佐賀市
61. 石丸聖人、池田奈瑚、竹下立一郎、菊池智美、甘利香織、藤田尚宏。現役の臨床研修医が答えます～好生館での臨床研修、楽しめてる?～。レジナビFairオンライン2023 佐賀県限定臨床研修プログラム説明会。2023.3.12. 佐賀市(オンライン開催)
62. 藤田尚宏。令和4年度臨床研修医の修了認定および令和5年度臨床研修について。九州大学病院群研修管理委員会。2023.3.22. 福岡市

(2) 総合教育研修センター医師部門：論文投稿

1. 谷口弦太郎、福岡麻美。蜂刺傷として加療されていた日本紅斑熱の1例。佐賀市医師会報 令和4年5月号 P2-7「今月の症例」
2. 馬場楓、古賀浩木、江川紀幸、三好篤、北原賢二。狭心症発症直後に気腫性胆嚢炎を発症し腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した一例。佐賀市医師会報 令和4年6月号 P9-14「今月の症例」
3. 永島聖恭、中下俊哉、川添夕佳、藤本光、野下

祥太郎、村山賢一郎、古賀風太、大座紀子。重症肺炎後の脾仮性嚢胞フォロー中に左側腹部間欠痛で発症した脾内仮性動脈瘤破裂の一例。佐賀市医師会報 令和5年1月号 P14-17「今月の症例」

4. 井野輔久、江頭絵里奈、朝長礼音、岸川まり子、陣野智昭、宮崎純二、増田正憲、森大輔、原野由美、吉村達。原発性副甲状腺機能亢進症を合併したバセドウ病の一例。佐賀市医師会報 令和5年3月号 P4-8「今月の症例」

(3) 総合教育研修センター：病院マネジメント推進会

1. 第182回病院マネジメント推進会
『保険診療研修会』『保険診療の理解のために』
講師：佐賀県指導監査専門医 林田 潔
2022.4.14 (佐賀市/好生館病院棟 多目的ホール A, B, C) 参加者→62名
2. 第183回病院マネジメント推進会
『メンタルヘルス・ハラスメント研修会』
『ストレスコーピングの初期対応～ハラスメント相談の使い方～』
講師：佐賀大学医学部看護学科准教授/メンタルヘルス対策促進員
2022.5.12 (佐賀市/好生館病院棟 多目的ホール A, B, C) 参加者→38名
3. 第184回病院マネジメント推進会
『医療安全・院内感染対策研修会』
 1. 「麻薬の取り扱いについて～麻薬はどうして特別扱いなの?～」
講師：薬剤部長(医薬品安全管理責任者)
草葉 一友
 2. 「医療機器の安全使用について」
講師：臨床工学技士 平野 徳章
 3. 「ESBL産生菌を減らす!～当館の現状と対策～」
講師：薬剤部・ICT・AST 田口 舜
感染制御部 菱岡 純子
 4. 「当館における経口抗菌薬の使用状況と適正使用に向けた取り組み」
講師：薬剤部・ICT・AST 田中 康弘
2022.6.2 (佐賀市/好生館病院棟 多目的ホール A, B, C) 参加者→70名
4. 第185回病院マネジメント推進会
『災害対策研修会』
 1. 「好生館DMAT活動について～看護師の立場から～」
講師：救命救急センター看護師(DMAT看護師)
吉永 司

2. 「好生館DMAT活動について～ロジスティックスの立場から～」
講師：経営企画係(DMAT業務調整員) 近藤 徹弥
3. 「熊本地震の経験から～備えあれば憂いなしか?～」
講師：好生館 看護部長 佐伯 悦子
2022.7.7 (佐賀市／好生館病院棟 多目的ホール A, B, C) 参加者→87名
5. 第186回病院マネジメント推進会
『保険診療研修会』
「医療費の基本的仕組みについて」
講師：医事課入院係 森本 庸平
2022.9.1 (佐賀市／好生館病院棟 多目的ホール A, B, C) 参加者→70名
6. 第187回病院マネジメント推進会
『情報セキュリティ研修会』
「情報セキュリティ10大脅威」
講師：西鉄情報システム(株) ICT推進本部 プラットフォームサービス部 松岡 征矢 先生
2022.10.6 (佐賀市／好生館病院棟 多目的ホール A, B, C) 参加者→50名
7. 第188回病院マネジメント推進会
『医療安全・院内感染対策研修会』
1. 「院内迅速対応チーム(RRT)実績と今後の展望」
講師：医療安全管理部・集中ケア認定看護師 梶原 早苗
2. 「【緊急課題】薬剤耐性菌急増 2022年度当館の薬剤耐性菌検出状況」
講師：検査部 細菌検査室 佐野 由佳理
3. 「薬剤耐性対策 “たかが手洗い、されど手洗い”」
講師：感染制御部 専従看護師 稗田 文代
4. 「その抗菌薬、本当に必要ですか？」
講師：薬剤部・ICT・AST 武富 光希
2022.11.10 (佐賀市／好生館病院棟 多目的ホール A, B, C) 参加者→56名
8. 第189回病院マネジメント推進会
『褥瘡研修会・医療コミュニケーション研修会』
1. 「好生館褥瘡対策の動向と対策～減らないスキンテア～」
講師：皮膚・排泄ケア認定看護師 俵 麻美
2. 「こうしたらもっと良くなる好生館の接遇」
講師：医療コミュニケーション推進委員会 石橋 はるみ
(株)アテンド 代表取締役 福成 有美
2022.12.1 (佐賀市／好生館病院棟 多目的ホール A, B, C) 参加者→55名
9. 第190回病院マネジメント推進会
『医療安全研修会(医療ガス・医療放射線)』
1. 「医療ガスの安全な取り扱いについて」
講師：林酸素(株) 鶴田 豪生
福岡酸素(株) 伊藤 貴章
2. 「放射線の安全利用について」
講師：放射線部 放射線技師 江口 寛晃
3. 「好生館における輸血医療での取り組みと課題～輸血関連インシデントから考えるダブルチェックの重要性～」
講師：輸血部部長 飯野 忠史
検査部 臨床検査技師 吉田 剛士
4. 「胃管自己抜去 あなたならどう行動する?～当院インシデント症例から学ぶ～」
講師：医療安全管理部副部長・呼吸器外科部長 武田 雄二
2023.1.5 (佐賀市／好生館病院棟 多目的ホール A, B, C) 参加者→45名
10. 第191回病院マネジメント推進会
『医療倫理研修会』
「医療倫理とは～安心と信頼の構築を目指して～」
講師：佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター准教授 坂本 麻衣子 先生
2023.2.26 (佐賀市／好生館病院棟 多目的ホール A, B, C) 参加者→34名
- (4) 看護師の特定行為研修：学会発表、講演、実践報告会**
- A. 看護師の特定行為研修 (研修修了者実践報告会2022)**
1. 宮地由美子. 特定行為研修修了者の活動支援の現状
2. 内田陽一郎. 離床へのとりくみ～人工呼吸中の患者への介入を通して～
3. 神田治美. 抜管困難症例に対する医療チーム内での活動～本人・家族の移行に寄り添った関わり～
4. 小川哲史. 術中麻酔管理領域の活動・実践について
5. 荒木将晴. 診療看護師(NP)ってなーに?
2022.12.7 (佐賀市／好生館病院棟 多目的ホール A, B, C) 参加者→63名(好生館看護部職員及び他部門の職員、院外参加者含む)
- B. 看護師の特定行為研修 (学会発表)**
1. 田中由美. 救命センターにおける特定行為研修修了者の活動. 第26回日本救急医学会九州地方会.

- 2022.6.24-25
2. 馬渡修平. 救急領域パッケージ研修修了者の救急外来での役割. 第26回日本救急医学会九州地方会. 2022.6.24-25
 3. 馬渡修平. 特定行為により人工呼吸器を早期離脱した一例. 第44回佐賀救急医学会. 2022.10.1
 4. 光岡大貴. 特定行為研修修了後の手術部における集中トレーニングの効果. 日本医療マネジメント学会第20回九州・山口連合大会. 11.4-5. 鹿児島
 5. 神田治美. 人工呼吸器離脱困難症例に対する医療チーム内での特定行為修了者の関わり～患者・家族の意向に沿った看護～. 日本マネジメント学会第19回佐賀支部学術集会. 2023.2.18

C. 看護師の特定行為研修(開講式・研修修了式)

- 2022年4月12日 看護師の特定行為研修修了式
(4期生4名)
- 2023年3月23日 看護師の特定行為研修修了式
(4期生4名)

(5) 総合教育研修センター：

研修医勉強会 館内講師レクチャー

1. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). Snap Shot Diagnosis I - ERで経験した興味ある症例から-. 好生館 研修医勉強会. 2022.4.14. 佐賀市
2. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). ER/病棟での急変対応・正しくビビってABCDE!!～G2020準拠ACLS シミュレーションとTeam Dynamics～. 好生館 研修医勉強会. 2022.4.28. 佐賀市
3. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). Anaphylaxis. DAM対応Algorithmと特殊気道確保～AWS対面挿管・BF下経鼻挿管・輪状甲状靭帯切開～. 酸素化の評価とARDS治療の歴史～Berlin分類を理解しよう～. 好生館 研修医勉強会. 2022.5.12. 佐賀市
4. 小塩和人, 佐野雅彦(薬剤部). ER診療に役立つ注射・内服薬処方“コツ”と“DO NOT処方”. 好生館 研修医勉強会. 2022.5.19. 佐賀市
5. 松本慎吾(検査部 生理検査室). 腹部超音波検査について⇒講義後にエコー室に移動し Hands-on Seminar. 好生館 研修医勉強会. 2022.6.9. 佐賀市
6. 吉田敬規(循環器内科). ERの循環器救急のピットフォール～心電図・心エコーを中心に～. 好生館 研修医勉強会. 2022.6.23. 佐賀市
7. 山道圭一郎(検査部 生理検査室). 経胸壁心エコーの基礎と操作法のコツ⇒講義後にエコー室に移動しHands-on Seminar. 好生館 研修医勉強会. 2022.6.30. 佐賀市
8. 福岡麻美(感染制御部). 感染症診療に必要な微生物の基礎知識・血液培養陽性結果の解釈. 好生館 研修医勉強会. 2022.7.14. 佐賀市
9. 原田慶美(形成外科), 塚本伸章(整形外科), 若手整形外科スタッフ. ウェット・ラボ PART I～人工合成皮膚・無菌豚皮を用いた縫合実習～. チームに分かれて縫合強度を競う～コンニャク縫合コンテスト①～. 好生館 研修医勉強会. 2022.7.28. 佐賀市
10. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). 地域医療研修におけるEPOC IIならびに一般外来評価票について. 研修会・学会参加(ONLINE方式含む)に関する手続きについて. 好生館 研修医勉強会. 2022.7.28. 佐賀市
11. 福岡麻美(感染制御部). 研修医に必要な抗菌薬の基礎知識. 好生館 研修医勉強会. 2022.8.25. 佐賀市
12. 三井宏太(放射線部). MR画像の読影の基礎～画像を読む前に知っておきたい頭部MR検査の豆知識と安全管理～. 好生館 研修医勉強会. 2022.9.8. 佐賀市
13. 塚本伸章(整形外科), 若手整形外科スタッフ. 見て動いて学ぶ, 骨折や脱臼の初期治療～シーネ固定, 杖歩行も経験しよう～. 好生館 研修医向けミニレクチャー. 2022.9.22. 佐賀市
14. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). COMPANYへの登録方法～特に出勤時のICカード打刻の徹底について～. 臨床研修医の面談ならびに医師の働き方改革について PART I. 好生館 研修医勉強会. 2022.9.22. 佐賀市
15. 安座間真也(放射線科). 救急疾患に対するIVR(インターベンショナル・ラディオロジー). 好生館 研修医勉強会. 2022.9.29. 佐賀市
16. 吉本五一(血液内科). 大きく変化する造血器腫瘍の治療～AMLを中心に～. 好生館 研修医勉強会. 2022.10.13. 佐賀市
17. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). Snap Shot Diagnosis II～ERの地雷症例から学ぶ～. 好生館 臨時研修医勉強会. 2022.10.20. 佐賀市
18. 古賀浩木(消化器外科). 研修医が覚えておくべき消化器系救急疾患. 好生館 研修医勉強会.

- 2022.10.27. 佐賀市
19. 藤田尚宏 (総合教育研修センター・救急科). RMPマッチング結果報告～令和5年度採用臨床研修医と新プログラム～. 臨床研修修了認定ならびに令和5年度の研修希望診療科アンケートについて. 好生館 研修医勉強会. 2022.10.27. 佐賀市
20. 吉川正章 (脳神経内科). 救急現場で遭遇する神経疾患(内科)への対応. 好生館 研修医勉強会. 2022.11.10. 佐賀市
21. 原田慶美(形成外科)、塚本伸章(整形外科)、若手整形外科スタッフ. ウェット・ラボ PART II～無菌豚皮を用いた縫合実習とコンニャク縫合コンテスト～. 好生館 研修医勉強会. 2022.11.24. 佐賀市
22. 安永牧生(産婦人科). 産婦人科の救急疾患の診かた. 好生館 研修医勉強会. 2022.12.8. 佐賀市
23. 飯田美穂、西村真二(小児科). こどもの“みかた”(内因系). 好生館 研修医勉強会. 2022.12.22. 佐賀市
24. 松本康(救急科). 災害医療概論～最近のトリアージ法、DMAT活動内容を中心に～. 好生館 研修医勉強会. 2023.1.12. 佐賀市
25. 藤田尚宏 (総合教育研修センター・救急科). JCEP更新に必要なJAMEP CBT (基本的臨床能力評価試験) について. 令和5年度の医師臨床研修ローテーション表(暫定版)について. 好生館 研修医勉強会. 2023.1.12. 佐賀市
26. 原野由美 (総合内科). 研修医が遭遇する3つのピンチと1つの武器. 好生館 研修医勉強会. 2023.1.26. 佐賀市
27. 吉村達 (糖尿病代謝内科). 糖尿病 2023～インスリン発見から100年が経ちました～. 好生館 研修医勉強会. 2023.2.9. 佐賀市
28. 藤田尚宏 (総合教育研修センター・救急科). Snap Shot Diagnosis III～ERの冷や汗・地雷症例から学ぶ～. 好生館 研修医勉強会. 2023.2.16. 佐賀市
29. 小出、長友、藤田 (総合教育研修センター、総務課). Aiを活用した外来問診ツール～Ubieの紹介と実体験～. 令和4年度臨床研修医無記名アンケートの集計結果報告. 医師臨床研修修了に必要な要件の再確認～EPOC IIへの必須登録事項ならびに第二の移籍登録について. 好生館 研修医勉強会. 2023.2.16. 佐賀市
30. 藤田尚宏 (総合教育研修センター・救急科). ERのPitfall症例の振り返り～frequent flyer、Cheiro-Oral syndrome、内臓動脈解離、ペラパミ

ル感受性左室心室頻拍、CTで判明したACS～. 研修医が知っておくべき昇圧剤・カテコラミン使用時の留意点. 好生館 研修医勉強会. 2023.2.16. 佐賀市

31. 藤田尚宏(総合教育研修センター・救急科). 臨床研修医と医師の働き方改革～時間外研修活動に該当する仕事内容4項目の基準公開と自己研鑽に該当する内容について～. 臨床研修医の健康管理～面接指導実施医師による面談、勤務間インターバルが確保できない場合の代償休息について～. 好生館 研修医勉強会. 2023.2.16. 佐賀市

(6) 総合教育研修センター：

研修医勉強会・好生館医学会 研修医発表

1. 永島聖恭. ERの冷や汗症例～深夜帯の左側胸部痛の問い合わせ⇒瞬仮性嚢胞に起因する脾動脈瘤破裂と判明した一例～. 好生館 研修医勉強会. 2022.4.14. 佐賀市
2. 加峯圭佑. 改めて考える、正常な心電図とは?. 好生館 研修医勉強会. 2022.4.28. 佐賀市
3. 村山弘和. 造影剤投与により重篤な副反応をきたした一例. 好生館 研修医勉強会. 2022.4.28. 佐賀市
4. 岸川顕. 夜間外来における整形外科的疾患～自分でシーネを巻けるようになろう～. 好生館 研修医勉強会. 2022.5.12. 佐賀市
5. 大久保秀祐. Walk in 外来で経験した脳卒中～Stroke Mimicsを含む4症例～. 好生館 研修医勉強会. 2022.5.12. 佐賀市
6. 石丸聖人. ER診療における失神の鑑別～てんかんも念頭に置いて取り組もう!～. 好生館 研修医勉強会. 2022.5.19. 佐賀市
7. 中尾允哉. 外用薬と創傷被覆材の使い方～形成外科研修中に学んだこと～. 好生館 研修医勉強会. 2022.6.9. 佐賀市
8. 松尾玲沙. 女性の急性腹症～特に婦人科疾患の診かたについて～. 好生館 研修医勉強会. 2022.6.23. 佐賀市
9. 白石理恵. 内科的・精神科的治療により約1ヶ月で劇的に精神状態が改善した一例. 好生館 研修医勉強会. 2022.6.23. 佐賀市
10. 大川惟. ER総合当直の注意点～深夜当直の引き継ぎ&コンサルテーションについて～. 好生館 研修医勉強会. 2022.6.30. 佐賀市
11. 永島聖恭. 冠れん縮性狭心症加療中に菌肉腫・下腿浮腫を発症した一例. 好生館 研修医勉強会. 2022.7.14. 佐賀市

12. 永島聖恭、中下俊哉、川添夕佳、藤本光、野下祥太郎、村山賢一郎、古賀風太、大座紀子. 重症膝炎後の腓仮性嚢胞フォロー中に左側腹部間欠痛で発症した、脾内仮性動脈瘤破裂の一例. 好生館医学会. 2022.7.21. 佐賀市
13. 加峯圭佑. ERのWalk in 外来で学んだ症例～胸痛患者の問診はしっかり丁寧に！～. 好生館研修医勉強会. 2022.7.28. 佐賀市
14. 村山弘和. RのWalk-in 外来症例～外傷例における身体所見の大切さ～. 好生館 研修医勉強会. 2022.8.25. 佐賀市
15. 岸川顕. 腎盂腎炎から腎嚢胞に感染した一例. 好生館 研修医勉強会. 2022.8.25. 佐賀市
16. 石丸聖人. Walk-in外来で経験した電話相談の2例～地雷例 vs 良い判断例～. 好生館 研修医勉強会. 2022.9.8. 佐賀市
17. 池邊結. ERのWalk-in外来で反省した症例～患者の訴えは大切に～. 好生館 研修医勉強会. 2022.9.8. 佐賀市
18. 白石理恵. 内科と精神科の統合的治療により短期間で精神状態が劇的に改善したカタトニアの一例. 好生館医学会. 2022.9.15. 佐賀市
19. 中尾允哉. ERのWalk-in外来で判断に迷った症例～下血時の初期Hb値に騙されない～. 好生館 研修医勉強会. 2022.9.22. 佐賀市
20. 松尾玲沙. 総合内科で経験した興味ある症例～ALP値のみ上昇した腰痛症の鑑別診断～. 好生館 研修医勉強会. 2022.9.29. 佐賀市
21. 白石理恵. ER Walk-in外来で判断に迷い、結果的に後悔した症例～Charcotの三徴を認めなかったDIC合併急性胆管炎の1例～. 好生館 研修医勉強会. 2022.9.29. 佐賀市
22. 大川惟. エコーでは検出困難でCTで診断し得た急性虫垂炎の2例. 好生館 研修医勉強会. 2022.10.13. 佐賀市
23. 大久保秀祐. 下肢のしびれと脱力を主訴に前医を受診した●●の1症例. 好生館 研修医勉強会. 2022.10.13. 佐賀市
24. 天本大暁. 肝硬変・肝癌治療中の腰背部痛で受診し硬膜外膿瘍と診断された1症例. 好生館 研修医勉強会. 2022.10.27. 佐賀市
25. 荒木敬裕. なぜ診断エラーが起きたのか？～思い込みによる急性虫垂炎の診断の遅れ～. 好生館 研修医勉強会. 2022.10.27. 佐賀市
26. 古賀由利恵. 発熱の診断を再考する～FN(発熱性好中球減少症)を経験して～. 好生館 研修医勉強会. 2022.11.10. 佐賀市
27. 井野輔久、江頭絵里奈、朝長礼音、岸川まり子、陣野智昭、宮崎純二、増田正憲、森大輔、原野由美、吉村達. 原発性副甲状腺機能亢進症を合併したバセドウ病の一例. 好生館医学会. 2022.11.17. 佐賀市
28. 新藤優里. しくじり症例～アセリオで腹痛が軽減しCT撮像が遅れたイレウスの1例～. 好生館 研修医勉強会. 2022.11.24. 佐賀市
29. 徳島実佳. ERで診断に迷った症例～発熱・頭痛で来院、髄膜刺激徴候が陰性であったものの髄膜炎と診断された1例～. 好生館 研修医勉強会. 2022.11.24. 佐賀市
30. 福本一樹. 腹部CTを撮影しなかったために診断が遅れてしまった妊婦の虫垂炎の1例. 好生館 研修医勉強会. 2022.12.8. 佐賀市
31. 會澤南海. ER Walk-in外来に腹痛を主訴に来院した46歳女性；特発性腹直筋血腫. 好生館 研修医勉強会. 2022.12.8. 佐賀市
32. 三根大樹. 両下肢脱力にてERを受診した88歳女性；キャンピロバクター腸炎. 好生館 研修医勉強会. 2022.12.22. 佐賀市
33. 古賀千晶. 呼吸器内科で経験した胸水貯留症例；関節リウマチ関連胸膜炎. 好生館 研修医勉強会. 2023.1.12. 佐賀市
34. 松尾玲沙. 食道癌術前化学療法中に生じた重症低ナトリウム血症の一例. 好生館医学会. 2023.1.19. 佐賀市
35. 田崎陽. 腹痛・腹部違和感を主訴にER Walk-in外来を受診した●●の2症例～血中アミラーゼの上昇を認めなかった急性膵炎～. 好生館 研修医勉強会. 2023.1.26. 佐賀市
36. 井野輔久. ER総合当直で経験した2症例～胸部X-pで見逃しそうになった自然気胸～. 好生館 研修医勉強会. 2023.2.9. 佐賀市
37. 徳富夏奈子. 見逃してはいけない頭痛～左椎骨動脈解離の症例を経験して～. 好生館 研修医勉強会. 2023.2.16. 佐賀市
38. 平野貴之. 70代男性の低ナトリウム血症；SIADHを合併したクリプトコッカス髄膜炎. 好生館 研修医勉強会. 2023.3.9. 佐賀市
39. 金田海弘. 失語症を主訴にERを受診した67歳男性；心原性脳塞栓による超皮質性運動性失語. 好生館 研修医勉強会. 2023.3.9. 佐賀市
40. 石丸聖人(研修医リーダー). 2年間の研修を振り返って. 好生館医学会. 2023.3.11. 佐賀市

(7) NPO 法人好生館トレーニングサイト： 活動実績

【好生館TSインストラクター】

吉田健治、道田恒三、村山龍一、野田公之、
足利義啓、木塚直希、中村肇、今村裕介、
永尾芳巳、釘本倫子、賀村芳博、山田満代、
島二美代、多久島圭子、大串和章、伊東正広、
本村彩紀、小野原貴之、甘利香織、小山敬、
清水勅君、藤田尚宏

●AHA Guidelines 2020 BLSコース：

計33回開催、受講者総数 123名

第679回(令和4年4月17日)

～第711回(令和5年3月26日)

●AHA Guidelines 2020 ACLSコース：

計11回開催、受講者総数 78名

第166回(令和4年4月16-17日)

～第176回(令和5年3月18-19日)

●AHA Guidelines 2020 PEARSコース：

計3回開催、受講者総数 11名

第37回(令和4年5月3日)

～第39回(令和5年2月11日)

総合臨床研究所

臨床試験推進部

(学会発表)

1. 宮崎敦、溝口佳代、三井浩子、只野茉莉子、草葉一友. 佐賀県医療センター好生館における治験薬以外の治験使用薬取扱いに向けた取り組み (ポスター発表). 第22回CRCと臨床試験のあり方を考える会議 2022in新潟. 2022.9.17. 新潟
2. 中嶋翔、宮崎敦、佐々木美緒、金田侑子、中川悠. リモートアクセスモニタリングの活用事例(共催セミナー). 第22回CRCと臨床試験のあり方を考える会議 2022in新潟. 2022.10.31. オンライン開催

疾患病態研究部

(原著論文)

1. Izumi H, Yuanyuan L, Yasunami M, Sato S, Mae T, Kaneko Y, Nakagawara A. Asymmetric pericentrosomal CD133 endosomes induce unequal autophagic activity during cytokinesis in CD133-positive human neuroblastoma cells. *Stem Cells* (2022)40: 371-384.

(学会発表)

1. 泉秀樹、金子安比古、中川原章. 腫瘍不均一性の原動力となるCD133.陽性神経芽腫細胞のオートファジーに基づく新たな非対称分裂機構の解明. 第32回日本サイトメトリー学会学術集会. 2022.5.28-29. 金沢(オンライン開催)

疾患ゲノム研究部

(論文・執筆)

1. Izumi H, Li Y, Yasunami M, Sato S, Mae T, Kaneko Y and Nakagawara A. Asymmetric CD133 endosomes induces the symmetry breaking of autophagic activity during cytokinesis in human neuroblastoma cells. *Stem Cells* 40: 371-384. 2022.4
2. 泉秀樹、金子安比古、中川原章. がん幹細胞マーカーCD133によるオートファジー制御と非対称分裂機構. *生化学* 94: 11-16. 2022.6

(学会発表)

1. 泉秀樹. 腫瘍不均一性の原動力となるCD133.陽性神経芽腫細胞のオートファジーに基づく新たな非対称分裂機構の解明. 第32回日本サイトメトリー学会学術集会. 2022.5.28. 金沢

臨床統計支援部

(論文・執筆)

1. 村田和也、河原明彦、内藤嘉紀、貞嶋栄司、安倍秀幸、高瀬頼妃呼、福満千容、篠田由佳子、牧野諒央、熊谷天斗、秋葉純. 体腔液細胞診の腺癌細胞における上皮間葉転換癌細胞の細胞形態. *日本臨床細胞学会雑誌* 61(2):107-115, 2022. DOI: 10.5795/jjsc.61.107 *医療統計コンサルティング
2. Hiraki M, Tanaka T, Sadashima E, Sato H, Kitahara K. Clinical Impact of Body Fat Accumulation on Postoperative Complications Following Laparoscopic Low Anterior Resection for Rectal Cancer. *Indian Journal of Surgery*:1-7, 2022.
3. Hiraki M, Tanaka T, Sadashima E, Sato H, Kitahara K. The Clinical Impact of Apical Lymph Node Metastasis of Colorectal Cancer After Curative Resection. *Journal of gastrointestinal cancer*, 2022. DOI:10.1007/s12029-022-00828-w
4. Hiraki M, Tanaka T, Koga M, Miura D, Sadashima E, Sato H, Mitsumizo S, Kitahara K. A Clinical Risk Analysis of Postoperative Nausea and Vomiting After Colorectal Cancer Surgery. *Journal of Coloproctology* 42(03):203-209, 2022. DOI:10.1055/s-0042-1748837
5. Hiraki M, Tanaka T, Azama S, Sadashima E, Sato F, Miyake S, Kitahara K. Risk factors of incisional hernia at the umbilical specimen extraction site in patients with laparoscopic colorectal cancer surgery. *Annals of Coloproctology*, 2022 DOI:10.3393/ac.2022.00213.0030
6. Naito Y, Akiba J, Kinjo Y, Sadashima E, Ogata T, Yano Y, Tanigawa M, Nakayama M, Kawahara A, Okabe Y, Sakai H, Hisaka T, Akagi Y, Yano H. Predictive and Prognostic Value of SUOX Expression in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma. *ANTICANCER RESEARCH* 42(8):4145-4151, 2022. DOI:10.21873/anticancer.15913
7. Akiba J, Nakayama M, Sadashima E, Kusano H, Kondo R, Mihara Y, Naito Y, Mizuochi S, Yano Y, Kinjo Y, Tsutsui K, Kondo K, Sakai H, Hisaka

- T, Nakashima O, Yano H. Prognostic impact of vessels encapsulating tumor clusters and macrotrabecular patterns in hepatocellular carcinoma. *Pathol Res Pract* 238:154084, 2022. DOI:10.1016/j.prp.2022.154084 *医療統計コンサルティング
8. Kinjo Y, Naito Y, Akiba J, Sadashima E, Nakayama M, Tanigawa M, Hisaka T, Okabe Y, Yano H. SUOX and GLUT1 are biomarkers for the prognosis in large duct type intrahepatic cholangiocarcinoma. *Human pathology* 128:11-19, 2022. DOI:10.1016/j.humpath.2022.6.20
9. 貞嶋栄司、小林克誠、永田尚義. 連載 臨床研究をやってみよう！ 傾向スコアマッチングの実際. *消化器内視鏡* 34(9):1583-1590, 2022
10. Egawa N, Miyoshi A, Manabe T, Sadashima E, Koga H, Sato H, Ikeda O, Tanaka T, Kitahara K, Noshiro H: Clinical evaluation of a surgical difficulty score for laparoscopic cholecystectomy for acute cholecystitis proposed in the Tokyo Guidelines 2018. *Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences* (in press). DOI:10.1002/jhbp.1258
11. Nomiya M, Nakagawa T, Yamasaki F, Hisamoto N, Yamashita N, Harai A, Gondo K, Ikeda M, Satoko T, Ishimatsu M, Oshima Y, Ono T, Kozuma Y, Tsumura K. Contribution of Fetal Inflammatory Response Syndrome (FIRS) with or without Maternal-Fetal Inflammation in The Placenta to Increased Risk of Respiratory and Other Complications in Preterm Neonates. *Biomedicines*, 11 (2), 611, 2023. DOI:10.3390/biomedicines11020611 *医療統計コンサルティング(謝辞)
12. Ohkuma K, Ono T, Oshima Y, So K, Tsumura K, Yamasaki F, Nakura Y, Yanagihara I, Nomiya M, Yokoyama M. Diagnostic accuracy of amniotic fluid interleukin-6 for fetal inflammatory response syndrome. *Journal of Obstetrics and Gynaecology Research*, 2023. DOI:10.1111/jog.15630 *医療統計コンサルティング(謝辞)

事務部

(学会等)

1. 原田智可. 当院におけるがん家族歴聴取の調査 (ポスター発表). 第31回日本がん登録協議会学術集会. 2022.6.2. 長野県(オンライン開催)
2. 劔彰彦. 適切な入退院管理実現のための、新入院患者数と病床利用状況を用いた簡易指標の検討. 第24回日本医療マネジメント学会学術総会. 2022.7.9. 兵庫県神戸市
3. 川上麻耶、劔彰彦. 戦略的人材リクルーティングに向けた理想的な候補者の人物像(ペルソナ)を明確化するための一手法. 第60回全国自治体病院学会. 2022.11.11. 沖縄県那覇市
4. 近藤徹弥. DMAT実動訓練への参加. 九州沖縄ブロックDMAT実動訓練. 2023.1.28. 熊本県
5. 宮地宏昭. 持続可能ながん登録業務. 第19回日本医療マネジメント学会佐賀支部学術集会. 2023.2.18. 佐賀県(オンライン開催)

令和4年度 治験・製造販売後調査実績

(単位・件)

	眼科	感染制御部	肝胆膵内科	緩和ケア科	救急科	血液内科	膠原病・ リウマチ内科	呼吸器内科	小計
治験			6					3	9
製造販売後調査	1	2	2	1	1	11	4	10	32
	産婦人科	集中治療部	循環器内科	消化器外科	消化器内科	小児科	小児外科	心臓血管外科	小計
治験			2		7	1		1	11
製造販売後調査	2	1	5	1	2	1	1	1	14
	腎臓内科	精神科	乳腺外科	脳神経内科	脳神経外科	泌尿器科	臨床腫瘍科		小計
治験	1	1				1			3
製造販売後調査			1	5	1		4		11

治験	23
製造販売後調査	57

主な委員会の活動状況

働き方改革委員会

(目的)

好生館に勤務する全ての職員にとって働きやすい環境整備を行うとともに、それぞれの職員が効率的に仕事を行い、多様なライフスタイルと仕事を両立させることができるような働き方を実現するため、設置する。

(構成メンバー)

委員長：佐藤清治（館長）

副委員長：原博文（事務部長）

医 員：吉本五一（部長）、松石英城（MLO Director）、甘利香織（医長）、古賀美佳（医長）、平野敬之（臨床検査技師長）、織田信一郎（副放射線技師長）、藤原友紀（看護師長）、今池彰（医事課長）、長友篤志（総務課課長補佐）

(開催状況)

令和4年度開催なし

【好生館働き方改革憲章】

21世紀に入り、我が国の社会構造は大きく変化した。経済成長の鈍化、少子高齢化、家族モデルの変化という3つの歯車が複雑に絡み合っており、私たちの職場である（地方独立行政法人）佐賀県医療センター好生館（好生館）にもその影響が大きく押し寄せている。そこで、天保5年（1834年）に創設され、約140年にわたる県立病院時代を経て、平成22年（2010年）より地方独立行政法人化された好生館は、歴史と伝統を守りつつも、佐賀県の地域医療と県民の健康と命を守る責務から、現在、そして、これから更に大きく押し寄せる社会構造の変化に柔軟に対応するため、「好生館働き方改革憲章」を制定し、大胆な病院改革を継続的に進める。

好生館の働き方改革は、好生館に勤務する職員に働きやすい職場環境を与えるのみでなく、県民の命と健康を守る地域医療の質の向上に繋がる重要な改革である。これには、価値観の変革を必要とする困難な課題が山積するが、私たちは敢えてこの難問に立ち向かい、新しい快適な医療勤務環境を作り、地域社会に貢献するため、以下のとおり働き方改革憲章を定める。

【憲章】

- 1 患者を癒やし、その家族を支えることを第一義とする

好生館の設立の理念『好生の徳は民心にあまねし』『学問なくして名医になるは覚束なきことなり』及び基本理念『病む人、家族、そして県民のところに添った最良の医療を目指します』を尊重し、安全で良質な医療の提供、県民や医療従事者に選ばれる病院を目指し、誇りと責任をもって働くことができる職場づくりを行う。

2 心身ともに健康に働ける職場を創る

職員一人一人が、好生館にとってかけがえない存在である。そのかけがえない職員が心身ともに健康であってこそ、これからの好生館の発展に繋がる。

心身の健康の維持、増進を図るための取組みを積極的に実施する。

3 それぞれの夢と目的を持って働ける職場を創る

職員が夢や目的を持つことは職場に活気が生まれる。そして、やりがいを感じるようになれば、より良い成果を生み出す意欲が培われ、『医療の価値』の向上に繋がることから、職員が夢や目的を持って働ける職場環境を創る。

4 自らの家族を支え、家族が誇りに思う職場を創る

自らの可能性、能力を最大限に発揮して働くためには、家族をはじめ様々な人たちの支えが必要である。また、そのためには、職員がそれらの人たちを支えながら安心して働くことができることが重要である。

仕事と家庭の両立を目指し、家族の状況にあわせて多様で柔軟な働き方が選択できるような職場環境の整備を行うとともに、職員の働く姿を見て家族が誇りに思うような職場づくりを進める。

5 常に自らの意識改革に努め、多様な価値観が共存する職場を創る

医療現場では多様な価値観が複雑に絡みあって動いている。一人一人が自分の仕事に誇りを持って前向きに業務を遂行できるよう、性差、世代差、職種差、雇用形態差を越えて、互いを認め合い、助け合う職場環境を創る。

保険診療委員会

(目的)

保険診療について、診療の質の向上と経営改善を図ることを目的として設置する。

(構成メンバー)

委員長（前副館長）、副委員長（西村小児科主任

部長)、医師2名、薬剤師1名、看護師1名、事務5名、企画経営課1名、医療情報部1名。

(開催状況) 毎月最終水曜日

4月27日

・保険減点査定分析(2月分)、再審査結果報告

5月25日

・保険減点査定分析(3月分)、再審査結果報告
・症状詳記依頼について

6月29日

・保険減点査定分析(4月分)、再審査結果報告
・再審査の結果復活となった事例の記載内容について

7月27日

・保険減点査定分析(5月分)、再審査結果報告
・医師へのレセプト点検依頼方法について
・救急医療管理加算について

8月24日

・保険減点査定分析(6月分)、再審査結果報告

9月28日

・保険減点査定分析(7月分)、再審査結果報告
・救急医療管理加算について
・退院時処方について

10月26日

・保険減点査定分析(8月分)、再審査結果報告

11月30日

・保険減点査定分析(9月分)、再審査結果報告

12月21日

・保険減点査定分析(10月分)、再審査結果報告
・「トリプタン系薬剤」について

1月25日

・保険減点査定分析(11月分)、再審査結果報告

2月22日

・保険減点査定分析(12月分)、再審査結果報告
・入院中患者の他医療機関受診について

3月22日

・保険減点査定分析(1月分)、再審査結果報告

看護師、薬剤師、包括医療分析や請求を担当する者、その他、館長が必要と認めた者。

(医師委員:4名・看護師長:1名・薬剤師委員:1名・事務職員:7名 計13名)

(開催状況)

①令和4年5月25日(水)

1. 診療報酬改定でのDPC変更点

②令和4年8月24日(水)

1. 機能評価係数Ⅱの保険診療指数における「病院情報の公表」に係る病院情報更新について

③令和4年11月30日(水)

1. 適切なコーディングに向けての取り組み

④令和5年1月25日(水)

1. DPC病名変更と詳細不明率について

医療安全管理委員会

(目的)

好生館における医療事故を防止するため、院内外の医療事故の分析や再発防止策について検討する。また、医療事故防止策の提言や指示などの啓発、教育、広報を実施することにより、好生館における安全かつ適切な医療の提供体制を確立する。

(構成メンバー)

内藤副館長・医療安全管理部長・GRM(委員長)、福岡感染制御部長(副委員長)、佐藤館長、相部副館長、佐伯看護部長、草葉薬剤部長、原事務部長、岡田副事務部長、馬場臨床工学技士長、森病理部長・クオリティマネジメント委員会委員長、大座肝胆脾内科部長・医療安全対策委員会委員長、山口GRM、松本脳神経外科部長、三浦麻酔科部長、今池医事課長、石丸初期臨床研修医

(開催状況)

4月22日

医療安全対策委員会、クオリティマネジメント委員会、院内感染対策委員会(以下、「各委員会」)報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他(既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、報告書確認対策チーム結成について、医薬品安全管理責任者より麻薬、ホルマ

DPC適正化委員会

(目的)

DPC(診断群分類別包括評価制度)対象病院として、厚生労働省が定めた要件の一つとして、DPC業務の適正な運用をはかるため、設置する。

(構成メンバー)

包括医療制度適応(DPC対象病床)の診療科部長、

リンの取り扱い状況について)

5月27日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他（既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、医療機器安全管理責任者より館内のAEDの配置状況について）

6月24日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他（既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、RRTの24時間体制の運用開始について）

7月22日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他（既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、医薬品安全管理責任者より麻薬保管証の発行、受払簿の統一について）

8月30日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他（既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、RRT専従看護師の配置について）

9月30日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他（既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関する指針の制定について）

10月28日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他（既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、ポケットマニュアル院内発生救急患者対応手順の改訂について）

11月25日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他（既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、RRT要請プロトコルの改訂について、トラブル等対応マニュアルについて）

12月23日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他（既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、刑事事件・証人尋問対応マニュアルについて）

1月27日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他（既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、医療事故院内調査委員会の開催について）

2月24日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他（既読管理に関する分析、RRT要請状況報告）

3月24日

各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、その他（既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、医療放射線管理委員会からの報告）

院内感染対策委員会

(目的)

院内感染は患者が多くなる不利益を被るのみでなく、人的・経済的に医療資源を圧迫し、結果として医療の質そのものを著しく低下させる。患者に良質で安全な医療を提供するため、院内感染を未然に防ぐ手段を恒常的に院内に周知および遵守させると同時に、医療スタッフの職業感染曝露を防止する。

(構成メンバー)

佐藤館長（委員長）、福岡感染制御部部長（副委員長）、前副館長・外傷センター長、内藤副館長・医療安全管理部部長、北原手術部部長、飯野輸血部部長、松石 Medical Link Office Director、岩村救命救急センター長、安波検査部部長、草葉薬剤部長、佐伯看護部長、原事務部長、下村材料部看護部長、小根森栄養管理部管理長、佐野臨床検査技師、田中薬剤師、稗田副看護部長・感染症看護専門看護師（～2023年1月）、三好看護師長・感染管理認定看護師（2023年2月～）、菱岡副看護部長・感染制御部専従看護師（～2022年9月）、山口感染制御部専従看護師、小野原感染制御部専従看護師（2022年10月～）、研修医代表

(開催状況)

4月19日 (多目的ホールA・B)

- ・定例報告 (血液培養実施状況、耐性菌検出状況・サーベイランス、キノロン耐性大腸菌分離頻度、手指衛生実施状況、抗菌薬 (注射・経口)・抗真菌薬使用状況、コンサルテーション報告、感染症法に基づく届出疾患発生報告、職業感染関連報告、ICTラウンド報告、感染対策、今月の目標)
- ・2021年度薬剤耐性菌集計結果報告
- ・HIV感染症発生報告
- ・新型コロナウイルス感染症発生状況
- ・感染対策マニュアル改訂: 血管内カテーテル関連血流感染防止対策、膀胱留置カテーテル関連尿路感染防止策、人工呼吸器関連肺炎防止策、器材の洗浄・消毒・滅菌

5月17日 (多目的ホールA・B)

- ・感染制御部・AST・ICT2022年度の目標
- ・定例報告
- ・血液内科病棟入院中に発症し、診断が遅れた水痘症例報告
- ・診断が遅れた肺結核・粟粒結核症例報告
- ・好生館におけるESBL産生グラム陰性桿菌発生状況の分析
- ・新型コロナウイルス感染症発生状況

6月21日 (多目的ホールA・B)

- ・定例報告
- ・手指衛生遵守に向けた取り組み
- ・廃棄物分別の取り組み
- ・新型コロナウイルス感染症検査実施状況 (6月以降定例報告へ)

7月19日 (多目的ホールA・B)

- ・定例報告

8月16日 (多目的ホールA・B)

- ・定例報告

9月20日 (多目的ホールA・B)

- ・定例報告
- ・結核接触者健診結果報告
- ・2022年度第2回感染防止対策地域連携カンファレンス開催報告

10月18日 (多目的ホールA・B)

- ・感染制御部専従看護師配属 (交代)
- ・定例報告
- ・2022年度クリーンハンドキャンペーン実施状況報告

11月15日 (多目的ホールA・B)

- ・定例報告
- ・2022年度クリーンハンドキャンペーン報告

12月20日 (多目的ホールA・B)

- ・定例報告
- ・当館で実施可能な新型コロナウイルス検査と検査法の変更
- ・2022/2023シーズンインフルエンザ発生状況、好生館職員のインフルエンザワクチン接種率

1月17日 (多目的ホールA・B)

- ・定例報告
- ・令和4年度感染対策向上加算1、指導強化加算取得に必要な医療機関・行政等との連携

2月21日 (多目的ホールA・B)

- ・定例報告
- ・令和4年度感染対策向上加算1、指導強化加算取得に必要な医療機関・行政等との連携
- ・院内感染対策に係る指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告 (富士大和温泉病院)

3月21日 (祝日のため書面会議)

- ・定例報告

救命救急センター運営委員会**(目的)**

救命救急センター及び救急外来の運用を円滑に行い、好生館における救急医療の確立を図るため討議、協議を行う。

(構成メンバー)

- | | |
|------|----------------------|
| 委員長 | 前副館長 |
| 副委員長 | 里部長 |
| 委員 | 医師9名、看護師2名、ME1名、事務2名 |

(開催状況)

4月12日

新年度委員について、利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、令和3年度救命救急センターの充実度評価結果について

5月10日

利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告

6月14日

利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、地域別患者数増減率報告

7月12日

利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

8月9日

利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

9月13日

利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、紹介状なし外来受診の「特別の料金」について、救急医療管理加算について

10月11日

利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、佐賀中部医療圏救急搬送実績報告

11月8日

利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

12月13日

利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・

外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

1月10日

利用率・稼働率報告、業務報告、年末年始救急外来患者状況報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

2月14日

利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、救急搬送の動向について、令和5年度の委員任命について

3月14日

利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、DPC機能評価係数について

ICU 運営委員会**(目的)**

ICUの運用を円滑に行い、好生館における集中治療機能の充実を図るため討議・協議を行う。

(構成メンバー)

委員長 挽地センター長
副委員長 三溝部長
委員 医師8名、看護師2名、ME1名、事務2名

(開催状況)

4月12日 新年度委員について、業務報告、稼働率報告、RRT報告

5月10日 業務報告、稼働率報告、RRT報告、RRTの24時間対応体制について

6月14日 業務報告、稼働率報告、RRT報告

7月12日 業務報告、稼働率報告、RRT報告

8月9日 業務報告、稼働率報告、RRT報告

9月13日 業務報告、稼働率報告、RRT報告、重症度、医療・看護必要度の評価項

目及び判定基準の見直しについて

- 10月11日 業務報告、稼働率報告
- 11月8日 業務報告、稼働率報告、RRT報告
- 12月13日 業務報告、稼働率報告、RRT報告
- 1月10日 業務報告、稼働率報告、RRT報告
- 2月14日 業務報告、稼働率報告、RRT報告、令和5年新年度委員任命について
- 3月14日 業務報告、稼働率報告、RRT報告

図書委員会

(目的)

図書委員会は、図書及び診療録の管理の適正化を図ることを目的とする。

(構成メンバー)

委員長、医師委員6名、
薬剤師委員1名、看護師委員1名、
事務職委員1名、事務局2名

(開催状況)

- 令和4年10月20日(木)開催
1. 各科配分予算について
 2. 令和5年度図書(医学雑誌)購入について

診療記録管理委員会

(目的)

診療記録管理委員会は、診療録(診療記録)管理の適正化を図る事を目的としている。

(構成メンバー)

委員長(医療情報部長)、
副委員長(リハビリテーション科部長)、
医師委員2名、看護師委員2名、
放射線技師委員1名、管理栄養士委員1名、
検査技師委員1名、薬剤師委員1名、
事務職員1名、事務局3名

(開催状況)

毎月第3月曜日

(今年度の主な検討議題)

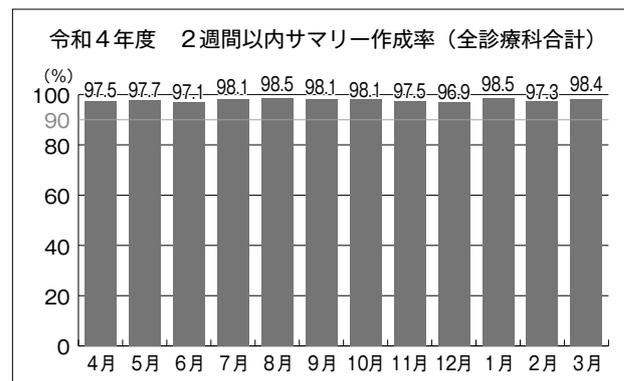
- ・医師・診療情報管理士の診療録監査結果報告・改善策の検討
- ・診療録監査項目配点・監査基準の見直しについて
- ・新規文書登録について
など、診療録や病院情報システムに関することを検討し、現場への反映を行った。

(監査結果状況)

令和4年度は93.3%と前年度から1.9ポイント上昇した。

(退院サマリー作成状況)

退院後2週間以内の退院サマリ－の作成率の推移を以下に示す。令和4年度の2週間以内の作成率は97.8%と前年度から0.7ポイント上昇した。



クリニカルパス委員会

(目的)

当委員会では新たな治療などに対する新規クリニカルパスを各診療科に提案し、作成の助成を行う事、既存のクリニカルパスをDPCや診療内容変更などに合わせた修正などを行い、医療の質の向上、医療プロセスの効率化を行うことで患者・家族をはじめとして県民の好生館への信頼度を高め、地域医療への一層の貢献を目的としています。

(構成メンバー)

委員長(吉田循環器内科部長)、副委員長(宮崎耳鼻咽喉科部長)、委員として看護師2名、薬剤師1名、企画経営課1名、医療情報部1名の計7名で

構成されております。事務局は令和4年度までは総務課にありました。

(委員会開催状況)

毎月1回、原則第2水曜日午後5時より開催しました。

(今年度の主な活動)

例年と同じく、パス運用状況の把握、パス作成支援、新規申請パスの審査、DPCとの整合性のチェックや修正などを行ってまいりました。

(パス作成運用状況)

2022年度(令和4年)のクリニカルパス運用状況を以下に示します。2022年度のクリニカルパス適応率64.7%と当院の中期目標である62%を上回っております。新規クリニカルパスの作成件数17件、既存のパスの修正件数143件を行い、日常業務の負担軽減ならびに患者様への安定した医療提供を行えるようにサポートを行いました。

今後も各診療科に協力して頂き、緊急入院患者にも対応できるクリニカルパスの作成、よりよい診療のサポートができるようなクリニカルパスの作成に関わって行きたいと考えております。

(文責：吉田 敬規)

病院マネジメント推進会

(目的)

病院の全職員が病院の運営に関する情報や問題意識を共有し、安全で効率的かつ質の高い医療を提供すること、また、全職員が健全な経営への参加意識を高めていくことを目的として、病院マネジメント推進会を定期的に開催する。

(運営委員会構成メンバー)

委員長 藤田総合教育研修センター長
副委員長 看護部
医療安全管理委員会
院内感染対策委員会
医療コミュニケーション推進委員会
災害対策委員会
クリニカルパス委員会
NST小委員会
医療情報部
検査部
薬剤部

放射線部

事務部の各部門から1名および総合教育研修センターメンバーにより構成される。

令和4年度は、令和3年度に引き続き、急性期病院に勤務する職員の勤めとして、医療安全や院内感染対策に関する知見を高め、各自が予防のために行動できることを目標とした。医療安全研修会と院内感染対策研修会は、好生館に勤務する全職員が受講を義務づけられている必須研修会であるため、6月と11月を受講必須月に設定し、研修を計画した。委託業者を含め、好生館で働く全職員が受講できるようDVD研修やeラーニングを併用した結果、幸い、受講率は100%を達成することができた。

また、上記に加え、個人情報の取り扱いやソーシャルメディアの活用に関する情報セキュリティ研修会ならびに災害対策研修会も重要であると認識し、令和元年度以降、受講が必須の研修として取り組んだ。

各研修会の内容についても、いろいろな職種の職員が興味を持つとともに、現場で実践できるよう、発表スライドの枚数を減らして発表時間に余裕を持たせたり、動画を多く取り入れるような工夫をするなど、わかりやすいプレゼンテーションをしていたり、依頼した。

また、7月の災害対策研修会は当館の佐伯悦子看護部長に「熊本地震の経験から～備えあれば憂いなしかな?～」というテーマで、9月の保険診療研修会は当館医事課入院係の森本庸平氏に「医療費の基本的仕組み」について、2月の医療倫理研修会は佐賀大学医学部地域医療科学教育研究センター准教授の坂本麻衣子先生に「医療倫理とは～安心と信頼の構築を目指して～」なるテーマで、各々、ご講演いただいた。

研修の詳細については、別紙の実績表参照。

(文責：藤田 尚宏)

倫理審査委員会・利益相反審査委員会

(構成メンバー)

安波道郎(検査部長/委員長)、前隆男(副館長)、草葉一友(薬剤部長)、白羽根健吾(乳腺外科部長)、吉村達(糖尿病代謝内科部長)、佐伯悦子(看護部長)、原博文(事務部長)、安永治郎(施設外委員/安永法律事務所・弁護士)、樋渡泉(施設外委員/看護協会副会長・6月まで)、齋藤秀子(施設外委員/看護協会副会長・7月より)

事務局（臨床試験推進部）：貞嶋、小島、三浦

（開催状況）

定例の倫理審査委員会・利益相反審査委員会を月に1回開催した。2022年度の審議件数は下記の表の通りであった。倫理審査申請のうち47件が新規研究課題、もしくは医療倫理問題、10件が保険適応外使用・院内製剤等に関するものであった。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」は前年度の施行後、「個人情報の保護に関する法律等の一部を改正する法律」と「デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律」の第50条の規定による「改正後の個人情報の保護に関する法律」が施行されたことによる一部改正があったが、大きく倫理審査の仕組みが変わることとはなく、それぞれの審査を進めてきた。

（倫理審査 申請・報告総件数）

	新規申請	変更申請	終了報告	合計
件数	57	33	27	117

（利益相反審査 申請件数）

	新規
件数	155

（今後の課題と展望）

毎月の定例開催と至急課題についての臨時開催により、申請に対しては比較的早急に審議できており、今後も継続していきたい。また、好生館職員の着想による研究を推進するよう、申請にあたっての支援も引き続き継続する。

（文責：安波 道郎）

情報管理委員会

（目的）

診療情報の管理、情報システムの整備及び運用並びに個人情報の保護及び適切な管理に関する事項について調査審議する。

（構成メンバー）

委員長（館長）、副委員長（副館長及び企画経営課長）、委員（医師6名、看護師2名、コメディカル6名、事務4名）

2022
好生館この一年

Annual Supplement

2022年 令和4年



4月1日(金)

辞令交付式

医師、看護師、コメディカル、事務職員など、総勢129名に辞令を交付した。



4月13日(水)

特定行為研修開講式

医師の作成した手順書により看護師が特定行為を行う際、特に必要となる知識や技能等の向上を図るための研修が当館で開講された。



6月23日(木)

嘉瀬小学校訪問

嘉瀬小学校で催された総合的な学習の授業「すてきな嘉瀬町発見」で館長が講話を行った。



7月2日(土)

県民公開講座放映

7月2日(土)～8日(金)にかけて、県民公開講座「ワクチンのあれこれ」を県内ケーブルテレビ全11局で放送した。

2022年 令和4年



7月15日(金)

日新こども園七夕飾り贈呈式

日新こども園の園児から、七夕飾りが贈呈された。



10月15日(土)

災害訓練

医師、看護師、コメディカル、事務職員など286名が参加して、地震発生を想定した実践的な災害訓練を行った。



10月21日(金)

医療連携講演会

地域の連携医療機関から63施設・111名の参加を得て、ホテルニューオータニ佐賀で医療連携講演会を開催した。



12月2日(金)

病理解剖体慰霊式

病理解剖にご協力いただいた方々に心からの敬意と感謝の意を表し、13御霊を慰霊した。

2022/2023年 令和4/5年



12月15日(木)

小児病棟クリスマス会

小児病棟に入院中の患児を対象としたクリスマス会を開催。仮装した職員が病室を訪ね、プレゼントを配った。



12月28日(水)

仕事納め式

2022年の仕事納め式が多目的ホールで開催された。



1月11日(水)

春海保健大学の施設見学

大韓民国釜山広域市より、春海大学の学生等10名の施設見学を受け入れた。



1月14日(土)

がん県民公開講座放映

1月14日(土)～20日(金)にかけて、がん県民公開講座「知っ得! 納得! がん予防と健診」を県内ケーブルテレビ全11局で放送した。

2023年 令和5年



1月31日(火)

正面入り口デジタルサイネージ設置

正面玄関入口にデジタルサイネージを設置し、病院からのお知らせや外来医師一覧表、医師一覧などの表示を開始した。



2月10日(金)

令和4年度好生館シンポジウム開催

「COVID-19と共存した平時の医療提供体制へ」をテーマとしたシンポジウムを佐賀市医師会館で開催した。



2月17日(金)

消防訓練

火災発生を想定した実践的訓練を行い、医師、看護師、コメディカル、事務職員など53名が参加した。



2月27日(月)

小児病棟ひなまつり

小児病棟に入院中の患児を対象としたひなまつり会を開催。わたあめづくりやミニゲーム、写真撮影などを行った。

2023年 令和5年



3月16日(木)

研修医修了式

第18回臨床研修修了者11名に修了証書を授与した。



3月17日(金)

新興感染症を想定した訓練

サル痘が疑われる患者が確認されたことを想定した訓練を実施し、移送から検体採取までの流れを確認した。



3月31日(金)

退職辞令交付式

令和4年度で退職する4名の職員へ、永年の功績に対して表彰状と記念品を贈呈した。

2022年 好生館年報

発行日 令和5年(2023年)10月

発行 地方独立行政法人
佐賀県医療センター好生館

佐賀市嘉瀬町中原400番地

電話 (0952) 24 - 2171

FAX (0952) 29 - 9390

WEB <http://www.koseikan.jp/>

